4-675-245-02 (1)

SONY

クリエの基本操作

クリエで文字を入力する

パソコンとクリエを同期させる

クリエ読本

- クリエの設定を変更する
- パソコンとファイル／データを同期する
- “メモリースティック”などの記録メディアを使う
- 赤外線通信機能を使う
- Bluetooth™ 機能を使う
- 計算機、辞書、検索機能を使う
- クリエのデータやアプリケーションをバックアップする
- パスワードでデータを保護する
- アプリケーションを追加して機能を拡張する
- 他のクリエのデータを移す

Bluetooth™

はじめに

この冊子では、クリエの基本的な操作方法や、便利な機能を説明しています。

はじめてのクリエ

基本的な使いかたを詳しく説明しています。（11~90 ページ）

クリエの基本操作

クリエの基本的な操作方法やアプリケーションの起動方法を説明します。

クリエで文字を入力する

文字の入力方法を説明します。

パソコンとクリエを同期させる

パソコンとクリエを一緒に使う方法を説明します。

クリエ活用編

クリエの便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。（91~218 ページ）

クリエの設定を変更する（環境設定）

クリエの設定を自分の好みに合わせて変更する方法を説明します。

パソコンとファイル／データを同期する（その他の HotSync）

いろいろな HotSync の方法を説明します。

“メモリースティック”などの記録メディアを使う

“メモリースティック”や CF メモリーカードなどの記録メディアを使ったファイル／データの利用方法を説明します。

赤外線通信機能を使う

赤外線通信機能を使って他のクリエとデータやアプリケーションを交換する方法を説明します。

Bluetooth™ 機能を使う（Bluetooth 機能内蔵モデルのみ）

Bluetooth 機能を使って他のクリエとファイル／データを交換したり、インターネットに接続したりする方法を説明します。

計算機、辞書、検索機能を使う

計算機、辞書、検索機能を説明します。

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

クリエのデータやアプリケーションのバックアップ方法を説明します。

パスワードでデータを保護する

パスワードを設定して、他人がクリエを使用できないようにしたり、データを保護する方法を説明します。

アプリケーションを追加して機能を拡張する

クリエにアプリケーションを追加する方法を説明します。

他のクリエのデータを移す

現在お使いのクリエのデータを新しいクリエに引き継ぐ方法を説明します。

本機には以下のマニュアルを付属しています。
下記をご覧の上、それぞれ知りたい内容にあわせてご活用ください。

❑ 最初に知っておいていただきたいことを説明しています

はじめにお読みください（取扱説明書）

次の内容を説明しています。

- クリエ本体とパソコンの準備
- 本機の基本的な操作
- 付属アプリケーションでできること

必ず別冊の「安全のために」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

❑ **クリエの基本操作を詳しく知りたいときは**
❑ **クリエの設定を変更したいときは**

クリエ読本（本冊子）

はじめてのクリエ

基本的な使いかたを詳しく説明しています。

クリエ活用編

クリエの便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。

❑ 付属アプリケーションの使いかたを詳しく知りたいときは
❑ 使いたいアプリケーションのインストール方法を知りたいときは

クリエ アプリケーションマニュアル（HTML 形式：パソコン上で動作）

知りたい内容を、アプリケーション名と目的の両方から探すことができます。

このマニュアルはパソコンと連携して使うための準備を行うと、パソコンに自動的にインストールされます。

このマニュアルの使いかたは、別冊の「はじめにお読みください（取扱説明書）」の「アプリケーションマニュアルの使いかた」をご覧ください。

❑ 困ったときの対処法は

困ったときは Q&A

本機を使っていて困ったときの対処の方法を説明しています。

ご注意

- この冊子（クリエ読本）で使われているイラストと画面は、お使いのクリエと若干異なる場合があります。
  ➡**お使いのクリエについて詳しくは、**別冊「はじめにお読みください（取扱説明書）」をご覧ください。
- この冊子に記載されているアクセサリーの一部は、お使いのクリエに対応していない場合があります。
  ➡**お使いのクリエに対応するアクセサリーについて詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ（http://www.nccl.sony.co.jp/）をご覧ください。

目次

クリエの基本操作

次のページにつづく

目次

クリエで文字を入力する

パソコンとクリエを同期させる

次のページにつづく

目次

クリエの設定を変更する（環境設定）

パソコンとファイル／データを同期する（その他のHotSync）

“メモリースティック”などの記録メディアを使う

赤外線通信機能を使う

Bluetooth™機能を使う（Bluetooth機能内蔵モデルのみ）

次のページにつづく

目次

計算機、辞書、検索機能を使う

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

パスワードでデータを保護する

アプリケーションを追加して機能を拡張する

他のクリエのデータを移す

クリエの基本操作

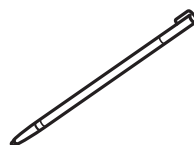
この章ではクリエの基本的な操作方法である、スタイラスやジョグダイヤルの使いかた、画面の見かた、アプリケーションの起動のしかたについて説明します。
また、アプリケーションに共通のメニューや、画面に表示される文字の書体（フォント）の選びかたなどについても説明しています。

基本的な操作方法

スタイラスとジョグダイヤルを使って操作します。

スタイラスの使いかた

スタイラスとは

クリエの画面を直接さわって操作するためのペンです。

ヒント

スタイラスはどこにあるの？

スタイラスはクリエに収納されています。
収納箇所は機種によって異なります。

➡ **詳しくは、**別冊「はじめにお読みください（取扱説明書）」の「各部のなまえとはたらき」をご覧ください。

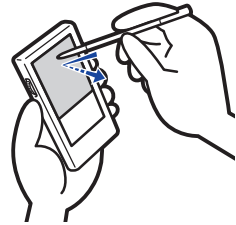
ご注意

スタイラスは、紛失してしまわないように、使い終わったらクリエに収納してください。

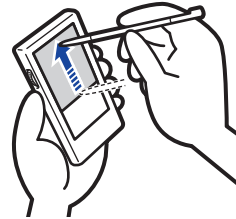
スタイラスを使った操作には、次の 2 種類があります。

タップする

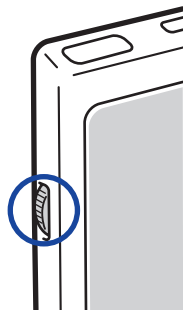
スタイラスで画面を軽く押す操作を「タップ」と言います。

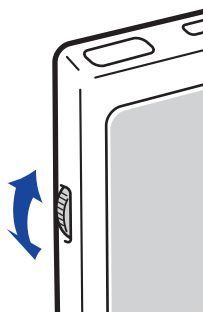
アプリケーションを起動したり、スクリーンキーボードを使って文字を入力するときなどに、画面に表示されている目的のアイコンやボタンを、スタイラスで「**タップ**」します。

ドラッグする

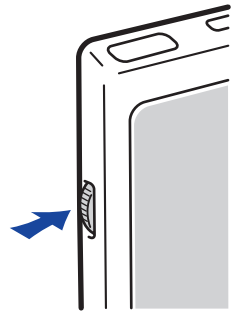
スタイラスを画面に軽く当てたまま、画面をなぞる操作を「ドラッグ」と言います。

パソコンの「**ドラッグ**」と同じように、スクロールバーを「**ドラッグ**」して画面をスクロールさせたり、文字の上をなぞって選択したりできます。

ジョグダイヤルの使いかた

ジョグダイヤルとは

クリエの左横についているダイヤルです。回したり押したりして操作します。
クリエはジョグダイヤルだけで主な操作を行うことができるように設計されていますので、片手で持ったまま、スタイラスなしで操作することもできます。

ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回して、いろいろな項目を選んだり、起動するアプリケーションを選んだりできます。

ジョグダイヤルを押す

選んだ項目を確定したり、アプリケーションを実行したりするときは、ジョグダイヤルを押します。

ご注意

ジョグダイヤルを使った操作はアプリケーションによって異なります。

➡ **各アプリケーションの操作方法について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

ヒント

ジョグダイヤルを押しながら回す

一部のアプリケーションでは、ジョグダイヤルを押しながら回すことで操作できる機能があります。

アプリケーションを起動する

「予定表」や「To Do（やることリスト）」、メールを送るなど、クリエで動作して使用者の目的を果たすソフトウェアを「アプリケーション」と言います。クリエで何か操作をするためには、「アプリケーション」を起動する必要があります。

ご注意

“メモリースティック”や CF メモリーカード（以降、「記録メディア」と呼びます）に収録されたアプリケーションの起動については、152 ページをご覧ください。

ホーム画面から記録メディアに収録されたアプリケーションを起動することについては、一部システム上の制限事項があります。

ヒント

ホーム画面とは

電源を入れ、ホーム アイコンをタップした画面をホーム画面と言います。

お買い上げ時の設定では、クリエ独自の「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」が表示されます。

ホーム画面「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」からアプリケーションを起動する

1 **ホーム アイコンをタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して起動したいアプリケーションのアイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

ヒント

アプリケーションアイコンをタップして起動することもできます。

アプリケーションを終了する

クリエではパソコンでの操作と異なり、操作の終了時に保存を行う必要はありません。
作業中のアプリケーションでの編集内容は自動的に保存され、そのアプリケーションを再度起動すると、終了時と同じ内容が表示されます。
アプリケーションを作業中に別のアプリケーションに切り換えるには、ホーム画面を表示します。ホーム画面を表示するには、以下の 2 つの方法があります。お好みの方法をお使いください。

ホーム アイコンをタップして、ホーム画面に戻る

BACK ボタンを長く押して、ホーム画面に戻る

ヒント

アプリケーションボタンを押して別のアプリケーションに切り換えることもできます。

ご注意

一部のアプリケーションでは、「保存」の操作があります。

➡ **詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

「CLIE Launcher(クリエランチャー)」を使いこなす

画面の見かた

ヒント
違う画面が表示されているときはホーム アイコンをタップして、ホーム画面を表示してください。

1 **CLIE Launcher グループ一覧(19 ページ)**
CLIE Launcher グループの一覧が表示されます。

2 **よく使うアプリケーション(ショートカット)(23 ページ)**
よく使うアプリケーションを登録できます。

3 **編集操作アイコン(25 ページ)**
アプリケーションを操作する機能が登録されています。アプリケーションをインストールすると、機能が追加される場合があります。

4 **アプリケーションアイコンの一覧**
アプリケーションのアイコンと名称が表示されます。

CLIE Launcher グループ

アプリケーションをグループに登録して整理することができます。

ご注意

記録メディア内のアプリケーションはグループに登録できません。

グループの編集

1 **ホーム アイコンをタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **メニュー アイコンをタップする。**

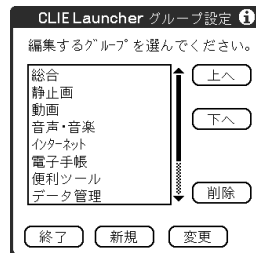
メニューが表示されます。

3 **[CLIE Launcher]メニューの[CLIE Launcher グループ]を選ぶ。**

「CLIE Launcher グループ設定」画面が表示されます。

ご注意

CLIE Launcher のグループと Palm 標準のホーム画面のカテゴリーは異なります。

次のページにつづく

4 編集するグループを選び、[変更]ボタンをタップする。

「CLIE Launcher グループ」画面が表示されます。
名称：グループの名称を変更できます。
順序の入れ換え：アプリケーションを選んで、[上へ]、[下へ]ボタンをタップして、CLIE Launcher で表示される順序を入れ換えます。
アプリケーションの追加：[追加]ボタンをタップして表示された一覧から、登録するアプリケーションを選びます。
アプリケーションの削除：削除するアプリケーションを選んで、[削除]ボタンをタップします。削除したアプリケーションは、[未分類]に登録されます。

ご注意

[未分類]のグループは名称を変更できません。

5 [終了]ボタンをタップする。

「CLIE Launcher グループ設定」画面に戻ります。

6 [終了]ボタンをタップする。

CLIE Launcher（ホーム画面）に戻ります。

ヒント

「CLIE Launcher 設定」画面（28 ページ）で、[ドラッグ＆ドロップを使用する]にチェックが入っているときは、CLIE Launcher（ホーム画面）で、登録したいアプリケーションのアイコンを、登録したいグループ名にドラッグ＆ドロップして、登録することができます。

グループの表示順を変更する

1 「CLIE Launcher グループ設定」画面で、グループを選ぶ。

2 [上へ][下へ]ボタンをタップする。

CLIE Launcher で表示する順序が入れ換わります。

新しいグループを追加する

1 「CLIE Launcher グループ設定」画面で、[新規]ボタンをタップする。

2 グループ名を入力し、[OK]ボタンをタップする。

CLIE Launcher ｸﾞﾙｰﾌﾟ の新規作成
グループ名を入力してください。
New Group
OK キャンセル a

ご注意

アプリケーションが 1 つも登録されていないグループは、メイン画面で表示されません。

グループを削除する

1 「CLIE Launcher グループ設定」画面で、削除するグループを選び、[削除]ボタンをタップする。

グループにアプリケーションが登録されている場合は、表示されたメッセージ画面で、[はい]ボタンをタップすると、グループが削除されます。削除したグループに登録されていたアプリケーションは、[未分類]に登録されます。

ご注意

[未分類]のグループは削除できません。

次のページにつづく

グループを選択する

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 BACK ボタンを押す。

「CLIE Launcher グループ一覧」にジョグダイヤルの操作が移動します。

3 ジョグダイヤルを回して、グループを選ぶ。

グループの先頭のアプリケーションのアイコンが、反転した状態になります。
ジョグダイヤルを押すと、「アプリケーションアイコンの一覧」にジョグダイヤルの操作が移動します。

ヒント

- 記録メディアにインストールされたアプリケーションは、[カード] グループに登録されています。
- ホーム アイコンをタップするたびに、グループが順番に切り換わります。また、ジョグダイヤルを回す代わりに、⇧/⇩ アイコンをタップしたり、表示されているグループ名を直接タップしてグループを選ぶこともできます。

ショートカットを使う

よく使うアプリケーションを登録しておくと便利です。

ご注意

記録メディア内のアプリケーションは登録できません。

「よく使うアプリケーション（ショートカット）」にアプリケーションを登録する

1 **ホーム アイコンをタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **メニュー アイコンをタップする。**

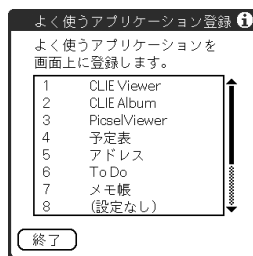
メニューが表示されます。

3 **[CLIE Launcher]メニューの[よく使うアプリケーション登録]を選ぶ。**

「よく使うアプリケーション登録」画面が表示されます。

ヒント

「よく使うアプリケーション（ショートカット）」領域のアプリケーションが登録されていない領域をタップして、「よく使うアプリケーション登録」画面を表示することもできます。

次のページにつづく

4 アプリケーションを登録するエリアをタップする。

アプリケーションの一覧が表示されます。登録するアプリケーション名をタップして、登録します。

5 [終了]ボタンをタップする。

ご注意

ショートカットに登録されているアプリケーションを削除すると、ショートカットも同時に削除されます。

ヒント

「CLIE Launcher 設定」画面(28 ページ)で、[ドラッグ＆ドロップを使用する]にチェックが入っているときは、登録したいアプリケーションのアイコンを、登録したいショートカット領域にドラッグ＆ドロップして、登録することができます。

ショートカットからアプリケーションの登録を解除する

手順 4 で登録を解除したい領域をタップして、リストの一番上の[(設定なし)]を選びます。

ヒント

「CLIE Launcher 設定」画面(28 ページ)で、[ドラッグ＆ドロップを使用する]にチェックが入っているときは、登録を解除したいアプリケーションのアイコンを、右上の アイコン(25 ページ)にドラッグして、登録を解除することができます。

編集操作アイコン

アプリケーションを操作する機能が登録されています。
標準では次の機能が登録されています。

: アプリケーションの送信
「赤外線通信」画面（172 ページ）または「送信」* 画面（176 ページ）を表示します。
（*Bluetooth 機能内蔵モデルのみ）

: 情報の表示（26 ページ）

: アプリケーションの削除（214 ページ）

ヒント

- アプリケーションをインストールすると、機能が追加されることがあります。
- 「CLIE Launcher 設定」画面（28 ページ）で、[ドラッグ&ドロップを使用する]にチェックが入っているときは、アプリケーションのアイコンを、それぞれのアイコンにドラッグして操作することもできます。

アプリケーション情報の表示

1 **ホーム アイコンをタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **アイコンをタップする。**

アプリケーションの一覧が表示されます。

3 **情報を表示するアプリケーション名をタップする。**

アプリケーションの情報が表示されます。

[OK]ボタンをタップして閉じます。

ヒント

「CLIE Launcher 設定」画面（28 ページ）で、[ドラッグ&ドロップを使用する]にチェックが入っているときは、情報を表示したいアプリケーションのアイコンを、右上の アイコン（25 ページ）にドラッグ&ドロップして、アプリケーションの情報を表示することができます。

説明文を変更するには

[変更]ボタンをタップして表示された画面で、説明文を変更できます。

[OK]ボタン：変更を反映します。
[キャンセル]ボタン：変更をキャンセルします。
[初期値]ボタン：お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー項目

CLIE Launcher のメニュー項目を説明します。

[CLIE Launcher]メニュー

削除 ...	アプリケーションを削除します。（214 ページ）
赤外線通信 ...	アプリケーションやデータを、他の Palm OS 搭載機器に赤外線通信ポート経由で送信します。（172 ページ）
送信 ... （Bluetooth 機能内蔵モデルのみ）	アプリケーションやデータを、Bluetooth 機能付きの Palm OS 搭載機器にワイヤレス送信します。（176 ページ）
CLIE Launcher **グループ**	グループの編集を行います。（19 ページ）
よく使うアプリケーション登録	ショートカットにアプリケーションを登録します。（23 ページ）
情報 ...	アプリケーションのバージョンやメモリ容量、データ件数の一覧を表示します。
コピー...	アプリケーションのコピーを行います。

次のページにつづく

[オプション]メニュー

設定 ...	CLIE Launcherの設定を行います。 **カードを表示する** チェックをすると記録メディア内のアプリケーションも表示します。(初期設定=オン) **アニメーション表示をする** チェックをするとスクロール等の動作の表示が滑らかになります。(初期設定=オン) **ドラッグ&ドロップを使用する** チェックをするとドラッグ&ドロップでの操作ができます。(初期設定=オフ) **アイコンで赤外線通信のみを行う** ※ Bluetoothなど赤外線以外の通信機能がある場合にのみ有効です。 チェックをすると送信アイコンをタップしたときに[赤外線通信]か[送信]かの選択リストが表示されずに[赤外線通信]が起動します。(初期設定=オフ) **画面設定** **アイコン**:すべてのアプリケーションに説明文が表示されます。 **アイコン(小)**:選択して反転しているアプリケーションのみ、説明文が表示されます。 (初期設定=[アイコン])
標準画面へ	Palm OS標準のホーム画面を表示します。 (29ページ)
バージョン情報	CLIE Launcherのバージョン情報を表示します。

Palm 標準のホーム画面を使う

Palm 標準のホーム画面に切り換える

クリエの初期設定では、ホーム アイコンをタップしたときに、「CLIE Launcher」がホーム画面として表示されるように設定されています。Palm 標準のホーム画面を表示する設定に切り換えるには、次の手順で行います。

1 **ホーム アイコンをタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **メニュー アイコンをタップする。**
メニューが表示されます。

3 **[オプション]メニューの[標準画面へ]をタップする。**
Palm 標準のホーム画面が表示されます。

ここをタップしてメニューを表示することもできます。

タップしてカテゴリーを選ぶと、カテゴリーごとにアプリケーションを表示できます。

ヒント

ホーム アイコンをタップするたびに、カテゴリーごとの画面に切り換わります。

ご注意

CLIE Launcher のグループと Palm 標準のホーム画面のカテゴリーは異なります。

次のページにつづく

CLIE Launcher に戻すには

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

3 [オプション]メニューの[CLIE Launcher 画面へ]をタップする。

CLIE Launcher(ホーム画面)が表示されます。

アプリケーションを起動する

ご注意

記録メディアに収録されたアプリケーションの起動については、152ページをご覧ください。

ホーム画面から記録メディアに収録されたアプリケーションを起動することについては、一部システム上の制限事項があります。

ジョグダイヤルで選んで起動する

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して起動したいアプリケーションのアイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

アプリケーションが起動します。

ジョグダイヤルでの起動画面の設定を変える

ジョグダイヤルを回したときに、画面の左側にアプリケーションの一覧が表示されるように設定することもできます。

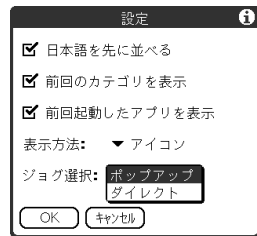
1 **ホーム画面でメニュー アイコンをタップする。**

メニューが表示されます。

2 **[オプション]メニューの[設定]をタップして選ぶ。**

「設定」画面が表示されます。

3 **[ジョグ選択]の▼をタップして、[ポップアップ]を選ぶ。**

次のページにつづく

4 **［OK］をタップする。**

ジョグダイヤルを回すと、画面の左側にアプリケーションの一覧が表示されるようになります。

アプリケーションアイコンをタップして起動する

1 **ホーム アイコンをタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **起動したいアプリケーションのアイコンをタップする。**

アプリケーションが起動します。

ホーム画面の表示形式を変更する

ホーム画面を一覧表示にしたり、小さいアイコン表示にすることができます。また、ホーム画面を表示したときに、いつも同じカテゴリーが表示できるようにしたり、前回起動したアプリケーションが表示されるように設定することもできます。お買い上げ時は、[アイコン]の設定になっています。

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

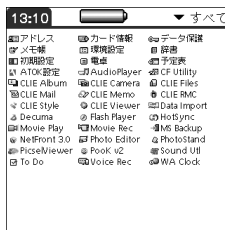
2 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

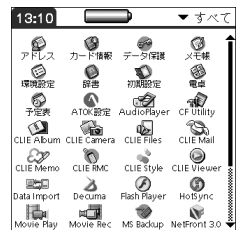
3 [オプション]メニューの[設定]をタップする。

4 [表示方法]の右の▼をタップし、[名前]または[名前(小)]、[アイコン(小)]を選ぶ。

5 [OK]をタップする。

名前で一覧表示

名前(小)で一覧表示

アイコン(小)で一覧表示

次のページにつづく

ホーム画面を表示したときに、前回開いていたカテゴリーまたは前回起動したアプリケーションが表示されるようにする

1 **ホーム アイコンをタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **メニュー アイコンをタップする。**
メニューが表示されます。

3 **[オプション]メニューの[設定]をタップする。**

4 **[前回のカテゴリを表示]または[前回起動したアプリを表示]の □ をタップして、☑ にする。**
初期設定ではチェックされています。

5 **[OK]をタップする。**

ご注意
アプリケーションボタンを押して起動したアプリケーションやカテゴリーは、「前回起動したアプリケーションやカテゴリー」として記憶されません。
また、ホーム画面を CLIE Launcher 画面に切り換えた場合も同様です。

カテゴリーごとにアプリケーションを表示する

好みのカテゴリーのアプリケーションだけをホーム画面に表示するように設定できます。

アプリケーションをカテゴリーに区分けする

1 **ホーム アイコンをタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **メニュー アイコンをタップする。**
メニューが表示されます。

3 **[アプリケーション]メニューの[カテゴリ]をタップする。**

4 **各アプリケーションの横に表示される▼をタップして、カテゴリーを選ぶ。**

ご注意

新しいカテゴリーを作成したいときは、ホーム画面の右上の▼をタップし、[カテゴリの編集]をタップして、「カテゴリの編集」画面を開きます。次に、[新規]ボタンをタップしてカテゴリー名を入力し、[OK]をタップします。新しいカテゴリーが追加されるので、[OK]をタップしてください。

5 **[終了]をタップする。**

次のページにつづく

カテゴリーごとに表示する

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 次のいずれかの操作を行う。

- ホーム アイコンを繰り返しタップするか、またはジョグダイヤルを繰り返し押して、カテゴリーを順に表示する。
- 画面右上の▼をタップして、表示したいカテゴリーを選ぶ。

ヒント

[すべて]を選ぶと、すべてのアプリケーションがホーム画面に表示されます。

ジョグダイヤルでアプリケーションを起動するときは、[すべて]にしておくと便利です。

ご注意

Palm 標準のホーム画面のカテゴリーと CLIE Launcher のグループは異なります。

表示フォントを変更する

画面の文字を読みやすくするために、「予定表」や「アドレス」などのアプリケーションで表示フォントを変更できます。表示フォントは各アプリケーションごとに設定できるため、好みに応じて気軽に変更できます。

1 表示フォントを変更したいアプリケーションを起動する。

2 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

3 [オプション]メニューの[フォント]をタップする。

「フォント選択」画面が表示されます。

4 好みのフォントをタップする。

5 [OK]をタップする。

設定したアプリケーションの文字列が、新しいフォントで表示されます。

ご注意

アプリケーションによっては「表示フォント」を変更できません。

共通メニュー項目

クリエのアプリケーション「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」に共通のメニュー項目を説明します。
メニューを表示するには、アプリケーションを起動中にメニュー アイコンをタップします。
アプリケーションに固有のメニュー項目については、各アプリケーションのメニュー項目の説明をご覧ください。

ご注意
表示画面の状態によっては、表示されないメニューもあります。

[編集]メニュー

元に戻す	メニューで行った直前の変更内容を、元に戻します。 例えば、次に説明する[切り取り]で文字列を削除してから[元に戻す]をタップすると、削除が取り消されて、削除した文字列が再び表示されます。
切り取り	スタイラスでドラッグして選択した文字列を削除し、一時的にクリエのメモリに保存します。 切り取った文字列は、アプリケーション内の別の場所や、別のアプリケーションに貼り付けることができます。
コピー	スタイラスでドラッグして選択した文字列をコピーし、一時的にクリエのメモリに保存します。 コピーした文字列は、アプリケーション内の別の場所や、別のアプリケーションに貼り付けることができます。
貼り付け	切り取り、またはコピーした文字列を、スタイラスで選択したカーソル位置に挿入します。 切り取り、またはコピーした文字列がない場合は、使用できません。
すべて選択	現在のデータ内または画面上のすべての文字列を選択します。 選択した文字列を切り取ったりコピーしたりして、別の場所に貼り付けることもできます。

キーボード	スクリーンキーボードを表示します。
Graffiti ヘルプ	Graffiti 文字の一覧を表示します。Graffiti 文字の書きかたを忘れたときには、「Graffiti ヘルプ」でいつでも確認できます。
単語登録	読みと語句をセットにして、辞書に登録します。登録した語句は、日本語入力モードが「入」のときに、辞書から呼び出して使用できます。 クリエ標準搭載のアプリケーションでは、テキストを入力するときに使用することができますが、一部の他社製のアプリケーションの中には、使用できないものもあります。
辞書を引く	画面上の文章の一部をスタイラスでドラッグして選んでからこの項目を選ぶと、選んだ部分の言葉を辞書で検索できます。 クリエ標準搭載のアプリケーションでは、テキストを入力するときに使用することができますが、一部の他社製のアプリケーションの中には、使用できないものもあります。

クリエで文字を入力する

この章では、クリエで文字を入力する方法について説明します。

クリエで文字を入力するには

クリエで文字を入力するには、本体のハードウェアキーボードを使う方法と、画面上に表示される入力パネルを使う方法があります。
ここでは、入力パネルを使った方法について説明します。

文字入力の方法

手書きで文字を入力する方法と、画面上に表示されるキーボードを使って文字を入力する方法があります。

手書き入力(48 ～ 65 ページ)

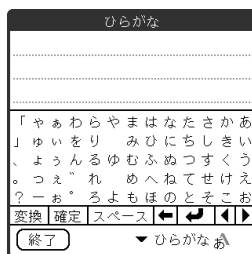
デクマ手書き入力(Decuma Japanese)

漢字やひらがな、カタカナなどを手書き入力するとそのまま認識され、文字として入力することができます。

Graffiti

Graffiti という手書き入力専用の文字を使って、文字を入力します。

スクリーンキーボード(入力パネル)(66 ～ 81 ページ)

画面上に表示されたキーボードをタップして、文字を入力します。

日本語変換システム ATOK を使うことができます

本機には Palm OS 標準の日本語入力システムの他に、変換効率の高い日本語変換システムとして定評のある ATOK が付属しています。
ここでは、ATOK を利用した入力方法を基本にして説明をしています。ATOK を利用したいときは、「ATOK を導入する」(44 ページ)の手順に従って設定を行ってください。

ATOK を使用する

ご注意

アプリケーションの一部には、ATOK を使用していると正常に動作しないものがあります。この場合は、Palm OS 標準の日本語入力システムに切り換えてお使いください(46 ページ)。

ATOK ユーザーズページ
Palm 機器で ATOK をお使いのユーザー様向けに、役立つ情報をご提供しています。
http://support.justsystem.co.jp/

ATOK を導入する

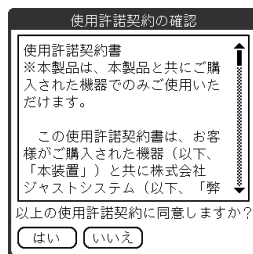
ATOK を利用するためには、使用者名の登録が必要になります。
以下の手順で登録を行い、ATOK をクリエで使える状態にしましょう。

1 ホーム アイコンをタップする。

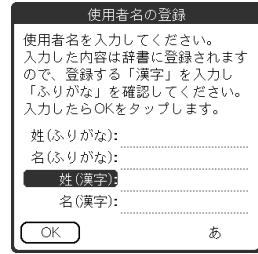
ホーム画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して[ATOK 設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「使用許諾契約の確認」画面が表示されます。

ヒント

[ATOK 設定]アイコンをタップして、ATOK 設定を開始することもできます。

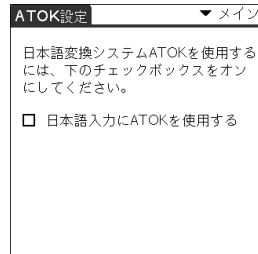
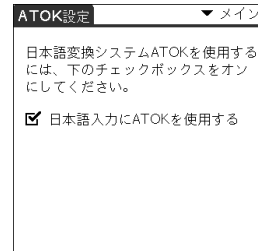
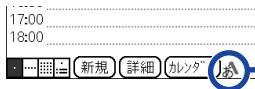
3 使用許諾契約を読んで、同意するときは[はい]をタップする。

「使用者名の登録」画面が表示されます。

4 姓と名を、漢字とふりがなですべて入力してから、[OK]をタップする。

「ATOK 設定」画面が表示されます。

ATOK設定 ▼ メイン
日本語変換システムATOKを使用するには、下のチェックボックスをオンにしてください。
☐ 日本語入力にATOKを使用する

ヒント

姓名の入力の際に、先に漢字を入力すれば、ふりがなは自動的に入力されます。

5 [日本語入力に ATOK を使用する]の☐をタップして、☑にする。

これで ATOK が使えるようになりました。

日本語入力を「入」にしたときに、画面の右下に あ アイコンが表示されます。

ヒント

ホーム画面に戻るときは、ホーム アイコンをタップしてください。

標準の日本語入力システムに戻す

1 **ホーム アイコンをタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して[ATOK 設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「ATOK 設定」画面が表示されます。

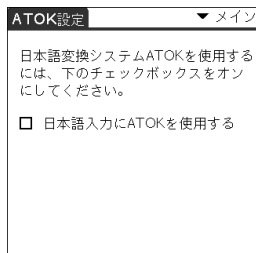
ヒント

[ATOK 設定]アイコンをタップして、「ATOK 設定」画面を表示することもできます。

3 **[日本語入力に ATOK を使用する]の☑ をタップして、□ にする。**

ATOK設定 ▼メイン

日本語変換システムATOKを使用するには、下のチェックボックスをオンにしてください。

□ 日本語入力にATOKを使用する

手書き入力の方法を選ぶ

デクマ手書き入力と Graffiti から好みの手書き入力方法を選ぶことができます。

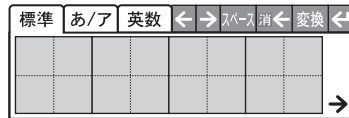
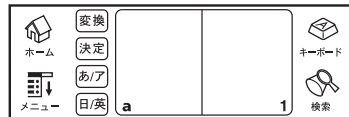
1 画面下のステータスバーにある、シルクプラグイン切り換え アイコンをタップする。

「シルク プラグイン」画面が表示されます。

ヒント

ステータスバーをスタイラスで左から右にドラッグして、手書き入力の方法を切り換えることもできます。
詳しくは、「シルク プラグイン」画面右上の ⓘ アイコンをタップして表示される「シルクプラグイン ヘルプ」をご覧ください。

2 入力方法を選ぶ。

- **デクマ手書き入力を使う場合（48 〜 56 ページ）**
  [Decuma Japanese] をタップしたあと、[OK] をタップする。

- **Graffiti を使う場合（57 〜 65 ページ）**
  [標準入力] をタップしたあと、[OK] をタップする。

デクマ手書き入力で文字を入力する

ここでは、デクマ手書き入力(Decuma Japanese)の基本と、デクマ手書き入力を使った文字の入力のしかたについて説明します。クリエに付属している、「予定表」を使って、文字入力を練習してみましょう。

デクマ手書き入力について

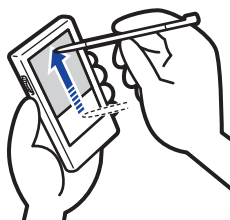
デクマ手書き入力とは

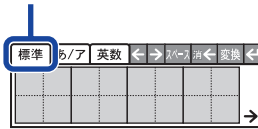
漢字やひらがな、カタカナなどの手書き文字を認識して、文字を入力する方法です。

スタイラスを使って、入力ボックスに文字を書きます。書かれた文字の形状が自動的に認識されて、文字として入力することができます。

また、アプリケーション上にあるひらがなやカタカナを選んで漢字に変換することもできます。

ヒント

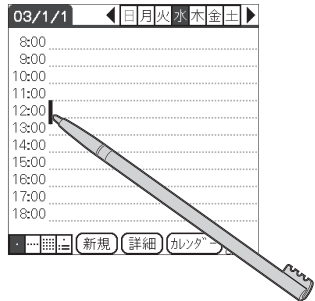
画面のデクマ入力エリアから画面の上端までスタイラスでドラッグすると、デクマ手書き入力のヘルプ画面が表示されます。

標準モードで文字を入力してみる

標準モードでは、ひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベット、記号が文字として認識されます。

クリエで文字を入力するには、文字を入力したいアプリケーションを起動する必要があります。ここでは「予定表」を例にして説明します。

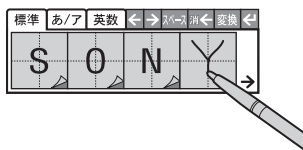
1 ホーム画面で[予定表] アイコンをタップする。

「予定表」が起動し、今日の日程が表示されます。

2 文字を入力したい行をタップする。

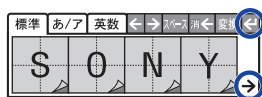
次のページにつづく

3 入力ボックスに、1 文字づつ文字を書く。

ヒント

楷書でていねいに書くと、認識される確率が高くなります。

4 4 つの入力ボックスに書いたあと、左端の入力ボックスに重ねて書く。

今まで入力した文字が、アプリケーションに入力されます。

ヒント

アイコンまたは画面右下の→をタップして、それまでに書いた文字をアプリケーションに入力することもできます。

ご注意

英字が正しく認識されない場合は、以下の方法で日本語入力モードを「切」にしてください。

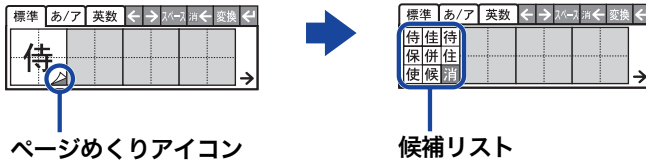
- 画面右下の「あ」アイコンをタップして[J. 日本語 / 英語]を選ぶ（ATOK を使用している場合）
- ハードウェアキーボードの⦿（赤）キーを押しながら日/英キーを押す

日本語入力モードを「切」（a（a）、⬆または⬆）にする

文字が正しく認識されないときには

書いた文字が間違って認識されたときには、候補リストから正しい文字を選ぶことができます。

1 間違って認識された入力ボックスの右下にある、ページめくりアイコンをタップする。

入力ボックス内に、候補リストが表示されます。

2 正しい文字を選んでタップする。

選んだ文字が入力ボックスに表示されます。

ヒント

- 候補リストの中に正しい文字がない場合は、候補リスト右下の[消]をタップして、認識された文字を削除してから、もう１度文字を書いてください。
- 書いた文字がうまく認識されない場合は、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「デクマ手書き入力」をご覧ください。

文字と背景の色について

文字の種類によって、文字とその背景の色は下記のように異なります。
ひらがなの「へ」とカタカナの「へ」のように、形の似ている文字を見分けるのに便利です。

へ ひらがな：薄い紫の背景色に黒の文字

ヘ カタカナ：紫の背景色に白の文字

待 漢字：薄い黄色の背景色に黒の文字

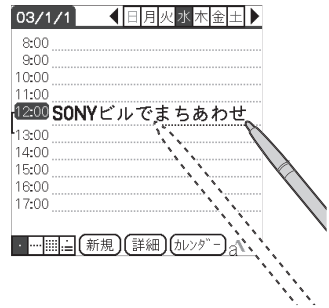
1 数字：青の背景色に白の文字

S アルファベット：薄い青の背景色に黒の文字

@ 記号：濃いベージュの背景色に黒の文字

文字を変換する

アプリケーション上にある文字を選択して、かな／漢字や半角／全角などの変換を行うことができます。

1 スタイラスで、変換したい文字をドラッグする。

2 変換 アイコンをタップする。

変換した文字の読みに当てはまる漢字の候補が表示されます。

ヒント

意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう１度 変換 アイコンをタップします。

画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。

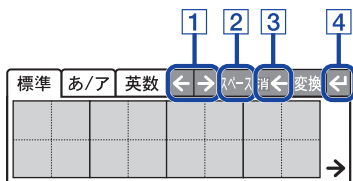
ジョグダイヤルでも変換候補を選べます

ジョグダイヤルを回して、変換候補を選ぶこともできます。

次のページにつづく

3 (決定)アイコンをタップする。

変換が確定します。

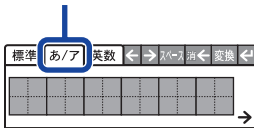
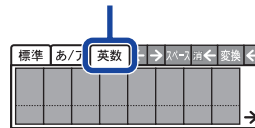
その他の入力操作

1 、アイコン:カーソルを移動できます

2 スペースアイコン:スペースを挿入できます

3 消(消去)アイコン:直前の文字を削除できます

4 (改行)アイコン:カーソルの後ろで改行できます
(変換中で未確定の状態にあるときを除く)

その他の入力モード

標準モードの他に、かなモードと英数モードがあります。
標準モードに比べて認識される文字の種類が限られているので、文字が間違えて認識されることが少なくなります。

認識される文字の種類

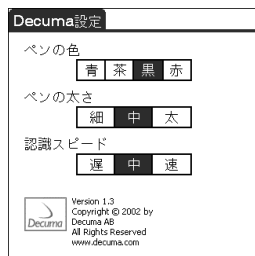
標準モード：ひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベット、記号
かなモード：ひらがな、カタカナ、記号
英数モード：アルファベット、数字、記号

ヒント
認識の対象となる文字と認識のルールについて詳しくは、パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「デクマ手書き入力」をご覧ください。

手書き入力の設定を変更する

入力ボックスに書いているときの文字(ペン)の色や太さ、認識スピードを変更することができます。

1 **ホーム画面で、Decumaアイコンをタップする。**

「Decuma 設定」画面が表示されます。

2 **設定を変更したい項目をタップする。**

Graffiti で文字を入力する

ここでは、手書き入力（Graffiti（グラフィティ））の基本と、Graffiti を使った文字の入力のしかたについて説明します。クリエに付属している、「予定表」を使って、文字入力を練習してみましょう。

Graffiti（グラフィティ）について

Graffiti とは

文字をすばやく正確に入力するための文字や命令の入力方法のことです。Graffiti は通常のアルファベットに似ているので、すばやく簡単に習得できます。

Graffiti 文字の例
（A、B、C、D、E）

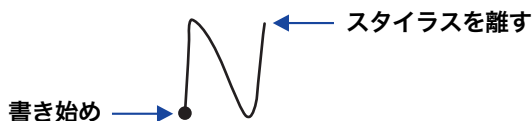
一筆書きで文字を入力します

ほとんどの文字は、一筆書きですばやく入力できます。Graffiti 入力エリアからスタイラスを離してしまうと、その文字の書き終わりが認識され、すぐに次の文字が表示されます。

「K」など一筆書きでは書けないように思われる文字についても、Graffiti ではストローク（筆順）の一部を書くことによって文字が認識されるので、一筆書きで入力できます。

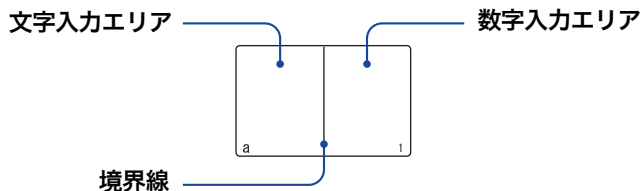
次のページにつづく

文字の書き始めの点、書き順が決まっています

下図のように、それぞれの Graffiti 文字は書き始めの点（太い点）が決まっています。D と O、Q など形の似ている文字でも、Graffiti 文字では書き始めと終わりの位置が異なるため、誤認識されることはありません。
誤入力を防ぐためにも、Graffiti 文字は必ず太い点の位置から書き始めてください。

ご注意

Graffiti 文字の一覧に表示されている、太い点自体は書かないでください。太い点は、書き始めの位置をわかりやすく示すためのものです。

文字を入力する場所と数字を入力する場所は異なります

Graffiti 入力エリアは、文字を入力するエリアと数字を入力するエリアに分かれています。2 つのエリアは、境界線を示す直線で区別されています。

Graffiti 文字一覧

アルファベット

A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M

N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z

数字

1
2
3
4
5

6
7
8
9
0

次のページにつづく

キーボード記号

Space キー	
Back Space キー	
Enter キー	

ピリオド	2回タップする
Shift キー	
Caps キー	

記号

記号を入力するときは、Graffiti 入力エリアをタップして、入力モードを記号モードに切り換えます。

記号モードから元に戻るには

（Back Space）を入力します。

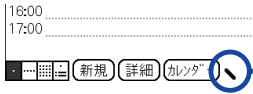
.(ピリオド)	
,(カンマ)	
'(アポストロフィ)	
?(疑問符)	
!(感嘆符)	
-(ダッシュ)	
((左括弧)	
)(右括弧)	
/(スラッシュ)	
$(ドル記号)	
"	
@	

#	
%	
^	
&	
*	
;	
:	
タブ記号	
`	
~(チルダ)	
<	
>	

[	
]	
{	
}	
¥	

+	
=	
_	
|	

特殊文字

特殊文字を入力するときは、Graffiti 入力エリアに特殊文字モード切り換え文字 ＼ を入力して、入力モードを特殊文字モードに切り換えます。

特殊文字モード

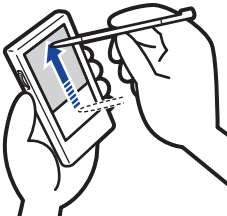
特殊文字モードから元に戻るには

―― (Back Space)を入力します。

•	
+	
-	
X	

=	
¥	
「	
」	

Graffiti 文字の一覧を確認したいときは

画面の Graffiti 入力エリアから画面の上端までスタイラスでドラッグすると、Graffiti 文字の一覧が表示されます。

Graffiti で文字を入力してみる

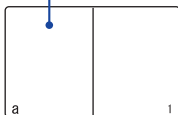
「予定表」を起動して、日本語を入力できるようにするまでの手順を説明します。

1 **文字入力の方法で[標準入力]を選ぶ。**
入力方法の切り換えのしかたは、「手書き入力の方法を選ぶ」(47 ページ)をご覧ください。

2 **ホーム画面で[予定表]アイコンをタップする。**
「予定表」が起動し、今日の日程が表示されます。

3 **「予定表」画面で、予定の時刻の行をタップする。**

4 **前ページまでの表で、入力したい文字の書きかたを確認する。**
文字によっては、2 通りの書きかたがあるものもあります。その場合は、書きやすい方を選んで入力してください。
大文字と小文字の入力には、同じ Graffiti 文字を使います。

5 **Graffiti 入力エリアの左側の文字入力エリアに、前ページまでの表に示されている形を、太い点から書き始める。**

6 **文字を書き終わったら、Graffiti 入力エリアからスタイラスを離す。**
Graffiti 入力エリアに書いた Graffiti 文字が認識され、画面のカーソル位置に入力した文字が表示されます。
スタイラスを離してからは、すぐに次の文字を書き始められます。

ご注意

文字は、Graffiti 入力エリア内に書く必要があります。Graffiti 入力エリアの外に書くと、文字として認識されません。

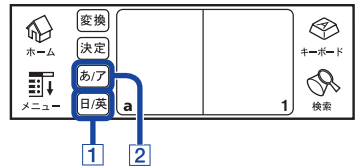
Graffiti 文字の入力についてのご注意

- 文字認識の精度をあげるために、入力エリアいっぱいになるように Graffiti 文字を書いてください。
- Graffiti 文字はふつうに文字を書くのと同じ速さで書いてください。書く速度が遅すぎると、Graffiti 文字を誤って認識することがあります。
- Graffiti 文字をななめに書かないでください。Graffiti 文字の縦の線は、Graffiti 入力エリアの左右にある縦の境界線と平行になる必要があります。

基本的な使いかた

文字の入力方法を選択する

1 日本語入力モード／英字入力モード

日/英 アイコンをタップして切り換えます。日本語入力モードは、ローマ字入力方式のみです。

2 ひらがな入力／カタカナ入力

あ/ア アイコンをタップして切り換えます。

3 英字の大文字を入力する

はじめに、日/英 アイコンをタップして英字入力モードに切り換えます。Caps キー（ ）または Shift キー（ ）を書いてからアルファベットを書くと、大文字で入力されます。

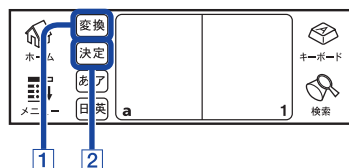
入力モード表示

- あ：ひらがな入力
- ア：カタカナ入力
- a：英字入力
- ：英字入力（大文字：Caps キー入力後）
- ：英字入力（大文字：Shift キー入力後）
- ●：記号
- ＼：特殊文字

次のページにつづく

文字を入力する

1 文字を変換する

[変換]アイコンをタップすると、入力した読みに当てはまる漢字の候補が表示されます。

意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう１度[変換]アイコンをタップします。
画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。

ヒント

ジョグダイヤルを回して変換候補を選ぶこともできます。

2 文字を決定する

[決定]アイコンをタップします。
また、文字の変換が必要ないときも[決定]アイコンをタップします。

ヒント

ジョグダイヤルを押して決定することもできます。

3 直前の文字を消去する

Back Space キー（——•）を書きます。

ヒント

「っ、ッ」などの小文字を入力するには

以下のように Graffiti 文字を続けて書きます。

- **「ぁ、ァ」などの小文字を入力するとき**：「x」、「a」または「l」、「a」
- **「っ、ッ」などを入力するとき**：「x」、「t」、「u」または「l」、「t」、「u」
- **「ゅ、ュ」などを入力するとき**：「x」、「y」、「u」または「l」、「y」、「u」
- **「ウィ」と入力するとき**：「w」、「i」

Graffiti で 「～」 や「˜」 を入力するには

- 全角の「～」を入力するには、ひらがなで「から」と入力してから、「～」が選ばれるまで[変換]アイコンをタップします。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「˜」（チルダ）を入力するには、[日/英]アイコンをタップして日本語入力モードを「切」にします。入力エリアをタップして記号入力モード（•）にし、N の Graffiti 文字を書きます。
- クリエで表示される「~」（チルダ）はパソコン上で表示される「˜」と見た目が異なりますが、同じものです。ホームページのアドレスなどを入力するときにご注意ください。

ナビゲーション記号やショートカットを利用する

ナビゲーション記号やショートカットを Graffiti で入力して、入力欄を移動したり、頻繁に使う記号をすばやく入力したりできます。

ナビゲーション記号を利用する

- カーソルを右に移動：
- カーソルを左に移動：
- コマンドツールバー：　コピーや削除などの操作を行います。（状態によって選べる機能は異なります。）
- 前の入力欄へ（「アドレスの編集」画面のみ）：
- 次の入力欄へ（「アドレスの編集」画面のみ）：
- アドレスデータを開く（「アドレス」画面のみ）：

ショートカットを利用する

Graffiti には 4 種類のショートカットが登録されています。
ショートカットを利用するには、まずショートカット記号　を書いてから、ショートカットとして登録した文字を入力します。
ショートカット記号を書くと、カーソル位置にショートカット入力モードを示す記号が表示されます。
クリエには、以下の Graffiti ショートカットが登録されています。

- 日付スタンプ：ds
- 時刻スタンプ：ts
- 日付／時刻スタンプ：dts
- 株式会社：kk

例えば、次のショートカット dts を Graffiti 文字で書くと、現在の日付けと時刻を入力できます。

ご注意

Graffiti ショートカットは、アルファベット入力モードでのみ使用できます。

ヒント

ショートカットは自分で追加することもできます。詳しくは 97 ページをご覧ください。

スクリーンキーボードで文字を入力する

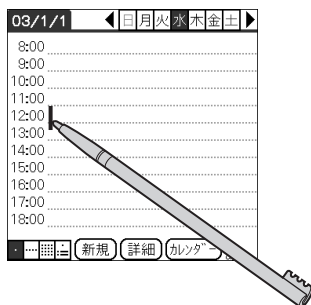
ここでは、スクリーンキーボードを使った文字の入力のしかたについて説明します。
ATOK を利用した入力方法を基本にして説明をしていますので、Palm OS 標準の日本語入力システムをお使いの場合は、「標準の日本語入力システムに戻す」(46ページ)をご覧ください。

文字入力の準備をする

スクリーンキーボードを表示させるには、文字を入力したいアプリケーションを起動させる必要があります。
ここでは「予定表」を例にして説明します。

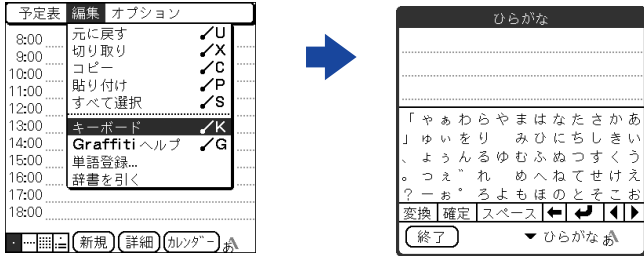
1 ホーム画面で[予定表]アイコンをタップする。

「予定表」が起動し、今日の日程が表示されます。

2 予定の時刻の行をタップする。

3 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

4 [編集]メニューの[キーボード]をタップする。

[ひらがな]キーボードが表示されます。
キーボードを閉じるときは[終了]をタップします。

ヒント

Graffiti 入力エリアを表示させている場合は、Graffiti 入力エリアの右にあるキーボード アイコンをタップして、キーボードを表示させることもできます。

基本的な使いかた

文字の入力方法を選択する

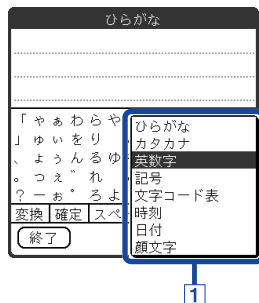
1 かな入力方式＊／ローマ字入力方式＊＊

日本語を入力する方式として、かな入力方式とローマ字入力方式があります。

＊ **かな入力方式：**キーボードの各キーに表示されているひらがな／カタカナで入力します。

＊＊**ローマ字入力方式：**アルファベットを組み合わせて日本語を入力します。

画面中央下の▼をタップして、表示されたリストからキーボードを選択することができます。

記号や特殊な文字などのキーボードについては、「記号や特殊な文字を入力する」（78 ページ）をご覧ください。

2 日本語入力モードの入／切

英字を入力するには［英数字］キーボードを表示させた上で、日本語入力モードを「切」にしている必要があります。

以下の方法で切り換えます。

- 日/英 アイコンをタップする（Graffiti 入力エリア）
- ハードウェアキーボードの◉（赤）キーを押しながら 日/英 キーを押す

3 ひらがな入力／カタカナ入力

画面中央下の▼をタップして、キーボードを［ひらがな］または［カタカナ］に切り換えます。

ヒント

以下の方法で切り換えることもできます。

- あ/ア アイコンをタップする（Graffiti 入力エリア）
- ハードウェアキーボードの◉（赤）キーを押しながら あ/ア キーを押す

また、入力したあとで変換操作によって変換することもできます。

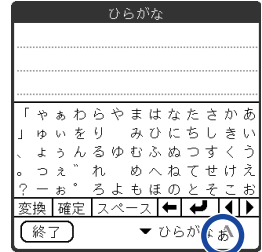
4 英字の大文字を入力する

はじめに 1、2 の方法で、[英数字]キーボードを表示させ、日本語入力モードを「切」にします。
⬆(Caps)をタップすると、キーボードが大文字表示に切り換わります。
小文字入力に戻したいときは、もう 1 度⬆(Caps)をタップします。

入力モード表示

あ、ア：日本語入力モード「入」
a、⬆、⬆：日本語入力モード「切」

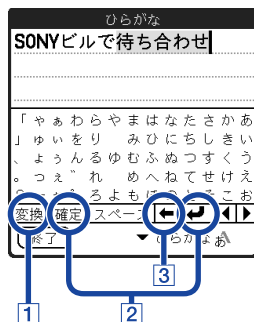
クリエで文字を入力する

次のページにつづく

文字を入力する

1 **文字を変換する**

[変換]をタップします。

意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう１度[変換]をタップします。
画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。

ヒント

ジョグダイヤルを回して変換候補を選ぶこともできます。

漢字に変換できないときは

日本語入力モードが「切」になっています。「入」に切り換えてください。

2 **文字を決定する**

[確定]または (Enter(エンター))をタップします。
また、文字の変換が必要ないときも[確定]または (Enter(エンター))をタップします。

ヒント

ジョグダイヤルを押して決定することもできます。

3 **直前の文字を消去する**

(Back Space)をタップします。

4 **文字の入力を終了する**

[終了]をタップすると、画面からキーボードが消えます。

ヒント

[ひらがな]、[カタカナ]、[英数字]キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどは、「覚えておくと便利な機能」(77 ページ)をご覧ください。

Palm OS 標準の日本語入力システムを使って入力する

ここでは、Palm OS 標準の日本語入力システムを使った文字の入力のしかたについて説明します。

ヒント

Palm OS 標準の日本語入力システムに変更するには、「標準の日本語入力システムに戻す」(46 ページ)をご覧ください。

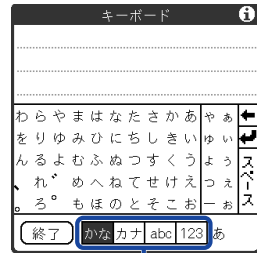
文字の入力方法を選択する

1 **かな入力方式＊／ローマ字入力方式＊＊**

日本語を入力する方式として、かな入力方式とローマ字入力方式があります。

＊ **かな入力方式：**キーボードの各キーに表示されているひらがな／カタカナで入力します。

＊＊**ローマ字入力方式：**アルファベットを組み合わせて日本語を入力します。

画面中央下をタップして、キーボードを切り換えることができます。

2 **日本語入力モードの入／切**

英字を入力するには[abc]キーボードを表示させた上で、日本語入力モードを「切」にしている必要があります。

以下の方法で切り換えます。

- 日/英 アイコンをタップする(Graffiti 入力エリア)
- ハードウェアキーボードの⦿(赤)キーを押しながら日/英キーを押す

3 **ひらがな入力／カタカナ入力**

画面中央下をタップして、キーボードを[かな]または[カナ]に切り換えます。

ヒント

以下の方法で切り換えることもできます。

- あ/ア アイコンをタップする(Graffiti 入力エリア)
- ハードウェアキーボードの⦿(赤)キーを押しながらあ/アキーを押す

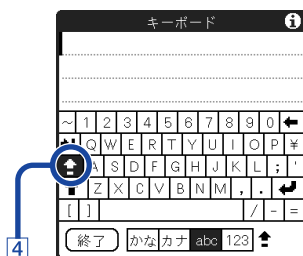
また、入力したあとで変換操作によって変換することもできます。

次のページにつづく

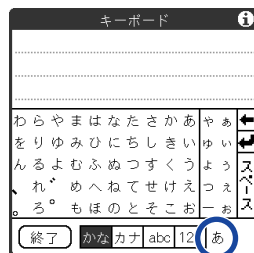
4 **英字の大文字を入力する**

はじめに 1、2 の方法で、[abc]キーボードを表示させ、日本語入力モードを「切」にします。

⬆(Caps)をタップすると、[abc]キーボードが大文字表示に切り換わります。

小文字入力に戻したいときは、もう1度⬆(Caps)をタップします。

入力モード表示

あ、ア:日本語入力モード「入」

a:日本語入力モード「切」

文字を入力する

1 **文字を変換する**

以下の方法で変換することができます。

- 変換 アイコンをタップする(デクマ手書き入力エリア)
- 変換 アイコンをタップする(Graffiti 入力エリア)
- ハードウェアキーボードの⦿(赤)キーを押しながら Space 変換 キーを押す

意図しない漢字の候補が表示されたときは

もう1度上記の変換操作を行います。

画面左端に変換候補一覧が表示されたら、目的の漢字をタップします。

ヒント

ジョグダイヤルを回して変換候補を選ぶこともできます。

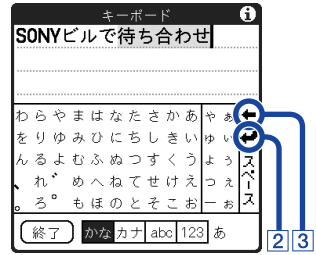
漢字に変換できないときは

日本語入力モードが「切」になっています。「入」に切り換えてください。

2 **文字を決定する**

(Enter)をタップします。
また、文字の変換が必要ないときも
(Enter)をタップします。

ヒント

ジョグダイヤルを押して決定することも
できます。

3 **直前の文字を消去する**

(Back Space)をタップします。

4 **文字の入力を終了する**

[終了]をタップすると、画面からキーボードが消えます。

ヒント

キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどは、「覚えておくと便利な機能」(77 ページ)をご覧ください。

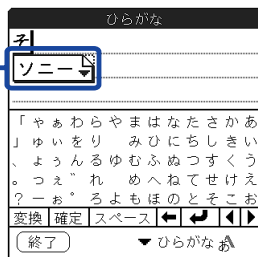
ATOK を使いこなす

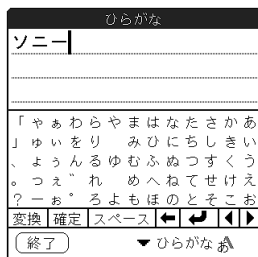
推測変換を使って効率よく入力する

ATOK で変換／確定した文字列は、クリエ本体のメモリに保存されます。過去に入力した文字列の先頭の文字を入力すると、その文字列が変換候補として表示されます。入力や変換の手間を省くことができ、便利です。
ここでは、過去に「ソニー」と変換／確定したことがあると想定して説明します。

先頭の文字を入力する。

推測変換候補が表示されます。

推測変換候補
前回確定した変換候補が表示されます

2 推測変換候補をタップする。

推測変換候補として表示された文字列が確定します。

ヒント

他の推測変換候補を表示させたいときは

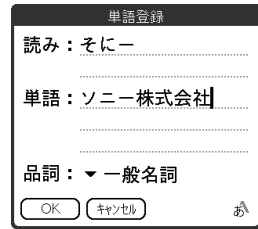
推測変換候補の右側の▼をタップすると、他の変換候補一覧が表示されます。入力したい文字列をタップすると確定します。入力したい文字列が一覧にないときは、一覧以外の場所をタップし、そのまま入力を続けます。

よく使う単語を登録する

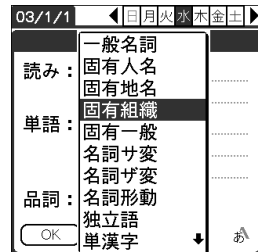
辞書にない単語やよく使うことばを登録しておけば、効率よく入力／変換できます。
ここでは、「ソニー株式会社」を「そにー」という読みで登録する例を説明します。

1 あ アイコンをタップして、表示されたメニューから[K. 単語登録]を選ぶ。

2 読みと単語を登録する。

読みは全角 16 字または半角 32 字以内、単語は全角 25 字または半角 50 字以内で入力します。
ここでは、読みに「そにー」、単語に「ソニー株式会社」と入力します。

3 品詞の▼をタップして、品詞の種類をタップして選ぶ。

ここでは、[固有組織]を選びます。

次のページにつづく

4 [OK]をタップする。

「そにー」と入力して[変換]をタップしたときに、「ソニー株式会社」が変換候補に表示されるようになります。

ご注意

単語の読みに使用できない文字

全角のひらがな、全角・半角のカタカナ、アルファベット（子音のみ）、数字、記号（゛　゜　＋ー＊／＿＃＄％＆＝＠：；＜＞）以外の文字は使用できません。
小文字の「ゎ」「ヵ」「ヶ」、旧字体の「ゐ」「ゑ」「ヰ」「ヱ」は使用できません。
また、読みの先頭に「をんヲンー（長音）ぁぃぅぇぉゃゅょっァィゥェォャュョッ゛　゜　」は使用できません。

登録した単語を削除する

1 ホーム画面で、ジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「環境設定」画面が表示されます。

2 画面右上の▼をタップして、[ユーザー辞書]を選ぶ。

3 削除したい単語をタップして選んでから、[削除]をタップする。

削除の確認画面が表示されます。

4 [はい]をタップする。

選んだ単語がユーザー辞書から削除されます。

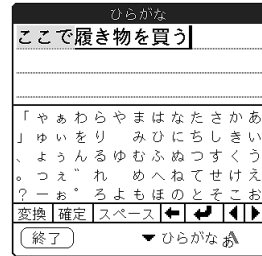
覚えておくと便利な機能

文節の区切りを変更する

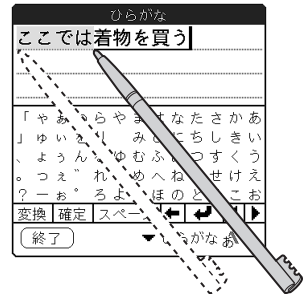
長い文章を入力してから変換したときに、変換の単位となる文節が正しく区切られずに、正しく変換できないことがあります。
このような場合には、文節の区切りを変更することで、正しく変換できるようになります。
「ここで履き物を買う」→「ここでは着物を買う」という文を例にして、文節の区切りの変更のしかたについて説明します。

1 「ここではきものをかう」と入力する。

2 [変換]をタップする。

文節が自動的に「ここで」と「はきものをかう」に区切られて、変換されます。

3 スタイラスで「ここでは」の上を左から右へなぞって離す。

文節の区切りが「ここで」から「ここでは」に変更されて、新しい区切りに合わせて、文字が変換されて表示されます。

次のページにつづく

[確定]を 3 回タップする。

ヒント

ジョグダイヤルを押して操作することもできます。

変換した文字列を 1 度で確定するには

複数の文節の変換結果が正しいときは、入力パネルの アイコンをタップして、表示されたメニューから[C. 全確定]をタップします。文字列以外の場所をタップしても、全確定されます。

記号や特殊な文字を入力する

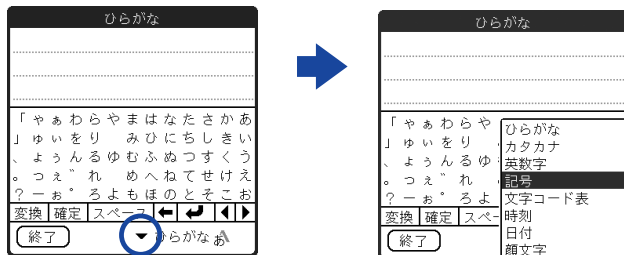
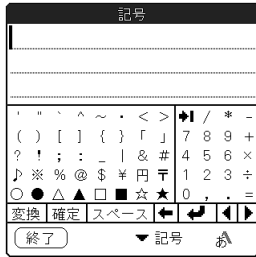
記号や顔文字を入力したり、読みのわからない文字を一覧から探して入力したりするときに便利な入力パネルもあります。

ご注意

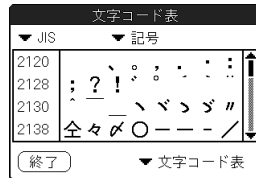
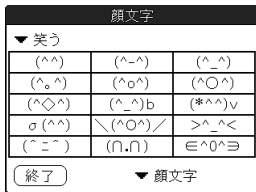
日本語入力モードが「切」になっているときや、入力モードが英数字のときは入力直後に確定されます。日本語入力モードが「入」のときは、入力直後に確定するものと未確定のものがあります。

1 キーボードの下の ▼ をタップして、表示されたメニューから利用したいパネルを選ぶ。

選んだ入力パネルが表示されます。

それぞれのパネルの内容については、次ページをご覧ください。

[記号]入力パネル

[時刻]入力パネル

[顔文字]入力パネル

[日付]入力パネル

[文字コード表]入力パネル

ヒント

「～」や「~」を入力するには

- 全角の「～」を入力するには、[ひらがな]入力パネルで「から」と入力してから、「～」が選ばれるまで[変換]をタップします。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」(チルダ)を入力するには、[英数字]入力パネルを表示させてから、(Shift)をタップして、[~]をタップします。
- クリエで表示される「~」(チルダ)はパソコン上で表示される「~」と見た目が異なりますが、同じものです。ホームページのアドレスなどを入力するときにご注意ください。

ATOK の設定を変更する

ATOK を使うときの操作環境を設定できます。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[ATOK 設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「ATOK 設定」画面が表示されます。

ヒント

[ATOK 設定]アイコンをタップして、「ATOK 設定」画面を表示することもできます。

2 画面右上にある▼をタップして、設定を変更したい項目を選ぶ。

それぞれの設定項目で設定できる内容については、以下の説明をご覧ください。

入力・変換画面

候補ウィンドウ	変換操作を何回行うと、候補の一覧が表示されるのかを設定します。
後変換候補の追加	変換候補として表示される文字の種類を選びます。変換の候補として表示させたい文字の種類をタップして、☑ にします。
スペースキー空白入力	日本語入力モードが「入」の状態のときに、入力パネルのスペースキーで入力する空白を、全角スペースまたは半角スペースから選びます。

入力支援画面

推測変換／確定履歴	[推測変換を有効にする]の □ をタップして、☑ にすると、推測変換候補が表示されるようになります。
表示頻度	推測変換候補の表示頻度を選びます。[低]にすると、推測変換候補が表示されにくくなります。
確定履歴	確定履歴を消去して初期状態に戻します。消去するには、[確定履歴のクリア]をタップします。

辞書・学習画面

辞書設定	変換に使用する辞書を複数設定できます。 [システム辞書]には通常の変換（入力パネルの[変換]をタップする）に使用する辞書を設定します。 初期状態では標準辞書だけが選択できますが、別途入手してインストールした辞書を辞書 2、3 として割り当てることもできます。
一時学習	変換結果を学習するかしないかを設定します。 [する]に設定すると、変換結果が登録されて、変換時の優先順位が上がります。

入力パネル画面

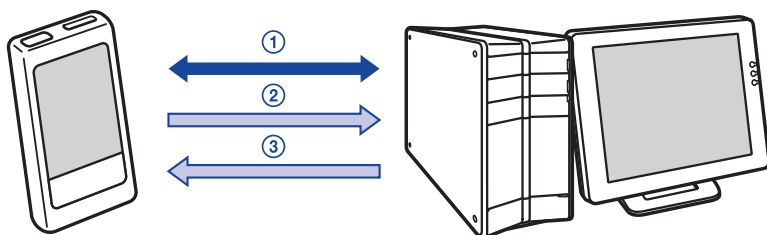
スクリーンキーボードを表示させたときに標準で表示される入力パネルと、キーボード画面の右下の ▼ をタップして選べる入力パネルの種類を選びます。

使用する入力パネルを選ぶ	使いたい入力パネルの □ をタップして、☑ にします。
標準の入力パネルを選ぶ	使用する入力パネルを選んで[標準に設定]をタップすると、選んだ入力パネルの左側に ● が移動します。 スクリーンキーボードを表示させたときに、ここで選んだ入力パネルが表示されるようになります。

パソコンとクリエを同期させる

この章では、クリエとパソコンのファイル／データを同期（HotSync）する方法について説明します。

HotSync(ホットシンク)とは?

クリエとパソコンのファイル/データをやり取りし、双方のファイル/データを最新の状態にしたり、ファイル/データのバックアップをとる、アプリケーションのインストールをするといった操作を HotSync と呼びます。クリエなどの Palm OS 搭載機器の特長的な機能で、HotSync ボタンを押すだけで、これらの操作を行えます。
この冊子では「パソコンとクリエを同期する」などと表現しています。

① クリエとパソコンのファイル/データを同期する

クリエの「予定表」および「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションのデータと、パソコン側のファイル/データを同期して最新の状態に保てます。複数のクリエのファイル/データを同時に独立して管理することもできます。

② バックアップデータをパソコンに保存する

HotSync することで、パソコン側にクリエのファイル/データのバックアップコピーを自動的に作成できます。
こまめに HotSync しておくことで、クリエのファイル/データを誤って削除してしまったり、クリエのバッテリ切れを放置してファイル/データを紛失してしまったり、クリエをリセットしなければならなくなったときでも、パソコンに保存されたバックアップファイルからクリエの最新ファイル/データを復元できます。
バックアップについて詳しくは、194 ページをご覧ください。

ヒント

クリエで“メモリースティック”に直接バックアップすることもできます。

➡ **詳しくは、**「「Memory Stick Backup」を使って“メモリースティック”にデータやアプリケーションをバックアップする」(195 ページ)をご覧ください。

③ Windows のソフトウェアで作成したファイル／データをクリエで使う

Windows のソフトウェアで作成したファイル／データを変換してクリエに転送できます(インポート)。また、クリエのファイル／データを Windows ソフトウェアのファイル／データとして取り込むこともできます(エクスポート)。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアにインポート／エクスポートできるファイル形式

- カンマ／タブ区切りテキスト(*.csv、*.tab、*.tsv、*.txt)
- テキスト(*.txt)
- vCalendar(予定表)ファイル(*.vcs)
- vCard(アドレス)ファイル(*.vcf)
- Palm Desktop ソフトウェアの予定表アーカイブ(*.dba)
- Palm Desktop ソフトウェアのアドレスアーカイブ(*.aba)
- Palm Desktop ソフトウェアの To Do リストアーカイブ(*.tda)
- Palm Desktop ソフトウェアのメモ帳アーカイブ(*.mpa)

* カッコ内は拡張子です。なお、関連ファイルをひとまとまりにした単位を「アーカイブ」と呼びます。

➡ **ファイル／データのインポートやエクスポートについて詳しくは、**CLIE Palm Desktop ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

HotSync する

HotSync するためには、パソコンに CLIE Palm Desktop ソフトウェアがインストールされ、クレードルが接続されている必要があります。

➡ **詳しくは、**別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「パソコンと一緒に使えるようにする」をご覧ください。

クレードルで HotSync する(ローカル HotSync)

クレードルを使って HotSync することを、ローカル HotSync と言います。

1 **クリエをクレードルに取り付ける。**

2 **クレードルの HotSync ボタンを押す。**

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、完了を示すメッセージが表示されます。

ご注意

HotSync が完了するまで、クリエをクレードルから取りはずしたり、"メモリースティック"や CF カードの抜き挿しを行わないでください。CLIE Palm Desktop ソフトウェアが正常に終了できない場合があります。

HotSync ボタンを押しても HotSync が始まらないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）に、 アイコンが表示されているかどうか確認します。

表示されていないときは、デスクトップ画面左下の［スタート］メニューから［プログラム］（Windows XP の場合は［すべてのプログラム］）－［Sony CLIE］－［HotSync マネージャ］の順にクリックします。デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）に アイコンが表示されたことを確認してから、もう 1 度クレードルの ボタンを押してください。

パソコン上に「HotSync 機能実行中」と表示されます。

* この冊子では、Windows XP Home Edition と Windows XP Professional 共通の場合は Windows XP と記載します。

**Windows XP では、従来のタスクトレイを「通知領域」と言います。以後、この冊子ではタスクトレイ（通知領域）と記載します。

HotSync ができない場合は

別冊「困ったときは Q&A」をご覧ください。

パソコンで情報を管理する（CLIE Palm Desktop）

付属のCLIE Palm Desktopソフトウェアを使って、HotSyncでクリエから転送した情報をパソコンで閲覧できます。
また、CLIE Palm Desktopソフトウェアはクリエの「アドレス」、「予定表」、「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションと同様の機能を持っているため、パソコンで予定やアドレス情報を入力し、HotSyncでクリエに転送することもできます。

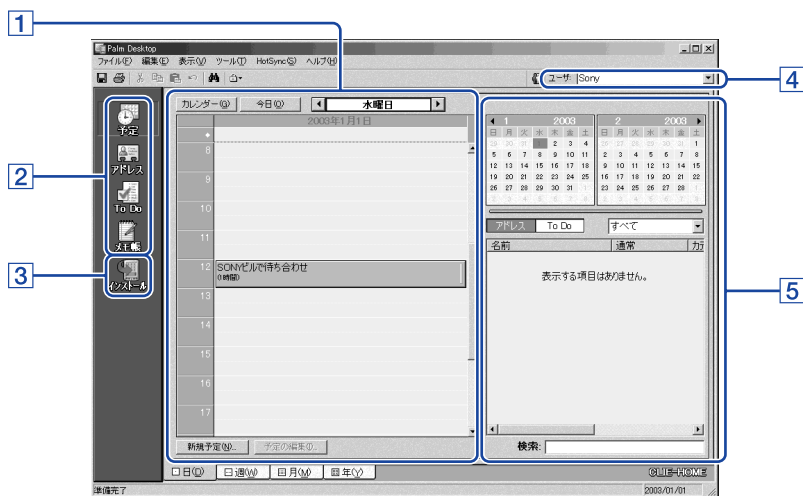
CLIE Palm Desktopソフトウェアを起動する

1 パソコンのデスクトップ画面にある、[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。

または、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム]（Windows XPの場合は[すべてのプログラム]）－[Sony CLIE]－[CLIE Palm Desktop]の順にクリックします。
CLIE Palm Desktopソフトウェアが起動します。

ヒント

CLIE Palm Desktopソフトウェアを終了するときは
画面右上の ☒（閉じるボタン）をクリックする、または[ファイル]メニューから[終了]を選びます。

画面の見かた

1 情報表示部

クリエでアプリケーションを起動したときに表示される、アプリケーションごとの一覧画面が表示されます。

2 アプリケーション切り換えアイコン

クリックすると、対応するアプリケーションの画面が表示されます。

3 インストールアイコン

クリックすると「インストール ツール」画面が表示されます。HotSync でアプリケーションをインストールするときに使います。

➡ **詳しくは、**「インストールする」(211 ページ)をご覧ください。

4 ユーザー名表示部

現在表示している情報のユーザー名が表示されます。

5 詳細情報表示部

クリエで情報を表示してから[詳細]をタップしたときに表示される、情報の詳細などが表示されます。

基本的な使いかた

利用したいアプリケーションのアイコンをクリックすると、アプリケーションごとの画面に変わります。
各画面での操作方法はクリエのアプリケーションと同様です。
詳しい操作方法については、[ヘルプ]メニューから[Palm Desktop ヘルプ]を選んで表示される、オンラインヘルプをご覧ください。

ヒント

クリエのユーザー名を変えるには

1. **CLIE Palm Desktop ソフトウェアの[ツール]メニューから[ユーザ]を選ぶ。**
   「ユーザ」画面が表示されます。
2. **変えたいユーザー名を選んでから、[名前の変更]をクリックする。**
3. **新しいユーザー名を入力してから、[OK]をクリックする。**
   次に HotSync したときに、クリエのユーザー名も変わります。

Windows XP をお使いの場合は

付属の CLIE Palm Desktop ソフトウェアをパソコンで起動し、メニューバーの[HotSync]メニューから「動作設定」、「ファイルリンク」、「ログの表示」、「起動／接続設定」を選んだとき、それぞれのウィンドウが CLIE Palm Desktop ソフトウェアのホーム画面の後方に隠れて表示されます。
このときは、次のような方法でそれぞれの操作画面を前面に移動させてください。

- パソコンの Alt キーと Tab キーを同時に押す。
- デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックする。

クリエの設定を変更する（環境設定）

この章では、クリエに用意されている各種の環境設定の方法について説明します。お好みに合わせてクリエをカスタマイズするために必要な情報が記載されています。

環境設定でできること

「環境設定」画面では、以下のような操作設定や初期設定を変更できます。
追加のアプリケーションなどをインストールすると、設定画面が追加されることがあります。

設定項目	設定内容
Bluetooth	Bluetooth の設定を変更。 詳しい内容は、94 ページをご覧ください。 （Bluetooth 機能内蔵モデルのみ）
ショートカット	Graffiti 文字ですぐに入力できる文字列（日付や時刻など）を登録。 詳しい内容は、97 ページをご覧ください。
デジタイザ	画面の表示とスタイラスをタップする位置のずれを調整。 詳しい内容は、98 ページをご覧ください。
ネットワーク	インターネット接続設定を編集。 詳しい内容は、99 ページをご覧ください。
ボタン	アプリケーションボタンや HotSync ボタンに割り当てられているアプリケーション、およびスタイラス操作により起動する機能を変更。 詳しい内容は、109 ～ 112 ページをご覧ください。
ユーザー辞書	クリエでユーザー辞書として使用する辞書を登録。 詳しい内容は、113 ページをご覧ください。
一般	各種のシステム音や LED 機能 *、クリエの電源が自動的に「オフ」になるまでの時間などを設定。 * 一部の機種では対応しておりません。 詳しい内容は、114 ～ 117 ページをご覧ください。
所有者	クリエの所有者の名前や連絡先などを設定。 詳しい内容は、200 ページをご覧ください。
書式	時刻や日付などの書式を設定。 詳しい内容は、118 ページをご覧ください。
接続	モバイルコミュニケーションアダプターや、モデムなどの設定を変更。 詳しい内容は、119 ページをご覧ください。
日付と時刻	日付と時刻の設定を変更。 詳しい内容は、120 ページをご覧ください。

ヒント

前記にない設定項目については、別冊「はじめにお読みください（取扱説明書）」をご覧ください。

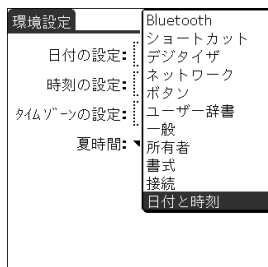
環境設定の各画面を表示する

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「環境設定」画面が表示されます。

ヒント

[環境設定]アイコンをタップして、「環境設定」画面を表示することもできます。

2 右上の▼をタップして、変更したい環境設定項目を選ぶ。

Bluetooth™ 機能を設定する

（Bluetooth 機能内蔵モデルのみ）

ご注意

Bluetooth の設定画面を開いている間は、Bluetooth 機能は使用できません。

Bluetooth 機能の入／切を切り換える

Bluetooth 機能の入／切を切り換えられます。
Bluetooth 機能を「切」にすると、Bluetooth 機能を使ったデータの送信などができなくなりますが、クリエのバッテリの消耗を節約できます。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[Bluetooth]を選ぶ。
Bluetooth の設定画面が表示されます。

2 [Bluetooth]の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。

- **オン**：Bluetooth 機能を「入」にします。
  Bluetooth LED が点滅もしくは点灯します。
- **オフ**：Bluetooth 機能を「切」にします。

お買い上げ時の設定は

[オフ]に設定されています。

Bluetooth の情報を確認／変更する

Bluetooth 機能が「入」の場合、Bluetooth の設定画面に次の項目が表示されます。

デバイス名	本機の名前を設定します。お互いを確認するために必要です。 四角い枠の中をタップすると、名前の変更画面が表示されます。
本体の探索を有効にする	[はい]に設定すると、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めたとき、本機が対応可能機器として応答します。（待ち受け時は、Bluetooth LED が点滅します） [いいえ]に設定すると、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めても応答しません。 （初期設定＝はい）
本体のウェイクアップを有効にする	[はい]に設定すると、本機の電源が切れていても、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めると、本機の電源が自動で入り、対応可能機器として応答します。 [いいえ]に設定すると、本機の電源が切れているときは、他の Bluetooth 機能対応機器が探索を始めても応答しません。 （初期設定＝いいえ）
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレス（Bluetooth 機能対応機器に固有に割りふられる番号）が表示されます。 変更することはできません。

また、メニュー アイコンをタップして表示される[オプション]メニューで以下の項目を切り換えることができます。

デバイス名キャッシュの有効化	本機に登録済みの Bluetooth 機能対応機器のデバイス名をキャッシュから表示します。そのため接続対象の Bluetooth 機能対応機器のデバイス名が変更されている場合は、探索時に最新のデバイス名が表示されないことがあります（接続後に更新されます）。

次のページにつづく

デバイス名キャッシュの無効化	接続対象の Bluetooth 機能対応機器がすでに本機に登録済みであっても、探索を行うたびに最新のデバイス名などの情報を新たに取得し直します。接続対象の Bluetooth 機能対応機器のデバイス名が変更された場合に設定してください。[デバイス名キャッシュの有効化]に設定した場合よりも、探索の時間が長くかかります。(初期設定=デバイス名キャッシュの有効化)

通信相手の情報を表示する/削除する

クリエに登録されている Bluetooth 対応機器の情報を確認したり、不要な機器の情報を削除することができます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[Bluetooth]を選ぶ。**
Bluetooth の設定画面が表示されます。

2 **[登録済みデバイス]をタップする。**
クリエに登録されている Bluetooth 対応機器が表示されます。

3 **情報を表示したい Bluetooth 対応機器を選択し、[詳細 ...]をタップする。**
「デバイスの詳細」画面が表示されます。
[終了]をタップすると「登録済みデバイス」画面に戻ります。

4 **機器の情報を削除したい場合は[デバイスの削除]をタップする。**
削除の確認画面が表示されるので[OK]をタップします。

5 **[終了]をタップして、Bluetooth の設定画面に戻る。**

通信相手の情報を追加するには

「登録済みデバイス」画面で[デバイスの追加]をタップします。
画面の表示に従って操作してください。

ショートカットを作成する

Graffiti 入力で使用するショートカットを、好みに合わせて追加できます。

➡ **Graffiti ショートカットについて詳しくは、**「ナビゲーション記号やショートカットを利用する」(65 ページ)をご覧ください。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ショートカット]を選ぶ。

2 [新規]をタップする。

「ショートカットの登録」画面が表示されます。

3 ショートカットの名前と、ショートカットに登録する文字列を入力する。

4 [OK]をタップする。

入力したショートカットが登録され、登録したショートカットが一覧で表示されます。

登録したショートカットを編集したいときは

1 編集したいショートカットをタップして選び、[編集]をタップする。

2 ショートカットの名前またはショートカットに登録する文字列を編集してから、[OK]をタップする。

登録したショートカットを削除したいときは

1 削除したいショートカットをタップして選んでから、[削除]をタップする。

「削除」画面が表示されます。

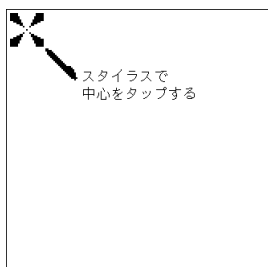
2 [はい]をタップする。

選んだショートカットが削除されます。

入力位置を調整する（デジタイザ調整）

タップした位置が正しく認識されないときや、スクロールバーがうまく動かないとき、バックライトの明るさまたは画面のコントラストが調節できないとき、ハードリセット後などは、画面上の入力位置を微調整（デジタイザ調整）します。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[デジタイザ]を選ぶ。**

デジタイザの表示調整画面が表示されます。

この画面は、クリエをはじめて起動したときに表示される画面と同じものです。

以後、画面の指示に従って調整を進めてください。

ヒント

スタイラスは画面に対して垂直にタップしてください。

ネットワーク接続設定を編集する

ご注意

周辺機器に対応した設定については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

編集したいサービステンプレートを選ぶ

インターネットなどに接続するために使用する設定リストの元となる、インターネットサービスプロバイダ（以後、「プロバイダ」と記載します）またはダイヤルアップサーバーのサービステンプレートを選びます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。**

2 **[サービス]の▼をタップして、使用するサービス（プロバイダ名）を選ぶ。**

ヒント

- サービスを新規に追加する場合は、[サービス]メニューから[新規]を選んでください。
  リストの中に契約しているプロバイダ名が表示されないときは、サービスが表示されている場所をタップするか、[サービス]メニューから[新規]を選んで、サービス名を直接入力することもできます。
  1つのサービスの名前を変更して、複数登録することもできます。
  例えば「So-net1」と「So-net2」というように、1つのサービスの名前を変更して複数のサービスとして登録できます。アクセスポイントや設定によって使い分けたいときに便利です。
- 既存のサービステンプレートを変更せず、新しいサービステンプレートとして新規追加する場合は、[サービス]メニューから[複製]を選んでください。

ユーザー名を入力する

プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。

1 「環境設定」画面の［ネットワーク］で、［ユーザ名］をタップする。

2 ユーザー名を入力する。

ご注意

- ユーザー名として複数行の文字列を入力しても、画面には 2 行までしか表示されません。
- ほとんどのダイヤルアップサーバーでは、ユーザー名としてスペース（空白）を使用することはできません。
- ハイフン（－）を入力するときは、半角であることを確認してください。

パスワードを入力する

プロバイダから指定されたパスワードを入力します。

1 「環境設定」画面の［ネットワーク］で、［パスワード］をタップする。

2 パスワードを入力する。

3 ［OK］をタップする。
［- 未設定 -］の表示が［- 設定済み -］に変わります。

ご注意

ここでパスワードを指定しない場合は、接続時に毎回パスワードの入力が必要になります。

接続の設定を選ぶ

別売りのモバイルコミュニケーションアダプター、別売りの接続ケーブルでクリエと携帯電話／ PHS を接続してから、［接続］の▼をタップして［Sony モバイルアダプタ］を選びます。
CF カードスロットを内蔵したクリエも、CF 通信カードをクリエに入れてから［接続］の▼をタップして接続の設定を選びます。

ダイヤルアップ先の電話番号を入力する

使用する携帯電話／ PHS に対応したプロバイダのアクセスポイント、またはダイヤルアップサーバーの電話番号を入力します。

1 **「環境設定」画面の［ネットワーク］で、［電話番号］をタップする。**

「ダイヤルの設定」画面が表示されます。

2 **ダイヤルアップ先の電話番号を入力する。**

ご注意

- アクセスポイントについては、プロバイダにお問い合わせください。
- 携帯電話または PHS の場合は、市外局番から入力してください。

3 **外線発信番号やキャッチホン機能解除を設定する必要があるときは、以下の「外線発信番号を入力する」や「キャッチホンを解除する」の手順に従って設定を行う。**

外線発信番号を入力する

外線発信番号を指定しなければならない環境でお使いの場合は、外線発信番号を入力します。

① ［外線発信番号］の ☐ をタップして、☑ にする。

② ［外線発信番号］入力欄に外線発信番号を入力してから、［OK］をタップする。

キャッチホンを解除する

あらかじめキャッチホン機能解除サービスを通信会社と契約している場合には、インターネットへの接続時にキャッチホン機能を解除するように設定できます。キャッチホン機能解除サービスについては、ご契約されている通信会社にお問い合わせください。

① ［キャッチホン機能解除］の ☐ をタップして、☑ にする。

② キャッチホン機能を解除するための番号を入力してから、［OK］をタップする。

次のページにつづく

4　電話番号の設定を終了する場合は、[OK]をタップする。

「環境設定」画面の[ネットワーク]に戻ります。

ご注意

日本国内では、[コーリング カードの使用]オプション（アメリカ合衆国専用）は利用できません。

コーリングカードを使用する

クリエをアメリカ合衆国でお使いの場合は、コーリングカード番号を指定することで、コーリングカードを使ってネットワークに接続することもできます。

ご注意

日本国内では、画面に表示されている[コーリング カードの使用]オプションは使用できません。また、アメリカ合衆国で使用する場合、「ダイヤルの設定」画面の設定は、AT&T と Sprint の長距離サービスでのみ正しく動作します。MCI では動作が異なるので、MCI を利用する場合は、[電話番号]入力欄にコーリングカード番号、[コーリング カードの使用]入力欄に電話番号を入力する必要があります。

1　[コーリング カードの使用]の □ をタップして、☑ にする。

2　[コーリング カードの使用]入力欄にコーリングカード番号を入力する。

通常は、コーリングカード番号を入力する前に待ち時間があります。そのためコーリングカード番号を指定する場合は、先頭に 3 つ以上のカンマ（, ）を挿入して待ち時間を補正するようにしてください（1 つのカンマでコーリングカード番号の送信が 2 秒遅れます）。

3　[OK]をタップする。

詳細な接続情報を追加設定する

プロバイダをリストから選んだときは、ユーザー名とパスワード、電話番号を入力するだけでネットワークに接続できます。しかし、プロバイダやダイヤルアップサーバーによっては、接続情報を追加設定しなければならない場合があります。

1 **「環境設定」画面の[ネットワーク]で、[詳細]をタップする。**

2 **[接続タイプ]の▼をタップして、接続方法を選ぶ。**

- PPP:ポイントツーポイントプロトコル
- SLIP:シリアル回線インターネットプロトコル
- CSLIP:圧縮シリアル回線インターネットプロトコル

適切な接続方法がわからない場合は、[PPP]を選びます。

詳しくはプロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

3 **[切断までの時間]の▼をタップして、ネットワークを使用するアプリケーションが終了してからネットワークとの接続を切断するまでの時間を選ぶ。**

- **1分、2分、3分**:ネットワークを使用しないアプリケーションに切り換えると、それぞれ1分後、2分後、3分後にネットワークとの接続を切断します(初期設定は1分です)。
- **なし**:クリエの電源を切るまで、ネットワークと接続し続けます。もっとも通信料金がかかる設定ですので、充分にご注意ください。

4 **必要に応じて、下記の設定をする。**

プロバイダの設定資料で必要とされている場合、下記の手順で[クエリーDNS]と[IPアドレス]の設定を行います。

① **クエリーDNS:** ☑ をタップして □ にします。

② **プライマリDNS/セカンダリDNS:**

DNS(ドメインネームシステム)のIPアドレスを入力します。

プライマリDNSまたはセカンダリDNSのIPアドレスについては、プロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

③ **IPアドレス:**

クリエのIPアドレスを指定する必要がある場合は、[自動]の ☑ をタップして □ にしてから、IPアドレスを入力します。

入力するIPアドレスについては、プロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

通常は入力する必要はありません。不明な場合は、[自動]を ☑ にして手順5に進んでください。

5 **[OK]をタップする。**

サービステンプレートを複製する/削除する

既存のサービステンプレートを複製する

サービステンプレートをすべて新規で作成するよりも、既存のサービステンプレートの内容を編集した方が速いときなどに、既存のサービステンプレートを複製することができます。

複製したサービステンプレートの必要な部分だけを編集して、保存できるので便利です。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。**

2 **[サービス]の▼をタップして、複製したいサービスを選ぶ。**

3 **メニュー アイコンをタップする。**

4 **[サービス]メニューの[複製]をタップする。**

[サービス]ドロップダウンリストに「(コピー元のサービス名)+コピー」という新規サービステンプレートが作成され、この新規サービステンプレートが表示されます。

サービステンプレートを削除する

登録されているサービステンプレートを削除することもできます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。**

2 **[サービス]の▼をタップして、削除したいサービスを選ぶ。**

3 **メニュー アイコンをタップする。**

4 **[サービス]メニューの[削除]をタップする。**

「サービスの削除」画面が表示されます。

5 **[OK]をタップする。**

手順 2 で選んだサービステンプレートが削除されます。

削除をやめたいときは、[OK]の代わりに[キャンセル]をタップします。

ログインスクリプトを作成する

ログインスクリプトとは、プロバイダへのログインを自動化するための、一連の命令文のことです。

ログインスクリプトには、ASCII 以外の文字やリテラル文字も使用できます。

➡ **詳しくは、**「ログインスクリプトで使用できる ASCII 文字以外の文字」（107 ページ）をご覧ください。

ご注意

別売りのモバイルコミュニケーションアダプターの種類によっては、作成する必要がない場合もあります。

➡ **お使いのクリエに対応するアクセサリーについて詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ（http://www.nccl.sony.co.jp/）をご覧ください。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。**

2 **使用するサービスをタップする。**

3 **[詳細]をタップする。**

4 **[スクリプト]をタップする。**

5 **[終了]の▼をタップして、目的のコマンドを選ぶ。**

コマンドに追加情報が必要な場合は、右側に入力欄が表示されます。ログインスクリプトは、以下のコマンドから選べます。

データ待ち	ダイヤルアップサーバーからの特定の文字を受信してから、次のコマンドを実行します。
プロンプト待ち	ダイヤルアップサーバーからのチャレンジプロンプトおよびレスポンスプロンプトを検索し、動的に生成したチャレンジ値を表示します。その後、トークンカードにチャレンジ値を入力してください。これにより、クリエに入力するレスポンス値が生成されます。このコマンドは 2 つの引数を取ります。入力行に、バー（｜）で区切って入力してください。

次のページにつづく

送信	ダイヤルアップサーバーに特定の文字を送信します。
改行を送信	ダイヤルアップサーバーにキャリッジリターン(CR)またはラインフィード(LF)を送信します。
ユーザ ID を送信	ネットワーク接続のためのユーザー名をダイヤルアップサーバーに送信します。
パスワードを送信	ネットワーク接続のためのパスワードをダイヤルアップサーバーに送信します。パスワードが未登録の場合は、このコマンドの実行時にパスワード入力画面が表示されます。通常はこのコマンドのあとに、「改行を送信」コマンドが続きます。
時間待ち	次のコマンドの実行まで、一定の時間(秒)の待機時間を設定します。
IP 取得	SLIP 接続時に、あらかじめ登録した IP アドレスを取得して、クリエの IP アドレスとして使用します。
プロンプト表示	パスワードやデータ保護コードなどの文字列を入力するための画面を表示します。
終了	ログインスクリプトの最後の行に挿入します。

6 **手順 5 を繰り返して、ログインスクリプトを完成します。**

7 **[OK]をタップする。**

「詳細」画面に戻ります。

8 **[OK]をタップする。**

「環境設定」画面の[ネットワーク]に戻ります。

ログインスクリプトで使用できる ASCII 文字以外の文字

ASCII 文字以外の文字を使用するカスタムログインスクリプトの作成のしかたについて説明します。この説明はカスタムログインスクリプトでこれらの文字の必要性と使いかたを理解している、上級ユーザー向けの情報です。

^char(文字)の使用

キャレット(^)を使って、ASCII コマンド文字を送信できます。

^char を送信する場合は、文字の ASCII コードが @ と _ の間であれば、自動的に 0 から 31 の 1 バイト値に変換されます。例えば、^M は、キャリッジリターンに変換されます。

文字が A から Z の間の場合、文字列が 1 から 26 までの 1 バイト値に変換されます。文字がその他の場合、文字列は特殊な処理の対象となりません。

キャリッジリターンとラインフィード

キャリッジリターンとラインフィードは、以下の書式で入力します。

- <cr>:キャリッジリターンを送受信します。
- <lf>:ラインフィードを送受信します。

例えば、文字列「waitfor joe<cr><lf>」は、リモートパソコンから joe、続いてキャリッジリターンとラインフィードを受信するのを待ってから、次のコマンドを実行します。

リテラル文字

\ マークは、次の文字がリテラル文字として送信されることを定義します。また、通常は文字に関連した特殊な処理の対象となりません。

例:

- \^:キャレットを文字列に含める。
- \<:< を文字列に含める。
- \\:\ を文字列に含める。

「環境設定」画面の[ネットワーク]のメニュー項目

「環境設定」画面の[ネットワーク]には、サービステンプレートの作成や編集を効率化するためのメニュー項目が用意されています。ここでは、「環境設定」画面の[ネットワーク]に固有のメニュー項目だけを説明します。
クリエのアプリケーションに共通のメニュー項目については、「共通メニュー項目」(38 ページ)をご覧ください。

[サービス]メニュー

新規	空白のテンプレートを新規作成し、[サービス]ドロップダウンリストに追加します。
削除	[サービス]ドロップダウンリストから、現在選んでいるサービステンプレートを削除します。
複製	現在選んでいるサービステンプレートを複製して、[サービス]ドロップダウンリストに追加します。

[オプション]メニュー

ログ表示	これまでのネットワーク接続の履歴を表示する、「ネットワーク ログ」画面を表示します。 接続の履歴を確認したら、[終了]をタップして「ネットワーク ログ」画面を閉じます。

アプリケーションボタンの割り当てを変更する

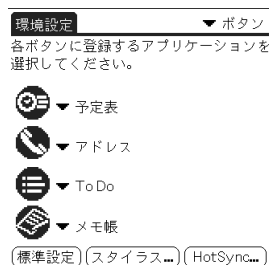
クリエのアプリケーションボタンに割り当てられているアプリケーションを、好みに合わせて変更できます。

例：予定表ボタンを押したときに、「電卓」を起動するように設定する。

アプリケーションボタンの位置は、機種によって違います。

➡ **詳しくは、**別冊「はじめにお読みください（取扱説明書）」の「各部のなまえとはたらき」をご覧ください。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ボタン]を選ぶ。

ボタンの登録画面が表示されます。

（画面は機種により異なる場合があります）

2 変更したいアプリケーションボタンの▼をタップして、ボタンに割り当てたいアプリケーションを選ぶ。

アプリケーションボタンの割り当てが変更されます。

元のアプリケーションを起動するときは

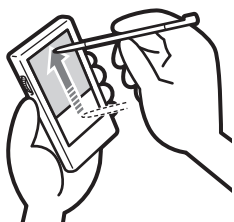
ボタンに別のアプリケーションを割り当てた場合は、ホーム画面から元のアプリケーションを起動します。

アプリケーションボタンの割り当てを初期設定に戻したいときは

前記の手順 2 で、[標準設定]をタップします。

すべてのアプリケーションボタンがお買い上げ時の設定に戻ります。

スタイラス操作により起動する機能を変更する

スタイラスをシルクスクリーン領域から画面の上端まで動かした際に起動する機能を変更できます。

スタイラスをシルクスクリーン領域から画面の上端まで動かす。

お買い上げ時の設定では、この操作を行ったときに選択されている手書き入力の方法のヘルプ画面が表示されるようになっています。

ヒント
ハードウェアキーボードの Ctrl キーを押しながら R キーを押しても、同じ機能を起動することができます。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ボタン]を選ぶ。

2 [スタイラス]をタップする。
「スタイラス」画面が表示されます。

3 [▼ Graffiti ヘルプ]をタップして、画面全体にスタイラスを動かしたときに起動したい機能を選ぶ。

バックライト	クリエのバックライトを点灯させます。電源ボタンを使わずに、バックライトの入/切を切り換えたいときに便利です。
明るさ	バックライトの明るさを調節するための画面を表示します。

キーボード	スクリーンキーボードを表示します。はじめて表示させたときはひらがなのキーボードを表示しますが、次回からは最後に使ったキーボードが表示されます。
Graffiti ヘルプ	現在選んでいる文字入力の方法（デクマ手書き入力または Graffiti 入力）のヘルプ画面を表示します。
電源オフ＆ロック	クリエの電源を切って、ロック状態に設定します。ロックされているクリエを起動するには、パスワードを入力する必要があります（ロック機能を利用するには、あらかじめパスワードを登録しておく必要があります）。 ➡**詳しくは、**「パスワードでデータを保護する」（199 ページ）をご覧ください。
赤外線通信	表示しているデータを別のクリエに赤外線送信します。

4 **［OK］をタップする。**

HotSync ボタンにアプリケーションを割り当てる

クレードルの HotSync ボタンと、モデムの HotSync ボタン(HotSync ボタンが付いている場合)にそれぞれ別のアプリケーションを割り当てられます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ボタン]を選ぶ。**

2 **[HotSync]をタップする。**

3 **変更するボタンの▼をタップして、ボタンに割り当てたいアプリケーションを選ぶ。**

4 **[OK]をタップする。**
「環境設定」画面の[ボタン]に戻ります。
HotSync ボタンを押すと、割り当てられたアプリケーションが起動します。

ユーザー辞書を登録する

クリエの辞書に登録されていない単語を登録できます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[ユーザー辞書]を選ぶ。**

2 **[登録]をタップする。**

「単語登録」画面が表示されます。

3 **読みと語句を入力する。**

4 **[OK]をタップする。**

入力した単語が登録され、登録した単語が日本語入力時の漢字変換に利用できます。

登録した単語を削除したいときは

1 **削除したい単語をタップして選んでから、[削除]をタップする。**

削除の確認画面が表示されます。

2 **[はい]をタップする。**

選んだ単語がユーザー辞書から削除されます。

ご注意

これは標準の日本語入力用の登録です。ATOK 用の登録は、「よく使う単語を登録する」(75 ページ)をご覧ください。

自動電源オフまでの時間を設定する

クリエは使用しない状態で一定の時間が経過すると、バッテリの消耗を節約するために、電源が自動的に切れるようになっています。
この自動的に電源が切れるまでの時間を、お使いのスタイルに合わせて変更できます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。**

2 **[自動オフまでの時間]の▼をタップして、設定したい時間を選ぶ。**
30 秒または 1 分、2 分、3 分から選べます。

3 **クリエをクレードルに取り付けている間は自動的に電源が切れないようにしたいときは、[クレードル上で常時オン]の □ をタップして ☑ にする。**

お買い上げ時の設定は

- 自動オフまでの時間:2 分
- クレードル上で常時オン: ☑

ご注意

クリエが自動ロックに設定されている状態では、[クレードル上で常時オン]の機能は無効となります。

➡ **ロックについて詳しくは、**「パスワードでデータを保護する」の「自動的にロックする」(204 ページ)をご覧ください。

各種の操作音の設定を変更する

システム音やアラーム音、ゲーム音などの、クリエを使用中に鳴る音の音量と音の入／切を変更できます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。**

2 **[システム音]の▼をタップして、好みの音量または[オフ]を選ぶ。**

[オフ]を選ぶと、HotSync 実行時のチャイム音も「切」になります。

3 **[アラーム音]の▼をタップして、好みの音量または[オフ]を選ぶ。**

4 **[ゲーム音]の▼をタップして、好みの音量または[オフ]を選ぶ。**

ゲーム音の設定は、この機能を利用しているゲームのみに適用されます。

LED の設定を変更する

「予定表」などのアプリケーションで、設定した時刻に LED を点滅させたりすることができます。アラーム音を[オフ]に設定すれば、まわりの人に迷惑をかけずに、アラーム機能を使用することができます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。**

2 **[LED 通知]の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。**

赤外線通信の受信を入／切する

赤外線通信の受信機能の入／切を切り換えられます。
赤外線通信の受信機能を「切」にすると、赤外線を使ったデータやアプリケーションの受信ができなくなりますが、クリエのバッテリの消耗を節約できます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[一般]を選ぶ。**

2 **[赤外線通信の受信]の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。**

- **オン**：赤外線通信の受信機能を「入」にします。
- **オフ**：赤外線通信の受信機能を「切」にします。

お買い上げ時の設定は

[オン]に設定されています。

日時/数値などの表示書式を設定する

地域ごとの標準設定で表示する

クリエを使用する地域を選ぶと、日時や週の開始日、数値の単位などをその地域ごとの一般的な書式に切り換えられます。例えば、[英国]を選ぶと時刻を 24 時間で表示し、[アメリカ]を選ぶと 12 時間単位で AM または PM をつけて表示します。
地域ごとの設定は、すべてのアプリケーションに適用されます。ただし日時などの各単位を、それぞれ好みに合わせてあとから調整することもできます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[書式]を選ぶ。**

2 **[地域]の▼をタップして、標準設定にしたい地域名を選ぶ。**

単位ごとに好みの書式を選ぶ

時刻や日付、週の開始日、数値の各単位の書式を、好みに合わせて選べます。これらの設定は、すべてのアプリケーションに適用されます。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[書式]を選ぶ。**

2 **[時刻]の▼をタップして、書式を選ぶ。**

3 **[日付]の▼をタップして、書式を選ぶ。**

4 **[週の開始]の▼をタップして、[日曜日]または[月曜日]のいずれかを選ぶ。**
この設定は、「予定表」の日表示、週表示、月表示など、カレンダーが表示されるすべての画面に適用されます。

5 **[数値]の▼をタップして、書式を選ぶ。**

通信機器の設定を追加／変更する

必要に応じてクリエに接続する通信機器の設定を追加／変更できます。通信機器を使用するアプリケーションは、この設定に従います。
別売りのモバイルコミュニケーションアダプターを使う場合は、設定内容の変更は不要です。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[接続]を選ぶ。**

2 **[新規]をタップする。**

既存設定を変更したい場合は、変更する設定項目をタップしてから、[編集]をタップしてください。

3 **[接続名]を入力する。**

区別しやすい名前を入力してください。

4 **[接続先]の▼をタップして、使用する接続先を選ぶ。**

5 **[媒体]の▼をタップして、使用する媒体を選ぶ。**

[接続先]にモデムを設定した場合は、次の項目も設定してください。

① [回線種別]の▼をタップして、使用する回線の種類を選ぶ。

通常は[プッシュ回線]を選びます。
[ダイヤル回線]は、使用する電話回線がプッシュ回線でないことを確認してから選んでください。

② [音量]の▼をタップして、接続時のモデムスピーカーの音量を選ぶ。

③ [詳細]をタップする。

④ [速度]の▼をタップして、モデムとクリエ間の通信の最高速度を選ぶ。

⑤ [フロー制御]の▼をタップして、モデム接続のフロー制御を選ぶ。

通常は[自動]を選びます。

⑥ [コマンド]欄に、モデム初期化コマンドを入力する。

特に指定がない限り「AT&FX4」と入力してください。

⑦ [OK]をタップする。

6 **[OK]をタップする。**

使用できる設定の一覧画面に戻ります。

日付／時刻を合わせる

日付と時刻の設定を変更します。また、地域名を選ぶことによって、簡単に現地時刻に合わせることができます。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[日付と時刻]を選ぶ。

2 [日付の設定]をタップする。

3 一番上にある年の横の◀または▶をタップして、年を合わせる。

4 現在の月をタップする。

5 現在の日付をタップする。

6 [時刻の設定]をタップする。

7 ▲または▼をタップして、時間表示を合わせる。

8 分のボックスをタップしてから▲または▼をタップして、分表示を合わせる。

9 [OK]をタップする。

使用する地域の時刻に合わせるには

クリエを使用する地域に合わせ、「タイムゾーンの設定」および「夏時間」の設定を変更することもできます。

タイムゾーンの設定を変更するには、「環境設定」画面の[日付と時刻]で[タイムゾーンの設定]の地域名をタップし、表示されたリストから地域を選びます。

夏時間の設定を変更するには、[夏時間]の▼をタップして[オン]または[オフ]を選びます。

パソコンとファイル／データを同期する（その他の HotSync）

クリエは、クレードルを使った HotSync だけでなく、赤外線などでも HotSync することができます。
別売りのモバイルコミュニケーションアダプター、携帯電話、PHS または CF 通信カードを用意すれば、外出先から自宅や職場のパソコンとモデム経由で HotSync することができます。

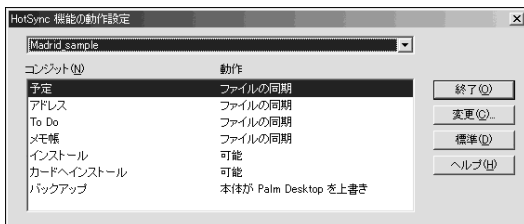
HotSync 時の動作を設定する（コンジット）

HotSync 時に各アプリケーションのデータを処理するプログラムを、「コンジット」と呼びます

「HotSync 機能の動作設定」画面で、「予定表は HotSync 時にクリエのデータを優先（パソコンに保存されているデータを上書き）」、「To Do は HotSync でデータを同期しない」などのように、それぞれのアプリケーションごとに設定を変更できます。標準設定では、クリエのアプリケーションと CLIE Palm Desktop ソフトウェア間ですべてのファイル／データが同期されるようになっています。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアには、それぞれのアプリケーションについてのコンジット以外にも、クリエ内のすべてのファイル／データのバックアップをとるコンジットや、HotSync 時にクリエに追加アプリケーションをインストールするためのコンジットが用意されていますので、必要に応じて選んでください。
コンジットの設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1　デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[動作設定]をクリックする。

または、CLIE Palm Desktop ソフトウェアの［HotSync］メニューから［動作設定］をクリックします。
「HotSync 機能の動作設定」画面が表示されます。

2　一番上のリストから、クリエで使用しているユーザー名をクリックする。

3　コンジットの一覧から、変更したいコンジットをクリックする。

4 [変更]をクリックする。

「HotSync機能の動作変更」画面が表示されます。

5 [ファイルを同期]または[Palm Desktopが本体を上書き]、[本体がPalm Desktopを上書き]、[何もしない]のいずれかをクリックする。

6 [OK]をクリックする。

7 手順2から6を繰り返して、その他のアプリケーション(またはユーザー)のコンジットを変更する。

8 [終了]をクリックする。

変更したコンジットの設定が有効になります。

ご注意

変更した設定が適用されるのは、設定を変更した直後のHotSync時だけです(HotSync後は、標準設定に戻ります)。選んだ設定を標準設定として登録したいときは、前記の手順5で画面の右にある[標準として保存]をクリックして、チェックをつけます。

標準設定をお買い上げ時の設定に戻したいときは

「HotSync機能の動作設定」画面で[標準]をクリックします。

外部ファイルを同期する（ファイルリンク）

HotSync 時にクリエの「アドレス」や「メモ帳」のデータと、パソコンで作成した住所録などのファイル（外部ファイル）とを同期できます（ファイルリンク）。
ファイルリンクで指定したパソコンのファイルは、クリエと CLIE Palm Desktop ソフトウェアのそれぞれに、単独のカテゴリーとして保存されます。外部ファイルが変更されたときにのみファイルリンクするように設定することもできます。

ファイルリンクで同期できるファイル形式

ファイルリンク機能を利用することで、以下の形式のファイルを HotSync 時に同期させられます。

- カンマ区切りテキスト（*.csv）
- Palm Desktop ソフトウェアのメモ帳アーカイブ（*.mpa）
- Palm Desktop ソフトウェアのアドレスアーカイブ（*.aba）
- テキスト（*.txt）

* カッコ内は拡張子です。なお、関連ファイルをひとまとまりにした単位を「アーカイブ」と呼びます。

➡ **ファイルリンクの設定方法について詳しくは、**CLIE Palm Desktop ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

HotSync マネージャの起動方法やHotSync の接続設定を変更する

1　デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから［起動／接続設定］を選ぶ。

「起動／接続設定」画面が表示されます。

2　［起動］タブをクリックして、必要に応じて設定を変更する。

適当な設定がわからない場合は、［常に有効］を選びます。

- **常に有効**：Windows の起動と同時に HotSync マネージャを起動します。CLIE Palm Desktop ソフトウェアを起動せずに HotSync できるので、便利です。
- **Palm Desktop を実行しているときのみ有効**：CLIE Palm Desktop ソフトウェアの起動と同時に、HotSync マネージャを起動します。
- **手動**：デスクトップ画面左下の［スタート］メニューから［HotSync マネージャ］を起動した場合のみ、HotSync マネージャを起動します。

3　［ローカル］タブをクリックして、必要に応じてパソコンとクレードル間の接続設定を変更する。

- **シリアルポート**：シリアルポートを使って HotSync する場合に使う、パソコンのポートを指定します。［モデム］タブのシリアルポートと共有することはできませんので、ご注意ください。
- **速度**：ファイル／データの転送速度を指定します。まず［最速］に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。付属のクレードルで HotSync する場合は、指定する必要はありません。

4　［モデム］タブをクリックして、必要に応じてモデムの設定を変更する。

➡ **それぞれの設定について詳しくは、**「モデム経由で HotSync する（モデム HotSync）」（133 ページ）をご覧ください。

5　［ネットワーク］タブをクリックして、必要に応じてネットワークの設定を変更する。

6　設定が終わったら、［OK］をクリックする。

赤外線で HotSync する

クリエの IrDA（Infrared Data Association）規格準拠の赤外線通信ポートを使って、パソコンと赤外線通信で HotSync できます。クレードルを持ち歩くことなくワイヤレスで HotSync できるので、クリエを持ち歩いて外出先で HotSync するようなときに便利です。

赤外線 HotSync 機能を実行する前に

以下の項目を確認してください。

- パソコンに IrDA 規格準拠の赤外線通信ポートがついている。
- 赤外線通信ポートを Windows で利用できるようになっている。
- 赤外線通信ポートのポート番号を確認する。
  赤外線通信ポートのポート番号を確認するには、Windows の「赤外線モニター」コントロールパネルを使います。

詳しくは、お使いのパソコンに付属の取扱説明書または Windows のヘルプをご覧ください。

パソコン側の準備をする

赤外線で HotSync するには、パソコンで赤外線通信を行うための仮想ポートを指定する必要があります。

Windows 2000 Professional/Windows XP をお使いの場合

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[赤外線]にチェックをつける。**

赤外線通信で HotSync できるように設定が変更されます。

Windows 98 Second Edition/Windows Me をお使いの場合

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ローカル シリアル]にチェックがついていることを確認する。**

2 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[起動/接続設定]をクリックする。**

「起動/接続設定」画面が表示されます。

3 **[ローカル]タブをクリックする。**

4 **必要に応じて、以下の設定を変更する。**

- **シリアルポート**：赤外線通信ポートが使用する、仮想ポートを指定します。接続先ポートがわからないときは、Windows のコントロールパネルの「赤外線モニター」で確認します。
- **速度**：ファイル/データの転送速度を指定します。まず[最速]に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。

5 **[OK]をクリックする。**

赤外線通信で HotSync できるように設定が変更されます。

ご注意

前記の操作を行って赤外線で HotSync するように設定を変更すると、クレードルを使って HotSync するときに、また元の設定に戻す必要があります。元の設定に戻すには、次ページの「クレードルで HotSync する設定に戻す」をご覧ください。

次のページにつづく

赤外線 HotSync する

パソコンとクリエの準備、ファイル／データの指定が終わったら、赤外線 HotSync を実行できます。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［HotSync］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

ヒント

［HotSync］アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

2 ［ローカル］をタップする。

3 ▼をタップして、［赤外線］を選ぶ。

4 クリエの赤外線通信ポートとパソコンの赤外線通信ポートを 10 〜 20cm 程度に近づけて置く。

機器間の相性によって最適な通信距離が異なる場合があります。距離を変えてお試しください。

5 アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

クレードルで HotSync する設定に戻す

赤外線で HotSync するように変更した設定を、クレードルを使って HotSync する設定に戻します。

1 パソコンにクレードルを接続する。

2 デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの［ローカル USB］にチェックがついていることを確認する。

Bluetooth™ で HotSync する
（Bluetooth 機能内蔵モデルのみ）

Bluetooth 機能対応のパソコンをお使いの場合、クレードルとパソコンを接続せずに、ワイヤレスで HotSync することができます。

準備が必要です

クリエと Bluetooth 機能対応のパソコンを使って、はじめて Bluetooth で HotSync するときは、クリエ側で Bluetooth 用の接続設定を作成し、HotSync するパソコンを登録する必要があります。

準備：クリエ側で Bluetooth 用の接続設定を作成する

ご注意

準備を始める前にパソコン側の Bluetooth 機能をオンにしてください。
操作について詳しくは、お使いのパソコンに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、［接続］を選ぶ。**

2 **［新規］をタップする。**

3 **［接続名］を入力する。**
HotSync するパソコンごとにわかりやすい名前を付けてください。初期設定では「カスタム」と入力されています。

4 **［接続先］の▼をタップして、［PC］を選ぶ。**

5 **［媒体］の▼をタップして、［Bluetooth］を選ぶ。**

6 **［デバイス］の［タップして選択］をタップする。**
クリエの周囲にある Bluetooth 機能対応機器の探索が始まります。
探索が終了すると、クリエの周囲にある Bluetooth 機能対応機器が表示されます。

次のページにつづく

ヒント

クリエから接続対象機器を 1 度探索したあと、接続対象機器の Bluetooth デバイス名を変更した場合は、次回のデバイス探索で古いデバイス名が表示されることがあります。

この場合は、次の手順で操作してください。

① Bluetooth の設定画面（94 ページ）を開き、メニュー アイコンをタップする。

② [オプション]メニューの[デバイス名キャッシュの無効化]をタップする。

③ 再度デバイス探索を行う。

7 登録したいパソコンを選択し、[OK]をタップする。

[登録済みデバイスの追加]が表示されます。

8 [はい]をタップする。

クリエに「Bluetooth セキュリティ」画面が表示されます。

9 クリエでパスキーを入力し、[OK]をタップする。

選択したパソコンにも「パスキー入力」画面が表示されます。

ヒント

パスキーとは

パスキーは、2 台の Bluetooth 機能対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号です。パスキーには特に指定は無く、ユーザーの好きな文字列を選んで入力することができます。

パスキーは半角の英数字で入力してください。日本語はパスキーに指定できません。

同一の英数字列を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。お互いに同じ英数字列を入力さえすれば、毎回異なったパスキーを用いても構いません。なお、1 度接続が許可されると、あらかじめ設定された期間内はパスキーを入力しなくても接続できます。

10 手順 9 と同じパスキーをパソコンで入力する。

「使用できる設定：」の一覧に手順 3 で入力した接続名が追加されていれば、準備は完了です。

ヒント

- Bluetooth 機能対応機器によっては、「パスキー入力」の画面表示順が前記の操作手順と異なる場合や画面が表示されない場合があります。表示された画面に従って、必要に応じてパスキーの入力を行ってください。
- 電波状況により探索、接続に時間がかかる場合があります。
- Bluetooth 機能対応機器の探索に時間がかかるような場合は探索画面で[キャンセル]をタップし、もう 1 度探索し直してください。
  また探索の結果、HotSync したい Bluetooth 機能対応のパソコンが見つからなかった場合はもう 1 度探索し直してください。

Bluetooth で HotSync を実行する

1 **パソコン側の Bluetooth 機能をオンにする。**

2 **パソコンでデスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)に アイコンがあることを確認する。**

ヒント

デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)に アイコンが表示されていない場合は、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム](Windows XP では[すべてのプログラム])-[Sony CLIE]-[HotSync マネージャ]の順にクリックして、HotSync マネージャを起動します。

3 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「HotSync」画面が表示されます。

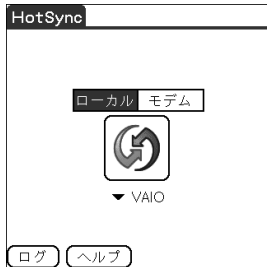
ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

4 **[ローカル]が選択されていることを確認する。**

次のページにつづく

5 アイコン下の▼をタップして、使用する接続を選ぶ。

「準備:クリエ側で Bluetooth 用の接続設定を作成する」(129 ページ)の手順 3 で設定した接続名を選択してください。

6 アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

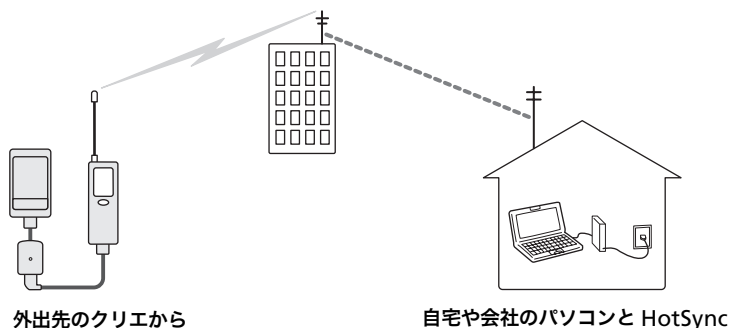
HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

ヒント

クリエとパソコンの Bluetooth 接続は、HotSync が終了すると自動的に切断されます。

モデム経由で HotSync する（モデム HotSync）

外出先からモデム経由で HotSync することもできます。長期の出張中などに、外出先からクリエのファイル／データをパソコンにバックアップしておきたいときなどに便利です。

外出先のクリエから　　**自宅や会社のパソコンと HotSync**

ご注意

- はじめて HotSync するときは、86 ページの手順に従ってクレードルを使って HotSync する必要があります。
- あらかじめ 137 ページの手順に従って、モデム経由で HotSync するアプリケーションを指定しておくと、通信時間を節約できます。設定によっては、HotSync に数十分かかることがありますのでご注意ください。

モデム HotSync 機能を実行する前に

以下の項目を確認してください。

- パソコンにモデムまたはターミナルアダプター（TA）が接続されている。
- クリエと別売りのモバイルコミュニケーションアダプター、携帯電話、PHS または CF 通信カードが正しく接続されている。
- CLIE Palm Desktop ソフトウェアでモデムの設定が完了している。
  - ➡ **詳しくは、**「HotSync マネージャの起動方法や HotSync の接続設定を変更する」（125 ページ）をご覧ください。

また、モデム経由で HotSync するには、電話回線からの呼び出しをパソコンで受信できるように、外出前にパソコンとクリエに準備をする必要があります。次の手順に従って準備してください。

次のページにつづく

パソコン側の準備をする

1 **以下の項目を確認する。**

- パソコンにモデムが接続され、パソコンとモデムの両方に電源が入っている。
- モデムが電話回線に接続されている。
- 通信ポートを使用する通信ソフトウェア（電話、ファックス送受信ソフトウェアなど）をすべて終了させている。
- インターネットなどへの接続はすべて切断している。

2 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[モデム]にチェックをつける。**

3 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[起動／接続設定]をクリックする。**

「起動／接続設定」画面が表示されます。

4 **[モデム]タブをクリックする。**

5 **必要に応じて、以下の設定を変更する。**

- **シリアルポート**：パソコンのモデムの接続先ポートを指定します。接続先ポートがわからないときは、Windows のコントロールパネルの「モデム」（Windows 2000 Professional/Windows XP をお使いの場合は「電話とモデムのオプション」）で確認します。
- **速度**：ファイル／データの転送速度を指定します。まず[最速]に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。

- **モデム**：モデムの機種または製造元を指定します。お持ちのモデムがわからない場合や機種が表示されない場合は、[Hayes Basic]を選びます。
- **初期化コマンド**：使用するモデムの機種または製造元を指定すると、モデムの初期化コマンドは自動的に設定されます。正常に動作しない場合は、お使いのモデムの取扱説明書をご覧ください。

6 **[OK]をクリックする。**

クリエ側の準備をする

続いて、クリエ側で以下の準備を行います。

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「HotSync」画面が表示されます。

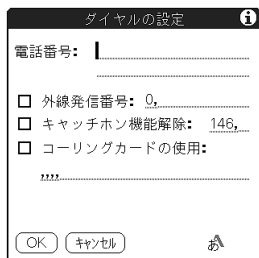
ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

2 **[モデム]をタップする。**

次のページにつづく

3　モデム名の下に表示されている［電話番号の入力］をタップする。

「ダイヤルの設定」画面が表示されます。

4　必要に応じて設定を変更する。

※電話番号を入力したら、必要に応じて下記の項目を設定してください。

CF 通信カードや携帯電話／ PHS 経由で HotSync する場合

パソコンを接続しているモデムの電話番号を入力します。

パソコンのモデムまたはターミナルアダプター（TA）に適した回線での接続（PTE 経由など）が必要な場合があります。

詳しくは、モデムまたはターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

一般の電話回線経由で HotSync する場合

① 電話番号：パソコンを接続しているモデムの電話番号を入力します。

② 外線発信番号：

必要に応じて「0」などの外線用発信番号を入力し、［外線発信番号］の ☐ をタップして、☑ にします。

また、入力欄にカンマ記号（, ）を入力して、無音時間を設定することもできます。例えば、外線を使用して電話をかける場合は、通常は外線に接続するまでに数秒の無音時間があります。外線発信番号の後にカンマを挿入することにより、この時間を補正できます。1 つのカンマで、2 秒間の無音時間を設定できます。

③ キャッチホン機能解除：

クリエ側で使用する電話回線にキャッチホン機能がある場合は、HotSync が中断されないように［キャッチホン機能解除］の ☐ をタップして ☑ にします。

キャッチホン機能の解除のしかたについて詳しくは、モデムの取扱説明書をご覧ください。

④ **コーリングカードの使用：**

アメリカ合衆国でコーリングカードを使って電話する場合は、［コーリング カードの使用］の □ をタップして ☑ にしてから、コーリングカード番号を入力します。

ご注意

日本国内では、画面に表示されている［コーリング カードの使用］オプションは使用できません。また、アメリカ合衆国で使用する場合、「ダイヤルの設定」画面の設定は、AT&T と Sprint の長距離サービスでのみ正しく動作します。MCI では動作が異なるので、MCI を利用する場合は、［電話番号］入力欄にはコーリングカード番号、［コーリング カードの使用］入力欄には電話番号を入力する必要があります。

5 ［OK］をタップする。

「HotSync」画面に戻ります。

モデム経由で HotSync するファイル／データを指定する

あらかじめクリエの「コンジットの設定」画面で、モデム経由で HotSync するときに同期させるファイル／データを選んでおくと、HotSync の所要時間を短縮できます。

➡ **詳しくは、**「HotSync 時の動作を設定する（コンジット）」（122 ページ）をご覧ください。

ご注意

パソコンの「HotSync 機能の動作設定」画面と設定が異なっている場合は、以下の手順で行ったクリエ側の設定が優先されます。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［HotSync］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

ヒント

［HotSync］アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

2 メニュー アイコンをタップする。

次のページにつづく

3 **［オプション］メニューの［コンジットの設定］をタップする。**

「コンジットの設定」画面が表示されます。

4 **モデム経由の HotSync で同期させる必要のないファイル／データの ☑ をタップして、□ にする。**

標準設定では、すべてのファイル／データが同期するように設定されています（すべての □ が ☑ になっています）。なお、ゲームのようにデータベースを使用しないアプリケーションのデータは同期されません。

5 **［OK］をタップする。**

変更した設定が有効になります。

モデム HotSync する

パソコンとクリエの準備、ファイル／データの指定が終わったら、モデム HotSync を実行できます。

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［HotSync］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「HotSync」画面が表示されます。

ヒント

［HotSync］アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

2 **アイコンをタップする。**

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

電話回線を利用してLAN(ネットワーク)経由でHotSyncする(ネットワークHotSync)

ネットワーク HotSync を実行するためには、お使いのパソコンやネットワーク環境について管理者レベルのスキルが必要です。ネットワーク管理者とご相談の上、ご利用ください。

外出先から、電話回線を利用して会社の LAN(ネットワーク)に接続して HotSync することもできますが、会社のネットワーク環境によっては不可能な場合もあります。詳しくは LAN(ネットワーク)の管理者にお問い合わせください。

ネットワーク HotSync 機能を実行する前に

以下の項目を確認してください。

- 会社の LAN(ネットワーク)とリモートアクセスサーバーが TCP/IP に対応している。
- LAN(ネットワーク)に接続するためのリモートアクセスアカウントを持っている。

また、ネットワーク HotSync を行うには、HotSync するパソコンを特定するための情報をあらかじめクリエに転送し、クリエで HotSync 機能の設定をしておく必要があります。
次の手順に従って設定してください。

パソコン側の準備をする

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ネットワーク]にチェックをつける。**

2 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ(通知領域)の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから[起動/接続設定]をクリックする。**

「起動/接続設定」画面が表示されます。

3 **[ネットワーク]タブをクリックする。**

次のページにつづく

4 HotSync するユーザー名の □ をクリックして ☑ にする。

必要に応じて、［TCP/IP の設定］をクリックし、サブネット マスクの設定を行ってください。

なお、パソコンのサブネット マスク アドレスを確認する方法については、お使いのパソコンに付属の取扱説明書または Windows のヘルプをご覧になるか、LAN（ネットワーク）の管理者にお問い合わせください。

5 ［OK］をクリックする。

6 クリエをクレードルに取り付け、HotSync を行う。

設定したパソコンの情報（プライマリパソコン名とプライマリパソコンのアドレス（IP アドレス））をクリエに転送します。

ネットワーク経由で HotSync するとき、この情報を元に HotSync するパソコンを特定します。

クリエ側の準備をする

続いて、クリエ側で以下の準備を行います。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［HotSync］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

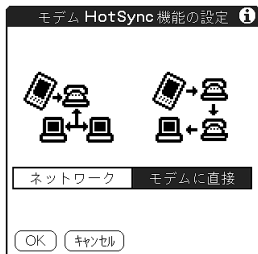
ヒント

［HotSync］アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

2 ［モデム］をタップする。

3 メニュー アイコンをタップする。

4 ［オプション］メニューから、［モデム HotSync の設定］をタップする。

「モデム HotSync 機能の設定」画面が表示されます。

5 **[ネットワーク]をタップする。**

6 **[OK]をタップする。**

「HotSync」画面に戻ります。

7 **アイコンの下の[サービスの選択]をタップする。**

「環境設定」画面の[ネットワーク]が表示されます。

8 **[サービス]の▼をタップして、リストから[Unix]または[Windows RAS]を選ぶ。**

設定について詳しくは、「ネットワーク接続設定を編集する」(99 ページ)をご覧の上、LAN(ネットワーク)の管理者にお問い合わせください。

9 **[終了]をタップする。**

10 **[電話番号の入力]をタップする。**

「ダイヤルの設定」画面が表示されます。

11 **必要に応じて設定を変更する。**

12 **[OK]をタップする。**

「HotSync」画面に戻ります。

次のページにつづく

13 「モデム経由で HotSync するファイル／データを指定する」（137 ページ）の手順に従って、同期させるファイル／データを選ぶ。

ネットワーク HotSync したときに同期させるファイル／データをあらかじめ選んでおくと、HotSync の所要時間を短縮できます。

ネットワーク HotSync する

パソコンとクリエの準備、ファイル／データの指定が終わったら、ネットワーク HotSync を実行できます。

ご注意

クリエと別売りのモバイルコミュニケーションアダプターが正しく接続されていることを確認してください。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

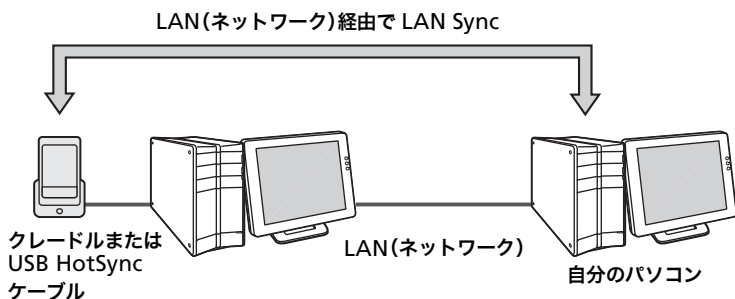
2 アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

LAN(ネットワーク)経由で HotSync する(LAN Sync)

LAN Sync を実行するためには、お使いのパソコンやネットワーク環境について管理者レベルのスキルが必要です。ネットワーク管理者とご相談の上、ご利用ください。

LAN(ネットワーク)につながっている他のパソコンにクリエを接続して、自分のパソコンに HotSync することができます。社内の他の部署にいながら、自分のパソコンに HotSync したいときなどに便利です。

LAN Sync 機能を実行する前に

以下の項目を確認してください。

- LAN(ネットワーク)でつながっている 2 台のパソコンに、それぞれ CLIE Palm Desktop がインストールされている。

また、LAN Sync を行うには、HotSync するパソコンを特定するための情報をあらかじめクリエに転送し、クリエの LANSync 機能の設定をしておく必要があります。

次の手順に従って設定してください。

次のページにつづく

パソコン側の準備をする

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの［ネットワーク］にチェックをつける。**

2 **デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから［起動／接続設定］をクリックする。**

「起動／接続設定」画面が表示されます。

3 **［ネットワーク］タブをクリックする。**

4 **HotSync するユーザー名の □ をクリックして ☑ にする。**

5 **［OK］をクリックする。**

6 **クリエをクレードルに取り付け、HotSync を行う。**

設定したパソコンの情報（プライマリパソコン名とプライマリパソコンのアドレス（IP アドレス））をクリエに転送します。

LAN（ネットワーク）経由で HotSync するとき、この情報を元に HotSync するパソコンを特定します。

クリエ側の準備をする

続いて、クリエ側で以下の準備を行います。

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「HotSync」画面が表示されます。

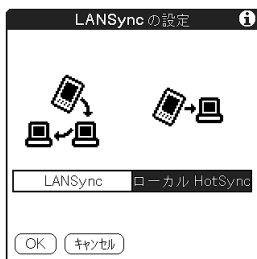
ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

2 **[ローカル]をタップする。**

3 **メニュー アイコンをタップする。**

4 **[オプション]メニューから、[LANSync の設定]をタップする。**

「LANSync の設定」画面が表示されます。

5 **[LANSync]をタップする。**

6 **[OK]をタップする。**

「HotSync」画面に戻ります。

次のページにつづく

LAN Sync する

パソコンとクリエの準備、ファイル／データの指定が終わったら、LAN Sync を実行できます。クリエをクレードルまたは USB HotSync ケーブルでパソコンに接続したあと、クリエを接続したパソコンと HotSync するパソコンの電源を入れ、HotSync マネージャを起動させておいてください。

ご注意

クリエを接続したパソコンと HotSync するパソコンの両方が、LAN Sync 用に設定されている必要があります。両方のパソコンで、デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューの[ネットワーク]にチェックがついていることを確認してください。チェックがついていなければ、チェックをつけてください。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[HotSync]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「HotSync」画面が表示されます。

ヒント

[HotSync]アイコンをタップして、「HotSync」画面を表示することもできます。

2 アイコンをタップする。

HotSync が始まります。

HotSync が終了すると、HotSync の完了を示すメッセージが表示されます。

“メモリースティック”などの記録メディアを使う

この章では、“メモリースティック”などの記録メディアを使って、仲間とアプリケーションやデータなどの情報を交換する方法について説明します。また、“メモリースティック”の取り扱いかたや、記録メディア内の情報を管理する「CLIE Files」についても説明しています。

“メモリースティック”などの記録メディアを使う

本機で使える記録メディアについて

本機では、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュ型メモリーカード(以降、CF メモリーカードと呼びます)などの記録メディアに対応しています。
“メモリースティック”や CF メモリーカード対応機器間でファイル/データをやり取りするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアとしてファイル/データの保存にもお使いいただけます。
これらの記録メディアを使って、クリエ間やパソコンとのファイル/データのやり取りを簡単に行えます。クリエでは記録メディアのファイル/データをやり取りするために、付属の専用アプリケーション「CLIE Files(クリエ ファイルズ)」を使います。

“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”には、一般の“メモリースティック”と著作権保護技術(マジックゲート*)を搭載したタイプの“メモリースティック”があります。本機ではマジックゲート搭載の“メモリースティック”と一般の“メモリースティック”のどちらもご使用いただけます。
本機で ATRAC3 形式の音楽ファイルの再生を楽しむには、マジックゲートを搭載した“メモリースティック”を使う必要がありますので、ご注意ください。

* MagicGate(マジックゲート)とは?

マジックゲートは、マジックゲート搭載の“メモリースティック”と対応機器(クリエなど)に搭載している著作権保護技術です。対応機器と“メモリースティック”の間でお互いが著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、ファイル/データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるファイル/データは再生できません。

また、本機では“メモリースティック　デュオ”、“マジックゲート メモリースティック　デュオ”、“メモリースティック PRO**”もご使用いただけます。

** 本機は、以下の“メモリースティック PRO”製品に対応しております。
製品名：MSX-1G、MSX-512、MSX-256
ただし，著作権保護機能（MagicGate 機能）には対応しておりません。

➡ **対応している“メモリースティック”の最新情報について詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページをご覧ください。ネットコミュニケーションカスタマーリンクについては、この冊子の裏表紙をご覧ください。

“マジックゲート メモリースティック”についてのご注意

「CLIE Files」や Windows のエクスプローラなどで“マジックゲート　メモリースティック”に記録した音楽ファイルなど、著作権保護されたファイルやディレクトリを操作すると、著作権保護されたファイルが無効となって使えなくなる場合があります。
著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、「SonicStage」などの著作権保護されたファイルに対応したソフトウェアをお使いください。

ご注意

“メモリースティック　デュオ”をクリエでお使いの場合は

- “メモリースティック　デュオ”は、必ず“メモリースティック　デュオ”アダプターに挿入してお使いください。
- “メモリースティック　デュオ”を“メモリースティック　デュオ”アダプターに挿入するときは、正しい挿入方向をご確認ください。
- “メモリースティック　デュオ”アダプターは“メモリースティック　デュオ”が挿入されていない状態で、クリエの“メモリースティック”スロットに挿入しないでください。
- “メモリースティック　デュオ”アダプターをクリエの“メモリースティック”スロットに挿入するときは、正しい挿入方向をご確認ください。

“メモリースティック”使用上のご注意

“メモリースティック”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “メモリースティック”の端子部に手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 大切なファイル／データはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- ファイル／データの読み込み中や書き込み中に“メモリースティック”を抜かないでください。
- 下記の場合、記録したファイル／データが消えたり壊れたりすることがあります。
  - 読み込み中や書き込み中、初期化中に“メモリースティック”を抜いた場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- クリエのバッテリ残量が少ないときは、“メモリースティック”を入れると警告メッセージが表示されます。
- バッテリ残量が少ないときは“メモリースティック”でファイル／データをやり取りすることはできません。クリエに AC パワーアダプターを接続するか、充分に充電してから行ってください。
- クリエで使用する“メモリースティック”はクリエの「CLIE Files」から初期化してください。クリエ以外で初期化された“メモリースティック”は正しく動作しない場合があります。
- クリエ以外で初期化した“メモリースティック”を入れると、「フォーマットしますか」という確認の画面が表示される場合があります。
  フォーマットした場合、クリエで使えるようになりますが、ファイル／データはすべて消去されますのでご注意ください。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。

ファイル／データを書き込み禁止にする

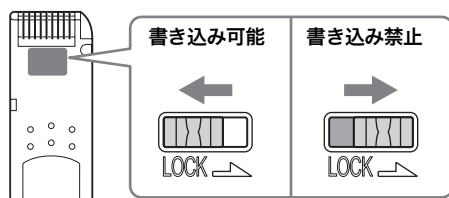
大切なファイル／データを誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを動かして、“メモリースティック”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

書き込み可能

ファイル／データの書き込みが可能な状態です。ファイル／データを“メモリースティック”に記録したいときは、書き込み可能な状態にしておきます。

書き込み禁止

タブを矢印の方向に動かすと、書き込み禁止の状態になります。ファイル／データの読み出しはできますが、書き込みはできません。ファイル／データを書き込んだり、削除したくない“メモリースティック”をクリエの“メモリースティック”スロットに入れてファイル／データを読み込むときなどには、書き込み禁止にしておきます。

“メモリースティック”裏面

ヒント

タブの位置や形状は、“メモリースティック”により異なる場合があります。

記録メディア内のアプリケーションを起動する

記録メディア内のアプリケーションも、クリエ本体のアプリケーションと同様に起動させることができます。クリエの電源が入っているときは、記録メディアを挿入すると自動的に記録メディア内のアプリケーションが、ホーム画面に表示されます。（一部のアプリケーションの動作時は表示されません。）
ホーム画面から記録メディア内のアプリケーションを表示する画面に切り換えるには、下記の手順で行います。

ヒント
下記の手順で起動できるアプリケーションは、記録メディアの「/Palm/Launcher」フォルダに保存されているアプリケーションのみです。

1 **記録メディアをクリエに入れる。**

2 **ホーム画面で BACK ボタンを押して、グループを選択できるようにする。**

3 **ジョグダイヤルを回して[カード]を選択する。**
記録メディアの「/Palm/Launcher」フォルダに保存されているアプリケーションが表示されます。
クリエ本体のアプリケーションと同様の方法で起動できます。
[カード]は、記録メディアに名前をつけてあると、その名前で表示されます。

ヒント
[カード]アイコンをタップして選択することもできます。

ご注意

アプリケーションによっては、記録メディアから起動すると一部の機能に不具合が起きることがあります。その場合は、「CLIE Files」でクリエ本体にアプリケーションをコピーしてからお使いください。

記録メディアの情報を確認する（カード情報）

「カード情報」を使って、記録メディアの使用領域や空き領域などの情報を確認することができます。

1 記録メディアをクリエに入れる。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[カード情報]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

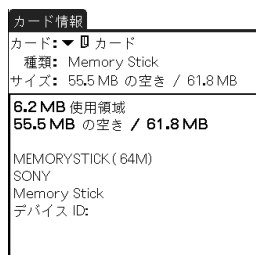
「カード情報」が起動します。

ヒント

[カード情報]アイコンをタップして、起動することもできます。

3 [カード]の▼をタップして、情報を確認したい記録メディアを選ぶ。

記録メディアの情報が表示されます。

カード情報
カード：▼ カード
種類： Memory Stick
サイズ： 55.5 MB の空き / 61.8 MB
6.2 MB 使用領域
55.5 MB の空き / 61.8 MB
MEMORYSTICK（64M）
SONY
Memory Stick
デバイス ID:

記録メディアに名前をつける

「カード情報」を使って記録メディアに名前をつけることもできます。

1 記録メディアをクリエに入れる。

次のページにつづく

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[カード情報]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「カード情報」が起動します。

3 **[カード]の▼をタップして、名前をつけたい記録メディアを選ぶ。**

4 **メニュー アイコンをタップする。**

メニューが表示されます。

5 **[カード]メニューの[カード名の変更]をタップする。**

「カード名の変更」画面が表示されます。

6 **新しい名前を入力し、[カード名の変更]をタップする。**

記録メディアを初期化する(フォーマット)

“メモリースティック”はすでに初期化(フォーマット)されており、すぐにお使いになれます。CF メモリーカードはクリエで初期化してからお使いください。クリエで記録メディアを初期化するには、「CLIE Files」または「カード情報」を使います。

ここでは、「CLIE Files」を使った初期化の手順について説明します。

1 **記録メディアをクリエに入れる。**

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「CLIE Files」が起動します。

ヒント

[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

3 画面右上の▼をタップして、初期化したい記録メディアを選ぶ。

ヒント

画面左にある またはアイコンをタップして記録メディアを選ぶこともできます。

4 メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

5 [ツール]メニューの[フォーマット]をタップする。

「名前の入力」画面が表示されます。

"メモリースティック"とCFメモリーカードの両方がクリエに入っている場合は、記録メディアを選ぶ画面が表示されます。

初期化したい記録メディアを選んでください。

6 新しい名前を入力し、[OK]をタップする。

「確認」画面が表示されます。

7 [OK]をタップする。

記録メディアの初期化をやめるときは

前記の手順6で[OK]の代わりに[キャンセル]をタップします。

初期化(フォーマット)とは

初期化(フォーマット)とは、お使いのクリエで記録メディアにファイル/データを読み書きできる状態にすることです。

ご注意

- すでにファイル/データが書き込まれている記録メディアを初期化すると、そのファイル/データは消去されてしまいます。誤って大切なファイル/データを消すことがないようにご注意ください。
- クリエで使う記録メディアを初期化するときは、必ずクリエで初期化してください。パソコンで初期化した記録メディアをクリエで使うと、ファイル/データを正常に読み書きできない場合があります。
- 初期化中に記録メディアを抜き差しすると、記録メディアは認識されません。記録メディアを入れ直してから、もう1度初期化してください。

記録メディアでファイル／フォルダを交換する

「CLIE Files（クリエファイルズ）」を起動する

「CLIE Files」を使って、記録メディアとクリエ本体のファイル／フォルダをコピー、移動、削除できます。

➡ **「CLIE Files」について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「CLIE Files」をご覧ください。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「CLIE Files」が起動します。

ヒント

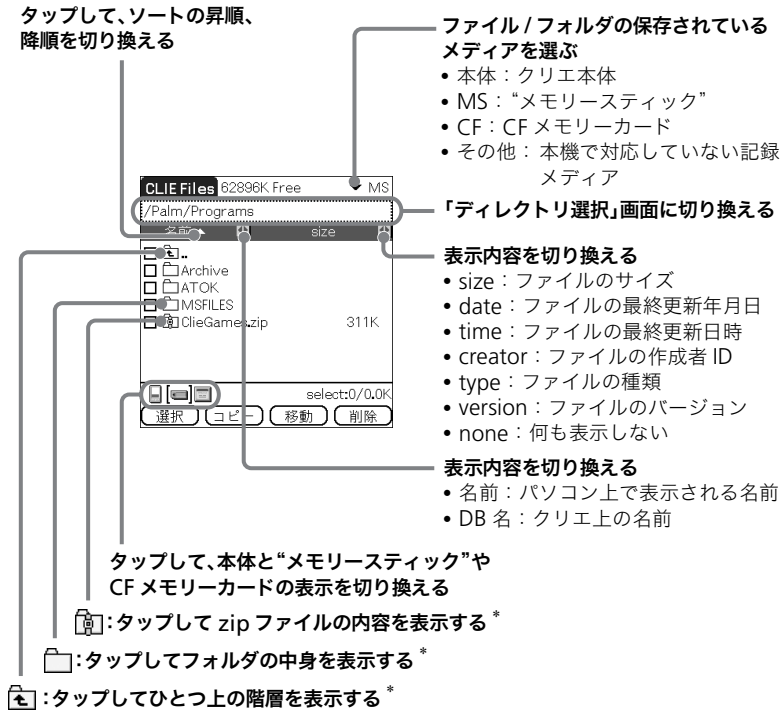
[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

2 画面右上の▼をタップして、[本体]または記録メディアを選ぶ。

選んだメディア内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。

ヒント

画面左にある、またはアイコンをタップして、メディアを選ぶこともできます。

記録メディア内のファイル/フォルダを表示しているとき

* 、 と アイコンは、記録メディア内を表示しているときに特有のものです。このアイコン以外については、「本体内のファイルを表示しているとき」と同様です。また、ジョグダイヤルを回してフォルダを選ぶことができます。

ヒント

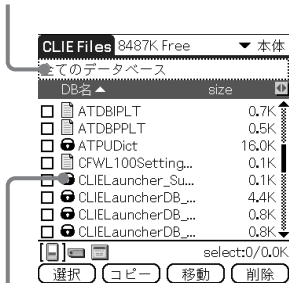
「ディレクトリ選択」画面でフォルダを選び、[OK]をタップすると選んだフォルダを表示します。また、[新規]をタップして新しいフォルダを作成したり、[リネーム]をタップしてすでにあるフォルダの名前を変更することもできます。

次のページにつづく

ご注意

- ディレクトリが 9 階層以上になる場合は階層表示されません。
- インストールのしかたによっては、クリエ本体に保存されたデータベースの最終更新日が正しく表示されない場合があります。
- クリエのバッテリ残量が少ないと、記録メディア内のファイル/フォルダを表示できない場合があります。その場合はクリエを充電するか、AC パワーアダプターを接続してください。

クリエ本体内のファイルを表示しているとき

データベースの表示を種類別に切り換える
- 全てのデータベース
- クリエータグループ
- アプリケーション

コピー不可アイコン

「CLIE Files」でファイルを移動または削除するときのご注意

一部のファイルを「CLIE Files」で移動または削除すると、クリエ本体内のアプリケーションが動作しなくなったり、データが初期化されてしまう場合があります。お客様がファイルの一部を削除された場合にはそのアプリケーションおよびクリエ本体のデータ内容に関して保証いたしませんのでご注意ください。

特に、以下のファイルはクリエから移動または削除しないでください。

- **Saved Preference**:さまざまなアプリケーションの最終動作状態や設定が保存されています。
- **Unsaved Preference**:さまざまなアプリケーションの設定状態や、クリエ本体のユーザー情報などが保存されています。削除すると、情報を正しく HotSync できなくなる可能性があります。

- **CLIELauncherXXX**: CLIE Launcher 用のデータベースファイル。
  削除すると、CLIE Launcher を正しく起動できなくなる場合があります。
- **NetworkDB**：ネットワーク設定のデータベースファイル。削除すると、インターネット接続などができなくなります。
- **AddressDB**：「アドレス」のデータベースファイル *
- **DatebookDB**：「予定表」のデータベースファイル *
- **MemoDB**：「メモ帳」のデータベースファイル *
- **ToDoDB**：「To Do」のデータベースファイル *

* これらのデータベースファイルは、記録メディアにコピーしてバックアップすることができます。ただし、バックアップしたファイルをクリエ本体に戻すと、クリエに保存されているファイルはバックアップをとった時点の情報で上書きされます。バックアップ後にクリエで追加、編集した情報は消えてしまいますので、ご注意ください。

ご注意

クリエのバッテリ残量が少ないと、記録メディア内のファイル／フォルダを表示できない場合があります。その際はクリエを充電するか、AC パワーアダプターを接続してください。

クリエのファイル／フォルダを記録メディアにコピーする

HotSync でパソコンにファイル／フォルダを保存するだけでなく、「CLIE Files」を使ってクリエ内のファイル／フォルダを記録メディアに保存できます。

ご注意

- ファイル／フォルダのコピーは電力を消費するため、バッテリ残量が少ないときは記録メディアが使えません。その場合は AC パワーアダプターをつないで操作してください。
- ファイル／フォルダのコピーまたは移動中に赤外線通信を受信すると、コピーが中断されます。コピーしている間は、赤外線を受信しないでください。
- 記録メディアは、あらかじめクリエ本体に挿入しておいてください。また、ファイル／フォルダのコピーまたは移動中は絶対に記録メディアを取り出さないでください。
- コピーまたは移動が中断されると、無効なファイルがコピー先または移動先に残っている場合があります。再度同じ操作を行ったときに上書きを確認する画面が表示された場合は、[はい]または[すべて上書き]をタップしてください。

1 記録メディアをクリエに入れる。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「CLIE Files」が起動します。

ヒント

[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

3 画面右上の▼をタップして、[本体]を選ぶ。

クリエ本体内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。

4 コピーしたいファイル／フォルダの□ をタップして☑ にする。

複数のファイル／フォルダをタップして選ぶこともできます。

ご注意

（コピー不可）アイコンのついているファイル／フォルダはコピーできません。

5 [コピー]をタップする。

「ディレクトリ選択」画面が表示されます。

6 記録メディアのフォルダをタップして選ぶ。

記録メディアに新しくフォルダを作りたい場合は[新規]をタップしてフォルダ名を入力したあと、作成されたフォルダをタップしてください。

[リネーム]をタップして、すでにあるフォルダの名前を変更することもできます。

7 [OK]をタップする。

手順 6 で選んだ場所にファイル／フォルダがコピーされます。

すべてのファイル／フォルダをまとめてコピーしたいときは

前記の手順 4 で[選択]をタップして[全て選択]をタップします。

ファイル／フォルダの選択を解除したいときは

- **すべて解除したいとき**：[選択]をタップして[選択解除]をタップします。
- **選んだものだけ解除したいとき**：選んだファイル／フォルダをもう 1 度タップします。

次のページにつづく

指定したファイル／フォルダ以外を選びたいときは

前記の手順４のあとに[選択]をタップして[選択反転]をタップします。☑と☐の選択が反転します。

クリエのファイル／フォルダを記録メディアに移動したいときは

クリエのメモリの空き容量が少なくなっている場合には、ファイル／フォルダをコピーするのではなく、記録メディアに移動すると便利です。

1 前記の手順５で[移動]をタップする。

クリエ内のファイル／フォルダが記録メディア内に移動し、保存されます。

記録メディアのファイル／フォルダをクリエにコピーする

記録メディアに保存してあるファイル／フォルダを、「CLIE Files」を使ってクリエ本体にコピーできます。コピー前に、クリエ本体のメモリの空き容量を確認してください。

ヒント

記録メディア内の別のフォルダへコピーすることもできます。

1 記録メディアをクリエに入れる。

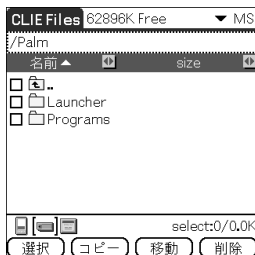
2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して [CLIE Files] アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「CLIE Files」が起動します。

ヒント

[CLIE Files] アイコンをタップして、起動することもできます。

3 画面右上の▼をタップして、記録メディアを選ぶ。

記録メディア内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。

4 コピーしたいファイル／フォルダの□ をタップして☑ にする。

複数のファイル／フォルダをタップして選ぶこともできます。

5 [コピー]をタップする。

「ディレクトリ選択」画面が表示されます。

6 [本体]を選ぶ。

7 [OK]をタップする。

クリエ本体にファイル／フォルダがコピーされます。

すべてのファイル／フォルダをまとめてコピーしたいときは

前記の手順 4 で[選択]をタップして[全て選択]をタップします。

ファイル／フォルダの選択を解除したいときは

- **すべて解除したいとき**：[選択]をタップして[選択解除]をタップします。
- **選んだものだけ解除したいとき**：選んだファイル／フォルダをもう 1 度タップします。

コピー元のフォルダを変更したいときは

や アイコンをタップしてコピー元にしたいフォルダを選択します。作業中のフォルダ欄の表示が切り換わり、コピー元のフォルダが変更できます。

次のページにつづく

記録メディア内のファイル／フォルダをクリエに移動したいときは

記録メディアのファイル／フォルダをクリエ本体にコピーするのではなく、ファイル／フォルダを移動させることもできます。

1 前記の手順 5 で［移動］をタップする。

記録メディア内のファイル／フォルダは削除され、クリエ本体にファイル／フォルダが保存されます。

ご注意

記録メディアからクリエ本体にコピーされたファイルには、HotSync でパソコンにバックアップされないものがあります。

記録メディアのファイル／フォルダを削除する

記録メディアに保存してあるファイル／フォルダのうち、不要なものを「CLIE Files」を使って削除できます。

1 記録メディアをクリエに入れる。

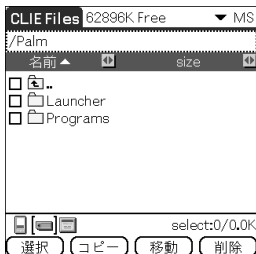
2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［CLIE Files］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「CLIE Files」が起動します。

ヒント

［CLIE Files］アイコンをタップして、起動することもできます。

3 画面右上の▼をタップして、削除したいファイル／フォルダを保存している記録メディアを選ぶ。

記録メディア内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。

4 **削除したいファイル/フォルダの□ をタップして☑ にする。**

5 **[削除]をタップする。**

「ファイルの削除」画面が表示されます。

6 **[OK]をタップする。**

手順 4 で選んだファイル/フォルダが削除されます。

すべてのファイル/フォルダをまとめて削除したいときは

前記の手順 4 で[選択]をタップして[全て選択]をタップします。

ファイル/フォルダの選択を解除したいときは

- **すべて解除したいとき**:[選択]をタップして[選択解除]をタップします。
- **選んだものだけ解除したいとき**:選んだファイル/フォルダをもう 1 度タップします。

削除元のフォルダを変更したいときは

や アイコンをタップして削除したいフォルダを選択します。作業中のフォルダ欄の表示が切り換わり、削除元のフォルダが変更できます。

Zip 形式のファイルを解凍する

Zip 形式で圧縮されたファイルをクリエ本体で解凍することができます。
「NetFront v3.0 for CLIE」でダウンロードした Zip ファイルや、「CLIE Mail」の受信メールに添付された Zip ファイルを、パソコンに移動せずに解凍して使うことができます。

1 **Zip ファイルを保存している記録メディアをクリエに入れる。**

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[CLIE Files]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「CLIE Files」が起動します。

ヒント

[CLIE Files]アイコンをタップして、起動することもできます。

次のページにつづく

3 画面右上の▼をタップして、Zip ファイルを保存している記録メディアを選ぶ。

記録メディア内のファイル／フォルダの一覧が表示されます。

Zip ファイルは アイコンで表示されています。

ヒント

- 「NetFront v3.0 for CLIE」でダウンロードした Zip ファイルは、記録メディアの「/Palm/Programs/Archive」フォルダに保存されています。
- 「CLIE Mail」の受信メールに添付された Zip ファイルは、記録メディアの「/Palm/Programs/MSFILES」フォルダに保存されています。

4 解凍したい Zip ファイルをタップする。

Zip ファイルの内容が表示されます。

5 解凍したいファイルの □ をタップして ☑ にする。

複数のファイルをタップして選ぶこともできます。

6 [解凍]をタップする。

「ディレクトリ選択」画面が表示されます。

7 解凍するファイルの保存先をタップして選ぶ。

クリエ本体に保存することもできます。

ご注意

クリエ本体に保存できないファイルの場合は、エラーメッセージが表示され、保存できません。

8 [OK]をタップする。

ファイルが解凍され、前記の手順 7 で選んだ保存先に保存されます。

ヒント

ファイルの状態が以下のアイコンで表示されます。

:正常に解凍されたファイル

:解凍できなかったファイル

:解凍をスキップしたファイル

9 [閉じる]をタップする。

記録メディア内のファイル／フォルダの一覧画面に戻ります。

すべてのファイルをまとめて解凍したいときは

前記の手順 5 で[選択]をタップして[全て選択]をタップします。

ファイルの選択を解除したいときは

- すべて解除したいとき:[選択]をタップして[選択解除]をタップします。
- 選んだものだけ解除したいとき:選んだファイルをもう 1 度タップします。

指定したファイル以外を選びたいときは

前記の手順 5 のあとに[選択]をタップして[選択反転]をタップします。

☐ と ☑ の選択が逆転します。

「CLIE Files」のメニュー項目

ここでは、「CLIE Files」固有のメニュー項目を説明します。
共通のメニュー項目については、「共通メニュー項目」(38 ページ)をご覧ください。

[ツール]メニュー

フォーマット	クリエに挿入した記録メディアをフォーマット(初期化)します。 フォーマットすると記録メディア内のすべてのファイル/フォルダが消去されますのでご注意ください。 ➡**詳しくは、**「記録メディアを初期化する(フォーマット)」(154 ページ)をご覧ください。
メディア情報	クリエ本体または記録メディアの容量やボリュームラベルなどの情報を表示します。
ディレクトリ作成	現在選択している記録メディアのフォルダの下層に新しくフォルダを作成します(記録メディア選択時のみ)。
リネーム	現在選択しているフォルダまたはファイルの名前を変更します(記録メディア選択時のみ)。
バージョン情報	「CLIE Files」のバージョン情報を表示します。

「CLIE Files」を使わずにアプリケーションを交換する

ホーム画面のメニューを使って、クリエ本体と記録メディアの間や、“メモリースティック”と CF メモリーカードの間でアプリケーションをコピーすることができます。

ただし、アプリケーションによっては不具合が生じることがありますので、以下の点にご注意ください。

- この方法で記録メディアにコピーできるのは、アプリケーションのみです。アプリケーションに関連するファイルなどはコピーすることができません。
- 記録メディアに保存したアプリケーション以外のファイル(画像ファイルなど)は表示できません。

1 **記録メディアをクリエに入れる。**

2 **ホーム画面で、メニュー アイコンをタップする。**

メニューが表示されます。

3 **[CLIE Launcher]メニューの[コピー]をタップする。**

「コピー」画面が表示されます。

4 **コピー先の▼をタップして、アプリケーションの保存先にしたい[本体]または記録メディアを選ぶ。**

5 **コピー元の▼をタップして、コピーしたいアプリケーションが保存されている記録メディアまたは[本体]を選ぶ。**

6 **コピーしたいアプリケーションをタップする。**

7 **[コピー]をタップする。**

選択したアプリケーションがクリエまたは記録メディアにコピーされます。

記録メディアからアプリケーションを起動するときのご注意

HotSync で記録メディアにアプリケーション（拡張子 .prc、.pdb など）をインストールした場合、以下の点にご注意ください。

- 記録メディアにインストールしたアプリケーションは起動しますが、アプリケーションに関連するファイル（画像ファイル、動画ファイルなど）を開けない場合があります。
- アプリケーションで開くことのできないファイルを記録メディアにインストールしたときは、「CLIE Files」を使って、ファイルをクリエ本体に移動させるか、削除してください。

ヒント

HotSync で記録メディアにファイルをインストールすると、ファイルは「/Palm/Launcher」フォルダにインストールされます。

赤外線通信機能を使う

この章では、赤外線通信を使って、仲間とアプリケーションやデータなどの情報を交換する方法について説明します。

赤外線でデータやアプリケーションを交換する

赤外線通信機能でできること

クリエには、赤外線通信機能を装備した他の Palm OS 搭載機器などと赤外線を使ってデータやアプリケーションを送受信するための、赤外線通信ポートが装備されています。クリエ本体上部の小さな黒いつやのあるプラスティック部分が、赤外線通信ポートです。

クリエに保存されている以下のデータやアプリケーションを、赤外線通信ポートを装備した他の Palm OS 搭載機器に赤外線送信できます。

- **名刺**：名刺として指定したアドレスのデータ。友人にワンタッチで名刺データを送信できるので便利です。
- **「アドレス」や「予定表」、「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションのデータ**：クリエで現在選択しているデータ。共通の知人の住所などの情報を赤外線送信したいときに便利です。
- **「アドレス」や「To Do」、「メモ帳」の各アプリケーションで現在表示されているカテゴリーのすべてのデータ**：クリエで現在選択しているカテゴリーに分類されているすべてのデータ。取引先やサークルのメンバーなどのリストをまとめて赤外線送信したいときなどに便利です。
- **クリエに追加インストールしたアプリケーション**

ご注意

アプリケーションの中には、コピーを禁止されているものがあります。これらのアプリケーションの横には、コピー禁止を示す アイコンが表示されています。

データやアプリケーションを赤外線通信で送信する

1 **アプリケーションを起動して、送信したいデータまたはカテゴリー、名刺を表示させる。**

2 **メニュー アイコンをタップする。**

メニューが表示されます。

3 **以下のいずれかをタップして選ぶ。**

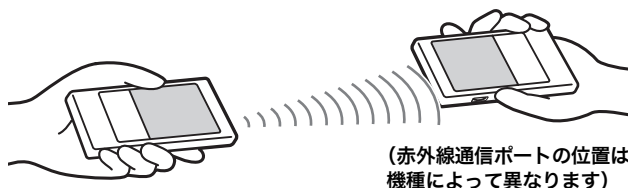
- ［＊＊＊（アプリケーション名）の赤外線通信］
- ［カテゴリの赤外線通信］
- ［名刺の赤外線通信］

ヒント

名刺の赤外線通信は、アプリケーションボタンの ボタンを約 2 秒押し続けることによっても実行できます。

4 **「赤外線通信」画面が表示されるので、赤外線通信ポートを送信先の Palm OS 搭載機器にまっすぐ向ける。**

送信が完了すると、「赤外線通信」画面にメッセージが表示されます。

（赤外線通信ポートの位置は機種によって異なります）

データやアプリケーションを正しく送受信するには、機器間の距離を 10 ～ 20cm にして、2 台のあいだの障害物を取り除きます。ただし、機器間の相性によって最適な通信距離が異なる場合があります。距離を変えてお試しください。

赤外線通信機能を使う

次のページにつづく

アプリケーションを赤外線通信で送信するには

1 ホーム画面で、メニュー アイコンをタップする。

メニューが表示されます。

2 [CLIE Launcher]メニューの[赤外線通信]をタップする。

「赤外線通信」画面が表示されます。

3 [本体]をタップして、通信元を選ぶ。

目的のアプリケーションがクリエに保存されているときは[本体]を、記録メディアの「/Palm/Launcher」フォルダに保存されているときは[カード]を選びます。

4 目的のアプリケーション名をタップする。

アプリケーションの中には、コピーを禁止されているものがあります。これらのアプリケーションの横には、コピー禁止を示す アイコンが表示されています。

5 [赤外線通信]をタップする。

送信が完了すると「赤外線通信」画面に、メッセージが表示されます。

データやアプリケーションを赤外線通信で受信する

1 クリエの電源を入れ、赤外線通信ポートを送信元の機器の赤外線通信ポートにまっすぐ向ける。

「赤外線通信」画面が表示され、赤外線通信が始まります。

2 受信したデータやアプリケーションを保存するカテゴリーを選ぶ。

受信したデータやアプリケーションのカテゴリーは、[未分類]になっています。

新しいカテゴリーを作成して、受信したデータやアプリケーションを保存したり、未分類のまま保存しておくこともできます。

3 [はい]をタップする。

データやアプリケーションが保存されます。

ご注意

「環境設定」画面の[一般]で、[赤外線通信の受信]が[オフ]になっていると受信ができません。受信するときは[オン]にしておいてください。

Bluetooth™ 機能を使う

(Bluetooth 機能内蔵モデルのみ)

この章では、Bluetooth 機能を使って、仲間とファイル／データなどの情報を交換したり、インターネットに接続したりする方法について説明します。

Bluetooth™ でファイル／データを交換する

Bluetooth 機能でできること

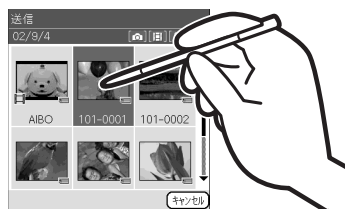
クリエに内蔵の Bluetooth 機能を使うと、身近な範囲（約 10m）にある他の Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス通信により、画像や予定表のファイル／データを送信したり、インターネットに接続したりすることができます。

Bluetooth 機能対応のクリエにファイル／データを送信する

Bluetooth 機能を内蔵したクリエや、別売りの Bluetooth モジュールを装着したクリエに、画像や予定表などのファイル／データを送信することができます。

1 送信したいファイル／データを選択する。

① 静止画／動画、音声メモや手書きメモを送信する場合

「CLIE Viewer」を起動して、メニュー アイコンをタップし、表示された［データ］メニューから［送信. . . ］を選んだあと、送信したいファイルをタップしてください。

ヒント

静止画を送信する場合は

「経由して送信」画面が表示されたら、お好みの送信方法を選択します。
（お使いの環境によっては、この画面は表示されません）

送信方法の例

Bluetooth（BIP）：送信先の機器に最適化した画像を送るための送信方法です。

② 予定表やアドレスのデータを送信する場合

送信したい予定やアドレスをタップしたあと、メニュー アイコンをタップし、表示されたメニューから「予定の送信」（「予定表」の場合）、または「アドレスの送信」（「アドレス」の場合）を選んでください。

2 ファイル／データを送信する。

「Bluetooth デバイスの探索」画面が表示されたあと、身近な範囲にある通信可能なクリエが「探索結果」画面に表示されるので、送信先になるクリエをタップして選んでください。

双方のクリエの画面上に「Bluetooth の接続状況」画面が表示されたら、画面の指示に従ってください。

次のページにつづく

ヒント

クリエから接続対象機器を 1 度探索したあと、接続対象機器の Bluetooth デバイス名を変更した場合は、次回のデバイス探索で古いデバイス名が表示されることがあります。

この場合は、次の手順で操作してください。

① Bluetooth の設定画面（94 ページ）を開き、メニュー アイコンをタップする。
② 表示された[オプション]メニューの[デバイス名キャッシュの無効化]をタップする。
③ 再度デバイス探索を行う。

ご注意

受信したファイル／データを閲覧したり利用するためには、それぞれのファイル／データの形式に適したアプリケーションをあらかじめインストールしておく必要があります。

パソコンとワイヤレスで HotSync する

Bluetooth 機能搭載のパソコンをお使いの場合、クレードルとパソコンを接続せずに、ワイヤレスで HotSync することができます。

➡ **詳しくは、**「Bluetooth™ で HotSync する（Bluetooth 機能内蔵モデルのみ）」（129 ページ）をご覧ください。

Bluetooth 機能対応の携帯電話を使ってインターネットに接続する

クリエと Bluetooth 機能対応の携帯電話をワイヤレスで通信させて、クリエでホームページを見たり、電子メールを送受信したりすることができます。

準備する

Bluetooth 機能対応の携帯電話を通してインターネットに接続するには、以下の準備が必要です。

❶ 接続方法を設定する／通信相手を登録する

❷ ネットワークを設定する

ヒント

通信相手の登録とは

クリエと Bluetooth 機能対応の携帯電話との間で Bluetooth 通信を行うときには、あらかじめ共通のパスキーを入力することにより通信相手を登録しておきます。

❶ 接続方法を設定する／通信相手を登録する

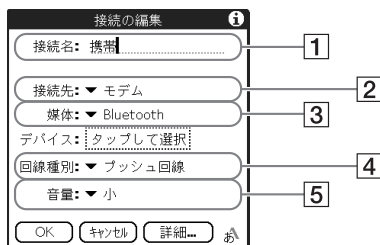
Bluetooth 通信を行うための接続方法と通信相手を、クリエに設定します。

1 「環境設定」画面で右上の▼をタップして、[接続]を選ぶ。

「使用できる設定」の一覧が表示されます。

2 [新規]をタップする。

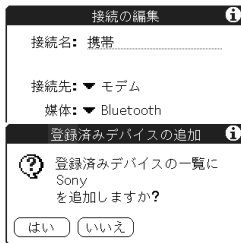
「接続の編集」画面が表示されます。

次のページにつづく

1 **接続名：**お好みに応じて、接続方法に名称を設定できます。「カスタム」の部分に接続名を入力します。
2 **接続先：**▼をタップして、［モデム］を選びます。
3 **媒体：**▼をタップして、［Bluetooth］を選びます。
4 **回線種別：**使用する回線の種類を選びます。通常は［プッシュ回線］を選びます。
5 **音量：**接続時のスピーカーの音量を選びます。

3 ［タップして選択］をタップする。

クリエの周囲にある Bluetooth 機能対応機器の探索が始まります。
探索が終了すると「探索結果」画面に、見つかった Bluetooth 機能対応機器（ここでは携帯電話）が表示されます。

4 登録したい携帯電話のデバイス名を選び、［OK］をタップする。

「登録済みデバイスの追加」画面が表示されます。

5 ［はい］をタップする。

携帯電話の画面に「パスキー入力」画面が表示されます。

ヒント

パスキーとは

パスキーは、2 台の Bluetooth 機能対応機器がお互いに接続を許可するために、ユーザーが入力する暗証番号です。同一の英数字列を双方の機器で入力すると、接続が許可されます。お互いに同じ英数字列を入力さえすれば、毎回異なったパスキーを用いても構いません。なお、1 度接続が許可されると、あらかじめ設定された期間内はパスキーを入力しなくても接続できます。

6 携帯電話にパスキーを入力して[OK]をクリックする。

クリエに「認証」画面が表示されます。

7 手順 6 と同じパスキーをクリエに入力し、[OK]をタップする。

「使用できる設定」の一覧に手順 2 で入力した接続名の名称が追加されていれば、準備は完了です。

ヒント

- 携帯電話の機種によっては、「パスキー入力」の画面表示順が上記の操作手順と異なる場合や画面が表示されない場合があります。表示された画面に従って、必要に応じてパスキーの入力を行ってください。
- 電波状況により探索、接続に時間がかかる場合があります。
- Bluetooth 機能対応の携帯電話の探索に時間がかかるような場合は、探索画面で[キャンセル]をタップし、もう 1 度探索し直してください。
  また探索の結果、Bluetooth 機能対応の携帯電話が見つからなかった場合は、もう 1 度探索し直してください。

ご注意

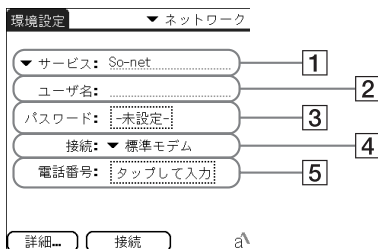
Bluetooth 機能対応の携帯電話の機能によっては、パスキーによる認証を行わなくても他の機器と接続することができます。そのため、パスキーによる認証を行ってセキュリティを確保しないと、周囲にいる他のユーザーによって無断で携帯電話を経由してインターネットに接続されるおそれがあります。

次のページにつづく

❷ ネットワークを設定する

クリエの「環境設定」画面で、プロバイダの設定を行います。

1 **「環境設定」画面で右上の▼をタップして、「ネットワーク」を選ぶ。**

2 **プロバイダの情報を入力する。**

1 **サービス**

使用するサービス（プロバイダ名）を選びます。
リストの中に契約しているプロバイダ名が表示されないときは、[サービス]メニューから[新規]を選んで、好みのサービス名を入力することもできます。

2 **ユーザ名**

プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。

3 **パスワード**

プロバイダと契約したときに登録したパスワードを入力します。

4 **接続**

「❶ 接続方法を設定する／通信相手を登録する」（179 ページ）の手順 2 1 で設定した接続名を選んでください。

5 **電話番号**

プロバイダから指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。

ヒント

お使いの携帯電話によっては、「#32」などのオプション番号が必要な場合があります。

➡ **詳しくは、**プロバイダおよび電話会社へお問い合わせください。

インターネットに接続する

1 **携帯電話の Bluetooth 機能をオンにする。**
操作について詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 **クリエのホーム画面で、目的のアプリケーションを起動する。**

3 **ホームページの閲覧やメールの送受信を開始する。**
自動的にインターネットに接続します。

インターネットに接続できなかったときは

クリエで「環境設定」画面右上の▼をタップして[ネットワーク]を選び、画面下の[接続]をタップしてください。
それでも接続できないときは、「準備する」(179 ページ)の手順で、Bluetooth 機能対応の携帯電話を登録し直してください。

インターネットの接続を切断するには

1 **起動しているアプリケーションで、インターネットへの接続を切断する。**
➡**接続を切断する操作について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」のそれぞれのアプリケーションをご覧ください。

2 **携帯電話の Bluetooth 機能をオフにする。**

ヒント
クリエと携帯電話の Bluetooth 接続は、クリエでインターネットへの接続を切断すると自動的に切断されます。

計算機、辞書、検索機能を使う

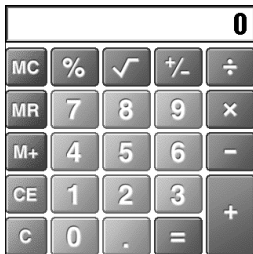
この章では、入力した情報を効率よく検索するための方法や、計算機、辞書の使いかたなどを説明しています。

計算機として使う(電卓)

「電卓」で計算する

「電卓」では、基本的な計算ができます。また、数値を電卓メモリに保存したり、電卓メモリから呼び出したりできます。

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[電卓]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「電卓」が起動します。

ヒント

[電卓]アイコンをタップして、起動することもできます。

2 **計算する。**

電卓機能を使うには、スタイラスで、画面に表示されている数字や計算記号のアイコンをタップします。

計算補助ボタンの機能

「電卓」には、計算に役立つ数種類のボタンが用意されています。

CE	最後に入力した数値だけをクリアします。 計算中に数値の入力ミスをしたときに使います。数値を再入力できるので、計算を最初からやり直す必要がありません。
C	現在の計算をクリアして、新しい計算を始めます。
＋/－	表示中の数値を正（プラス）または負（マイナス）に切り換えます。負の値を入力するには、先に数値を入力してから、このボタンをタップします。
M＋	表示中の数値をメモリに追加します。 このボタンを使って入力した数値は、メモリ内の数値の合計に加算されます。メモリには、計算値または数値ボタンをタップして入力した数値のどちらでも追加できます。 このボタンをタップすると、呼び出すまで数値がメモリ内に置かれるだけで、現在の計算または一連の計算には反映されません。
MR	メモリに保存されている数値を呼び出して、現在の計算に挿入します。
MC	メモリに保存されているすべての数値をクリアします。
√	表示中の数値の平方根（ルート）を求めます。 先に数値を入力してから、このボタンをタップします。

「電卓」のメニュー項目

[編集]メニュー

コピー	電卓の数値をコピーして、別のアプリケーションに貼り付けることができます。
貼り付け	メモ帳などの別のアプリケーションでコピーした数値を、電卓に貼り付けることができます。

[オプション]メニュー

計算式の確認	最近行った計算の内容を確認できます。計算内容をあとから確認したいときなどに便利です。
バージョン情報	電卓のバージョン情報を表示します。

辞書を引く（辞書）

「辞書」でできること

単語を調べる

「辞書」を使って、単語を調べることができます。クリエには、英和辞典と和英辞典の辞書データがインストールされています。また、「メモ帳」などのアプリケーションのメニューから「辞書」を起動させることもできます。

「辞書」の使いかた

➡ **「辞書」の使いかたについて詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「辞書」をご覧ください。

データを検索する

文字で検索する

検索する単語の全体、またははじめの何文字かを指定して、クリエに記録されている「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」など各アプリケーション内のデータを検索できます。なお、検索結果はアプリケーション別に表示されます。「入力した覚えはあるけれども、どのアプリケーションに入力したのかを思い出せない」といったときに便利です。

ご注意

一部のアプリケーション内のデータには対応していません。

1 検索 アイコンをタップする。

「検索」画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力する。

日本語、アルファベット、記号、数字、全角および半角の文字が、検索対象として使用できます。

3 ［OK］をタップする。

検索が始まり、入力した文字列を含む単語すべての検索結果一覧が表示されます。各データに追加した添付コメントも、検索対象になります。

4 検索結果から目的のデータを探して、タップする。

データを登録しているアプリケーションが自動的に起動して、データの内容が表示されます。

検索を途中で中止したいときは

検索中に[中止]をタップしてから、[閉じる]をタップします。

検索を再開したいときは、[続行]をタップします。

ご注意

クリエの検索機能では、英文の大文字と小文字は区別されません。例えば、「sony」という単語を指定すると、「Sony」も検索されます。

ヒント

クリエのアプリケーションで文字列を選んでから検索 アイコンをタップすると、「検索」画面に選んだ文字列が自動的に表示されます。

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

この章ではクリエに入っているデータやアプリケーションのバックアップの方法について説明します。

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

クリエのデータやアプリケーションを保存して控えをとる（バックアップする）には、次の 2 つの方法があります。

- HotSync でパソコンにデータやアプリケーションをバックアップする
- 「Memory Stick Backup」を使って"メモリースティック"にデータやアプリケーションをバックアップする

HotSync でパソコン上にデータやアプリケーションをバックアップする

標準設定では、以下のデータやアプリケーションが HotSync でパソコンにバックアップされます。

- メモ帳
- アドレス
- To Do
- 予定表
- 環境設定のデータ
- HotSync によってインストールしたアプリケーション
- HotSync したときのユーザーの情報

バックアップされたデータやアプリケーションは次回に HotSync したときにクリエのデータやアプリケーションと比較され、新しい方が有効となります。クリエをハードリセットした場合にはクリエのデータやアプリケーションはすべてお買い上げ時の状態に戻りますが、次に HotSync を行うとバックアップした時点のデータやアプリケーションの状況に戻ります（ただし、前記の例以外のファイルを除きます）。

ご注意

- あとからインストールされたアプリケーションや、インストール後にアプリケーションが生成したデータの一部は、バックアップできない場合があります。特に赤外線通信や、"メモリースティック"または CF メモリーカードによってインストールしたアプリケーションやデータは、HotSync ではバックアップできません。「Memory Stick Backup」を使って、"メモリースティック"でバックアップしてください。
- 「HotSync 機能の動作設定」画面で設定を変更した場合は、バックアップができないことがあります。[ファイルを同期]以外の設定が選ばれているアプリケーションは、HotSync によってバックアップおよびその後のデータの復帰はできません。「HotSync 機能の動作設定」画面と設定について詳しくは、「HotSync 時の動作を設定する(コンジット)」(122 ページ)をご覧ください。

「Memory Stick Backup」を使って"メモリースティック"にデータやアプリケーションをバックアップする

「Memory Stick Backup」を使うと、以下のようなデータやアプリケーションをまとめて"メモリースティック"にバックアップできます。
「Memory Stick Backup」を使うと、HotSync でバックアップできるデータやアプリケーションは、すべてバックアップされます。バックアップは 5 個まで作成することができます。

- メモ帳
- アドレス
- To Do
- 予定表
- 環境設定のデータ
- 追加でインストールしたアプリケーション
- プリファレンスデータ

1 "メモリースティック"をクリエに入れる。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[MS Backup]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「Memory Stick Backup」が起動します。

次のページにつづく

3 [バックアップ]アイコンをタップする。

「バックアップ確認」画面が表示されます。

4 [OK]をタップする。

「バックアップ処理」画面が表示されます。

バックアップが完了すると、一覧にバックアップの情報(日時、サイズ、DB数)が表示されます。

ご注意

クリエ本体のデータを"メモリースティック"にバックアップする場合は、"メモリースティック"にクリエ本体でのデータのサイズ以上の空き容量が必要です。

クリエ本体のメモリの空き容量やバッテリ残量の少ない状態で、バックアップおよびリストア(バックアップしたデータやアプリケーションをクリエ本体に戻すこと)を行わないでください。

正常にバックアップとリストアができない場合があります。

ヒント

- バックアップは数分程度で終了します。
- 手順 3 で、以前に作成したバックアップを選んで上書きすることもできます。また、一覧で空いている欄を選んでバックアップすることもできます。
- 一覧に表示される[サイズ]は、バックアップしたデータやアプリケーションがクリエ本体に保存されていたときの容量を表しています。
- 一覧に表示される[DB 数]は、バックアップしたデータやアプリケーションの数を表しています。
- "メモリースティック"にバックアップされたファイルを「CLIE Files」などを使って直接変更を加えると正常にリストアが行われないことがあります。
- 一覧で、削除したいバックアップファイルを選んで[削除]をタップすると、選んだファイルを削除することができます。バックアップを作成したクリエでなくても、削除できます。

バックアップしたデータやアプリケーションをクリエ本体に戻す（リストア）

ご注意

- バックアップしたデータやアプリケーションをクリエ本体に戻す（リストア）と、クリエに保存されているデータやアプリケーションはバックアップを行った時点の情報で上書きされます。バックアップ後にクリエ本体に追加、編集した情報は消えてしまいますので、ご注意ください。
- バックアップしたデータやアプリケーションは、バックアップを作成したクリエにのみ戻すことができます。

1 **クリエをハードリセットする。**

➡ **ハードリセットについて詳しくは、**別冊「はじめにお読みください（取扱説明書）」の「クリエの基本操作：本機を再起動する」をご覧ください。

2 **バックアップしたデータやアプリケーションが保存されている“メモリースティック”をクリエに入れる。**

3 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[MS Backup]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「Memory Stick Backup」が起動します。

4 **一覧で、戻したいバックアップデータ／アプリケーションをタップして選ぶ。**

5 **[リストア]アイコンをタップする。**

「リストアの確認」画面が表示されます。

6 **[OK]をタップする。**

「リセットの確認」画面が表示されます。

次のページにつづく

7 [OK]をタップする。

「リストア処理」画面が表示されます。

ハードリセット時に各アプリケーションによって自動的に作成された初期データや、ハードリセット後に作成/変更したデータがある場合は、「上書き確認」画面が表示されます。上書きする場合は[はい]、すべてのデータを上書きする場合は[すべて上書き]を選びます。上書きしたくない場合は[いいえ]をタップします。

リストアが完了すると、自動的に再起動します。

ヒント

ファイル単位のバックアップやリストアについては「CLIE Files」のコピー機能をお使いください。

➡ **「CLIE Files」の使いかたについて詳しくは、**「記録メディアでファイル/フォルダを交換する」(156 ページ)をご覧ください。

パスワードでデータを保護する

この章では、クリエに所有者の情報を入力したり、パスワードを設定してデータを保護する方法について説明しています。

所有者の情報を入力する

クリエの所有者の名前や会社名、電話番号などの情報を入力できます。
クリエをロックした場合は、次に電源を入れたときに所有者の情報が表示されるようになります。

➡ **ロックについて詳しくは、**「クリエをパスワードでロックする」(202 ページ)をご覧ください。

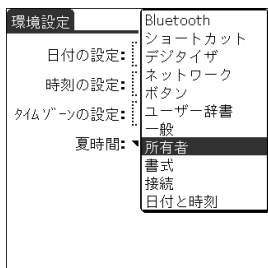
1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

「環境設定」画面が表示されます。

ヒント

[環境設定]アイコンをタップして、「環境設定」画面を表示することもできます。

2 **右上の▼をタップして、[所有者]を選ぶ。**

「環境設定」画面の[所有者]が表示されます。

ご注意

[Bluetooth]は、Bluetooth 機能内蔵モデルのみ表示されます。

3 所有者情報を入力する。

入力した文字列が画面に収まりきらない場合は、画面右にスクロールバーが表示されます。

すでに「データ保護」でパスワードを設定している場合は

クリエ本体をロックしていなくても、所有者の情報はすでに保護されているため、所有者情報を入力／編集できません。所有者の情報を入力／編集するには、以下の手順で操作します。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[環境設定]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「環境設定」画面が表示されます。

ヒント

[環境設定]アイコンをタップして、「環境設定」画面を表示することもできます。

2 右上の▼をタップして、[所有者]を選ぶ。

「環境設定」画面の[所有者]が表示されます。

3 [ロック解除]をタップする。

「メッセージのロック解除」画面が表示されます。

4 パスワードを入力してから、[OK]をタップする。

➡ **パスワードの設定のしかたについて詳しくは、**「パスワードを設定する」(205 ページ)をご覧ください。

パスワードでデータを保護する

クリエをパスワードでロックする

「クリエをロックする」とは、クリエにパスワードを設定して、電源を入れてもパスワードを入力しなければクリエを使用できないようにすることです。

ご注意

クリエをロックした状態で起動するには、正しいパスワードを入力する必要があります。パスワードを忘れてしまった場合は、ハードリセットを行う必要がありますが、ハードリセットを行うとお買い上げ後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータがすべて削除されてしまいます（HotSync することで、パソコンにバックアップ済みのアプリケーションやデータは復元できます）。あらかじめご注意ください。

➡ **クリエのリセットのしかたについて詳しくは、**別冊「はじめにお読みください（取扱説明書）」の「クリエの基本操作：本機を再起動する」をご覧ください。

ロックしてから電源を切る

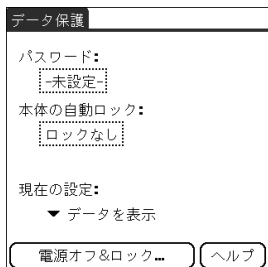
ロックをして、その場で電源を切ります。以後、クリエを起動するには正しいパスワードを入力する必要があります。

1 クリエとパソコンを HotSync して、アプリケーションやデータのバックアップをパソコンに作成する。

➡ **HotSync 機能について詳しくは、**「HotSync でパソコン上にデータやアプリケーションをバックアップする」（194 ページ）をご覧ください。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［データ保護］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「データ保護」画面が表示されます。

ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

3 「パスワードを設定する」（205 ページ）の手順に従って、パスワードを設定する。

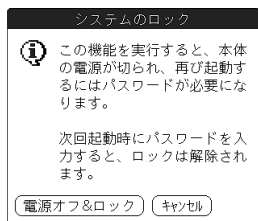
4 [電源オフ&ロック]をタップする。

「システムのロック」画面が表示されます。

システムのロック

この機能を実行すると、本体の電源が切られ、再び起動するにはパスワードが必要になります。

次回起動時にパスワードを入力すると、ロックは解除されます。

電源オフ&ロック　キャンセル

5 [電源オフ&ロック]をタップする。

クリエがロックされた状態で、電源が切れます。

以後、クリエの電源を入れたあとにパスワードを入力しないと、クリエが使えない状態になります。

ご注意

シルクスクリーン領域を標準入力（Graffiti 入力またはソフトウェアキーボード）に設定している場合でも、パスワードを入力する「システムの起動」画面ではデクマ手書き入力が表示されます。

入力方法を切り換えたい場合は、ステータスバーをスタイラスで左から右にドラッグしてください。

自動的にロックする

指定時刻に自動でロックがかかるようにしたり、指定の時間が経過したあとに自動的にロックすることができます。

1 **「ロックしてから電源を切る」(202 ページ)の手順 1 から 3 を行う。**

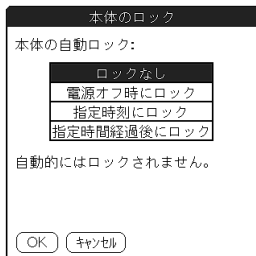
2 **[ロックなし]をタップする。**

「パスワード」画面が表示されます。

3 **パスワードを入力してから、[OK]をタップする。**

「本体のロック」画面が表示されます。

4 **[本体の自動ロック]メニューの中から、目的に合った項目をタップして選ぶ。**

- **ロックなし**:自動的にはロックされません。
- **電源オフ時にロック**:電源を切るときに自動的にロックします。
- **指定時刻にロック**:設定した時刻にロックします。ロックする時刻の設定を行ってください。
- **指定時間経過後にロック**:設定した時間が経過する間に操作をしないと、自動的にロックします。

5 **[OK]をタップする。**

データを保護する

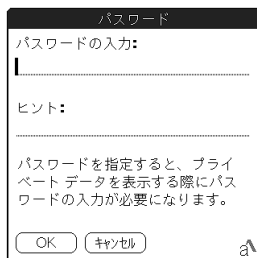
クリエにパスワードを設定して、入力したデータを他の人に見られないように保護できます。また、プライベートデータとして登録したデータは、パスワードを入力する／しないにかかわらず、通常の状態では表示しないように設定することもできます。

パスワードを設定する

パスワードを設定して、プライベートデータを保護（データを非表示／データをマスク）したり、クリエをロックしたりすることができます。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[データ保護]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「データ保護」画面が表示されます。

ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

2 [- 未設定 -]をタップする。

「パスワード」画面が表示されます。

3 パスワードを入力する。

パスワードは 1 字以上 29 字以内の英数字で入力してください。

4 [OK]をタップする。

確認画面が表示されます。

次のページにつづく

5 手順 3 で入力したパスワードをもう一度入力してから、[OK]をタップする。

手順 2 の[- 未設定 -]が[- 設定済み -]に変わり、クリエのパスワードが設定されます。

ヒント

手順 3 でヒントを入力することができます。ヒントはパスワードを間違えたときに表示されます。パスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

パスワードを変更／削除する

設定したパスワードを変更したり、削除したりできます。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して[データ保護]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「データ保護」画面が表示されます。

ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

2 [- 設定済み -]をタップする。

「パスワード」画面が表示されます。

3 現在のパスワードを入力してから、[OK]をタップする。

新しいパスワードを入力する画面が表示されます。

4 パスワードを変更したいときは、新しいパスワードを入力してから[OK]をタップする。

パスワードを削除したいときは、[未設定]をタップします。

パスワードを忘れてしまったときは

パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを強制的に削除できます。ただし、パスワードを強制的に削除すると、すべてのプライベートデータが削除されてしまいます(HotSyncすることで、パソコンにバックアップ済みのデータは復元できます)。

1　前記の手順2で、[忘れた場合]をタップする。

「パスワードの削除」画面が表示されます。

2　[はい]をタップする。

パスワードとすべてのプライベートデータが削除されます。

プライベートデータを表示しないように設定する

「アドレス」や「メモ帳」などのアプリケーションでプライベートデータとして設定したデータを、表示しないように設定できます。この場合、プライベートデータを表示するためにはパスワードを入力する必要があります。なお、プライベートデータを表示しないように設定していても、データは保存されています。

1　ホーム画面でジョグダイヤルを回して[データ保護]アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

「データ保護」画面が表示されます。

ヒント

[データ保護]アイコンをタップして、「データ保護」画面を表示することもできます。

2　[現在の設定]の▼をタップして、[データを非表示]または[データをマスク]を選ぶ。

「データを非表示」または「データをマスク」画面が表示されます。

次のページにつづく

3 **[OK]をタップする。**

プライベートデータが表示されない状態になります。

[データを非表示]を選んだとき

[データをマスク]を選んだとき

アプリケーションを追加して機能を拡張する

この章では、クリエにアプリケーションを追加して機能を拡張する方法を説明します。パソコンやインターネット、“メモリースティック”などの記録メディア経由でのインストールのしかたについても説明しています。

アプリケーションを追加して機能を拡張する

付属のインストールCD-ROMに収録されているアプリケーションをインストールするには
別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「アプリケーションを使いこなす」をご覧ください。

ゲームやその他のソフトウェアなど、Palm OS上で動作するアプリケーションをクリエに追加して、機能を拡張することができます。クリエで利用できる最新のアプリケーション情報については、クリエ公式ホームページ(http://www.sony.jp/CLIE/)をご覧ください。

ご注意

クリエに追加インストールしたアプリケーションは、すべてメモリ上に一時保存されています。そのため、**クリエをハードリセットすると、追加インストールしたアプリケーションはすべて削除されてしまいますので、クリエに再インストールしてください。**

インストールする

パソコンからクリエにインストールする

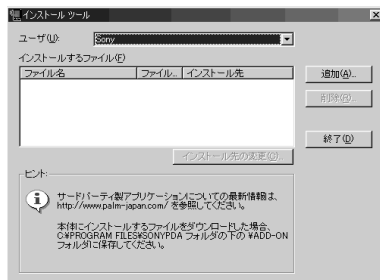
以下の方法で、パソコンからクリエにアプリケーションをインストールすることができます。

クリエに付属しているアプリケーションのインストール方法は、別冊「はじめにお読みください(取扱説明書)」の「アプリケーションを使いこなす」をご覧ください。

1 パソコンのデスクトップ画面にある[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。

または、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム](Windows XP の場合は[すべてのプログラム])－[Sony CLIE]－[CLIE Palm Desktop]の順にクリックする。
CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動します。

2 [インストール]をクリックする。

「インストール ツール」画面が表示されます。

3 [ユーザ]の一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。

4 [追加]をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。
付属のアプリケーションは[Program Files]－[SonyPDA]－[Add-on]－[PEG- ＊＊＊(お客様がお使いのクリエ機種名)]フォルダ内に収録されています。

次のページにつづく

5 インストールしたいアプリケーションをフォルダの中から指定してから、[開く]をクリックする。

「インストールツール」画面に、指定したアプリケーションが一覧表示されます。

一覧にインストールする必要のないアプリケーションが表示されている場合は、不要のアプリケーションを選んでから[削除]をクリックします。選択したアプリケーションは一覧から削除されますが、パソコン上からは削除されません。

6 [終了]をクリックする。

7 [OK]をクリックする。

8 クリエをクレードルに取り付け、HotSync ボタンを押す。

手順 5 で選んだアプリケーションがクリエにインストールされます。

➡ **HotSync について詳しくは、**「HotSync する」(86 ページ)をご覧ください。

デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから、直接「インストール ツール」画面を表示することもできます

デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム](Windows XP の場合は[すべてのプログラム])−[Sony CLIE]−[インストール ツール]の順にクリックすると、「インストール ツール」画面が表示されます。また、.prc や .pdb 形式などのインストール可能なファイルをダブルクリックして表示することもできます。

記録メディアにアプリケーションをインストールする

以下の方法で、"メモリースティック"や CF メモリーカードなどの記録メディアにアプリケーションをインストールすることができます。

- 「Data Import」、「Data Export」を使って、パソコンから直接"メモリースティック"や CF メモリーカードなどの記録メディアにインストールする。
- 「パソコンからクリエにインストールする」の手順 5 のあと、[インストール先の変更]をクリックし、アプリケーションを選んでから >> または << をクリックして、インストール先に[Memory Stick]または[CompactFlash カード]を指定する。

記録メディアにアプリケーションをインストールしたときのご注意

一部のアプリケーションでは、アプリケーションに関連するファイル(画像ファイル、動画ファイルなど)を表示できないことがあります。
前記の手順で、記録メディアに HotSync でアプリケーションやデータをインストールすると、「/Palm/Launcher」フォルダにインストールされます。一部のソニー製アプリケーションなどは、決められたフォルダにインストールされているファイルのみ認識する仕様のため、HotSync で記録メディアの「/Palm/Launcher」フォルダにインストールされたファイルは表示できません。
この場合、「CLIE Files」を使って記録メディアから削除してください。

インターネットからインストールする

クリエ公式ホームページ(http://www.sony.jp/CLIE/)などで配布されているアプリケーションをダウンロードして、クリエに追加できます。

1 追加したいアプリケーションを、パソコンでインターネットからダウンロードする。

2 ダウンロードしたファイルに含まれる「Readme」などの説明に従って、クリエに追加する。

特に説明がない場合は、ダウンロードした PRC 形式(.prc)のファイルをダブルクリックして、「パソコンからクリエにインストールする」(211 ページ)の手順 6 からの操作を行ってください。

追加インストールしたアプリケーションを削除する

ヒント

削除できるのは、自分でインストールした追加アプリケーションのみです。「アドレス」や「メモ帳」などといった、クリエが標準で搭載しているアプリケーションを削除することはできません。

1 ホーム アイコンをタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 アイコンをタップする。

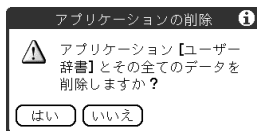
削除画面が表示されます。

ヒント

「CLIE Launcher 設定」画面（28 ページ）で、「ドラッグ＆ドロップを使用する」にチェックが入っているときは、CLIE Launcher 画面（ホーム画面）で削除したいアプリケーションのアイコンを、右上の アイコン（25 ページ）にドラッグすることもできます。

3 削除元の▼をタップして、[本体]または記録メディアを選ぶ。

4 削除したいアプリケーションをタップしてから、[削除]をタップする。

削除の確認画面が表示されます。

5 [はい]をタップする。

手順 4 で選んだアプリケーションが削除されます。

削除をやめるときは、[はい]の代わりに[いいえ]をタップします。

6 [終了]をタップする。

ホーム画面に戻ります。

他のクリエのデータを移す

この章では、現在お使いのクリエのデータを他のクリエに移す方法について説明します。

他のクリエのデータを移す

ご注意

- 「Memory Stick Backup」では、他のクリエのデータを引き継ぐことはできません。
- お買い上げ後に追加インストールしたアプリケーションは、あらためてインストールし直す必要があります。
- 他社製アプリケーションの一部には、元の機種以外では動作しないものもあります。詳しくはアプリケーションの作成元にお問い合わせください。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアでデータを引き継ぐ

「予定表」や「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」などの Palm OS 標準の基本アプリケーションのデータは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアを使ってパソコンでデータを書き出し（エクスポート）／読み込み（インポート）することでデータを引き継げます。
これまでに使っていたクリエで、移動先のクリエに付属の CLIE Palm Desktop ソフトウェアに、移動先のクリエとは別のユーザー名を使用して HotSync する必要があります。「HotSync する」（86 ページ）に従って HotSync してから、以下の操作を行ってください。

1 **パソコンのデスクトップ画面にある、[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。**
または、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム]（Windows XP の場合は[すべてのプログラム]）－[Sony CLIE]－［CLIE Palm Desktop]の順にクリックします。
CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動します。

2 **画面右上の「ユーザ」選択リストから、今まで使っていたクリエのユーザー名をクリックする。**

3 **コピーしたいデータを左の「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」のアイコンから選んでクリックする。**

4 **［ファイル］メニューから［エクスポート］をクリックする。**

5 **ファイル名を入力してから、［エクスポート］をクリックする。**

これまでに使っていたクリエのデータが書き出されます。

必要に応じて保存先は変更してください。

6 **手順 3 〜 5 を繰り返して、他のアプリケーションのデータも書き出す。**

7 **画面右上の「ユーザ」選択リストから、移動先のクリエで使用するユーザー名をクリックする。**

ヒント

まだ 1 度も HotSync していない場合は、［ツール］メニューから［ユーザ］を選び、「ユーザ」画面で［新規］をクリックして、新しいユーザー名を入力します。

そのあとで、入力したユーザー名を選んでください。

8 **［ファイル］メニューから［インポート］をクリックする。**

9 **手順 3 〜 6 で書き出したファイルを選んでから、［開く］をクリックする。**

10 HotSync **を行う。**

書き出して保存したデータが、移動先のクリエに保存されます。

次のページにつづく

他のクリエと同じユーザー名で HotSync して、データを移さないでください

これまでに使っていた CLIE Palm Desktop ソフトウェアで、これまでに使っていたクリエと同じユーザー名で移動先のクリエを HotSync すると、データと同時に機種固有の設定も移されてしまい、トラブルの原因となることがあります。また、そのあとでこれまで使っていたクリエを同じように HotSync しても、トラブルの原因となることがあります。この方法ではデータを移さないでください。

クリエで HotSync するときにユーザー名を選ぶ画面が表示されたときは

これまでに使っていたクリエのユーザー名とは別の名前を入力してください。
同じユーザー名を使用すると CLIE Palm Desktop ソフトウェアがクリエを誤認識して、それぞれの機種のデータが入り交じってしまったり、データが消えてしまったりすることがあります。
また、Unsaved Preference をコピーしてしまうと、ユーザー名もコピーされてしまうため、別の名前で管理することができなくなります。

他のクリエで HotSync する場合のご注意

すでに他のクリエをお使いの場合、**以前から使っている CLIE Palm Desktop ソフトウェアは、お使いのパソコンから削除（アンインストール）せず**、新しいクリエに付属している CLIE Palm Desktop ソフトウェアを上書きでインストールしてください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

次のページにつづく

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

A

B

C

G

H

次のページにつづく

索引（つづき）

L

M

P

Z

ATOK 使用許諾契約書

使用許諾契約書
※本製品は、本製品と共にご購入された機器でのみご使用いただけます。

この使用許諾契約書は、お客様がご購入された機器（以下、「本装置」）と共に株式会社ジャストシステム（以下、「弊社」）から提供されるソフトウェアおよびそれに付随するマニュアル等の関連資料のご使用条件等を定めたものです（以下、ソフトウェアと関連資料をあわせて、「本製品」とします）。
お客様は使用許諾契約書の内容にご同意の上、ソフトウェアをご使用いただくものとします。お客様がソフトウェアのご使用を開始した時点で本契約が成立したものと見なされます。ご同意いただけない場合は、ソフトウェアのご使用を開始する前に、本装置と共にご購入先までご返却ください。
本契約書にご同意いただいたお客様は、弊社が別途定める方法により、ユーザー登録を行ってください。ユーザー登録を行わないと弊社からのサービス・サポートを受けることができません。
また、本書および本製品中のメディアや関連資料は、お客様が本製品の使用者であることを証明する資料となりますので、お客様の責任において本装置とあわせて大切に保管・管理してください。

第 1 条 定義

①ソフトウェア
本製品にて提供されるコンピュータプログラム、その他のデジタルコンテンツをいい、特段の記載がない限り、弊社が権利者の許諾のもとに提供する第三者の著作物も含むものとします。
②ソフトウェアの使用
本装置の記憶媒体に複製されたソフトウェアを本装置のメモリにロードして実行することによりソフトウェアを使用することをいいます。

第 2 条 使用条件

1. ソフトウェアを本装置上でのみ使用することができます。
2. お客様は、お客様が本装置を占有し管理していることを条件として、本装置を第三者に使用させ、もって本装置にインストールされているソフトウェアを当該第三者に使用させることができるものとします。
3. ソフトウェアの使用に関し、本契約書以外に個別に条件が定められている場合は、本契約書とあわせて遵守いただくものとします。個別の条件が本契約書と異なる場合は、個別の条件が優先するものとします。

第 3 条 禁止事項

お客様は、本契約書で許諾される場合を除き以下の行為を行わないものとします。
①本装置以外でのソフトウェアの複製および使用ならびにマニュアル等関連資料の複製
②コンピュータプログラムの改変あるいはリバースエンジニアリング
③コンピュータプログラムの全部または一部の第三者に対する再配布
④ソフトウェアの再使用許諾、あるいはその複製物の貸与・譲渡
⑤本製品の貸与・レンタル・疑似レンタル行為あるいは中古品取引

第 4 条 譲渡

お客様は、弊社が別途ご案内する所定の手続き・条件に従い、本製品を本装置と共に第三者に譲渡することができます。また、本装置を第三者に譲渡する場合は、弊社の別途ご案内する所定の手続きを行った上で本製品の一切を本装置と併せて譲渡するか、若しくは、本装置内のソフトウェアの複製物及び本製品の一切を消去・破棄しなければならないものとします。その際、お客様は、ソフトウェアの複製物を手元に残しておくことはできません。ただし、本製品に対するサービスを通じて弊社の新製品を既にご購入されている場合は、弊社は、本製品の譲渡の申し出には応じられないものとします。

第 5 条 弊社の責任

弊社は、
1. お客様が本装置を購入された日から 90 日間に限り、本製品の媒体に物理的な欠陥があった場合、又はマニュアルに乱丁・落丁があった場合は、欠陥の程度に応じて弊社の判断に基づき、媒体もしくはマニュアルの交換、又は本製品の代金相当額の返還をいたします。
2. お客様が本装置を購入された日から 90 日間に限り、ソフトウェアに重大な瑕疵があった場合（但し、動作保証対象外の特定のハードウェア、ソフトウェア、及びそれらの組み合わせによる動作不具合を含まないものとします）、欠陥の程度に応じて弊社の判断に基づき、媒体の交換もしくは修補プログラムの提供、解決方法の案内、又は本製品の代金相当額の返還をするものとします。また、ソフトウェアの品質・機能がお客様の特定の使用目的に適合することを保証するものではなく、本製品の選択導入の適否はお客様の責任とします。
3. 本製品の瑕疵に関して前 2 項に定める以外の責任を負いません。法律上の請求の原因を問わず、本製品の使用又は使用不能から生ずる派生的財産的損害及び精神的損害、ならびに直接的又は間接的な営業上の損害については、弊社は責任を負わないものとします。いかなる場合においても、本契約書に基づく弊社の責任は、本製品の代金相当額を上限とします。
4. お客様がユーザー登録された場合において、別記の「サポートご利用規定」に基づくサポートを提供いたします。

第 6 条 有効期間

1. 本契約の有効期間は、本契約成立の時からお客様が本製品の使用を停止するまでとします。
2. お客様が本契約のいずれかの条項に違反したとき、または弊社の著作権を侵害したときは、弊社は本契約を解除しお客様のご使用を終了させることができます。
3. 本契約が終了した場合、お客様は速やかにお客様のご負担で本製品を弊社に返却あるいは破棄していただくものとします。

第 7 条 一般条項

お客様および弊社は、本契約に関連して発生した紛争については、徳島地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーションカスタマーリンクへ

● **0466-30-3080**

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ

● **0466-38-1410**

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービス･サポートのご案内」をご覧ください。

最新サポート情報は

クリエ本体とクリエ用周辺機器、および付属のソフトウェアに関する最新情報は、
ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
また、クリエ用周辺機器をお使いになる場合は、下記サイトのダウンロードページから
最新のソフトウェアを入手してください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク

● **http://www.nccl.sony.co.jp/ ➡ 機種ごとのサポート情報へ**

付属の冊子もあわせてご覧ください。
「クリエ サービス・サポートのご案内」
「困ったときは Q&A」

クリエのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。

● **http://www.sony.jp/CLIE/**